

平成17年度～平成24年度

# 印西市内遺跡発掘調査報告書

2014

印西市教育委員会

## 例 言

1. 本書は、平成17年度調査の大畑遺跡（第2地点）・木戸場遺跡（第1地点）・馬場遺跡（第4地点第1・2次）、平成18年度調査の迎山遺跡・前戸遺跡（第2地点）・木戸場遺跡（第2地点）・竜屋遺跡・馬場遺跡（第6地点）、平成19年度調査の八夜台遺跡（第1地点）、平成20年度調査の天神前遺跡・天神台遺跡（第14地点）、平成21年度調査の松崎V遺跡（第2地点）、平成22年度調査の吉高一本松遺跡・中郷遺跡（第1地点）・天神台遺跡（第15地点）・道作古墳群・八夜台遺跡（第2地点）・向新田遺跡（第3地点）、平成23年度調査の向ノ地遺跡（平成23年度）・中郷遺跡（第2地点）・馬場遺跡（第7地点）・木戸場遺跡（第3地点）、平成24年度調査の瓜瓢込第2遺跡・花作遺跡・川崎遺跡（第1・2地点）・大越台遺跡（第2地点）・油免遺跡（第4地点）の発掘調査報告書である。

2. 発掘調査は、印西市教育委員会生涯学習課が行った。整理作業と原稿執筆は印西市より委託を受けて公益財団法人印旛郡市文化財センターが実施した。

3. 調査組織は以下の通りである。

発掘調査（平成17～24年度）

調査主体者	小野寺正教	印西市教育委員会教育長	（平成17～24年度9月）
	大木 弘	印西市教育委員会教育長	（平成24年度10月～）
調査事務	藤代武雄	印西市教育委員会生涯学習スポーツ課長	（平成17年度）
	山口和善	印西市教育委員会生涯学習スポーツ課長	（平成18年度）
		同生涯学習課長	（平成19年度）
	岩井太一	印西市教育委員会生涯学習課長	（平成20～21年度）
	佐瀬義行	印西市教育委員会生涯学習課長	（平成22～23年度）
	勝田広義	印西市教育委員会生涯学習課長	（平成24年度）
	伊藤哲之	印西市教育委員会生涯学習スポーツ課文化班主査	（平成17年度）
		同副主幹	（平成18年度）
		印西市教育委員会生涯学習課文化班副主幹	（平成19年度）
鈴木圭一		印西市教育委員会生涯学習スポーツ課文化班副主査	（平成17～18年度）
		印西市教育委員会生涯学習課文化班同主査補	（平成20～22年度）
		同主査	（平成23～24年度）
	野村優子	印西市教育委員会生涯学習課文化班主査補	（平成19～20年度）
	小池康久	印西市教育委員会生涯学習課文化班主査	（平成20～21年度）
	横尾早紀	印西市教育委員会社会教育課文化班主事	（平成21～24年度）
	小那本康淳	印西市教育委員会生涯学習課文化班主査	（平成23～24年度）
	杉山祐一	印西市教育委員会生涯学習課文化班主任主事	（平成22～24年度）
	根本岳史	印西市教育委員会生涯学習課文化班学芸員	（平成24年度）

整理作業・原稿執筆（平成25年度）

調査主体者	大木 弘	印西市教育委員会教育長
調査事務	山崎 剛	印西市教育委員会生涯学習課長
	小池康久	印西市教育委員会生涯学習課文化班副主幹

大野徳強	印西市教育委員会生涯学習課文化班主査
鈴木圭一	印西市教育委員会生涯学習課文化班主査
能勢幸枝	印西市教育委員会生涯学習課文化班主査補
根本岳史	印西市教育委員会生涯学習課文化班学芸員

整理担当者 日暮冬樹 公益財団法人印西市文化財センター上席調査研究員

#### 4. 発掘調査を実施した遺跡は次の通りである。

発掘調査は平成17～24年度にかけて実施した。以下、(1)調査の種類・調査面積・調査期間・調査担当者、(2)調査に至る経緯について概要を記す。

##### 平成17年度

###### 馬場遺跡（第4地点 第1次）（千葉県印西市小林2820番1）

- (1) 確認調査・上層120㎡/2,400㎡・平成17年7月11日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) グループホーム建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

###### 馬場遺跡（第4地点 第2次）（千葉県印西市小林2820番2、2810番7）

- (1) 確認調査・上層22㎡/87.66㎡・平成17年11月16日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) グループホーム建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

###### 木戸場遺跡（第1地点）（千葉県印西市船尾字木戸場424番3、424番4）

- (1) 確認調査・上層160㎡/495.86㎡・平成18年1月18日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

###### 大畑遺跡（第2地点）（千葉県印西市大森字前畑1988番）

- (1) 確認調査・上層77㎡/232.48㎡・平成18年3月6日～平成18年3月7日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

##### 平成18年度

###### 木戸場遺跡（第2地点）（千葉県印西市船尾字木戸場424番5）

- (1) 確認調査・上層40㎡/330.59㎡・平成18年4月5日  
本調査・上層71.5㎡・平成18年4月6日～平成18年4月19日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

###### 前戸遺跡（第2地点）（千葉県印西市松崎字中郷395番1）

- (1) 確認調査・上層158㎡/1,299㎡・平成18年4月25日～平成18年4月27日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 資材置き場及び駐車場建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

###### 迎山遺跡（千葉県印西市鹿黒字向地697番2、698番2、699番3）

- (1) 確認調査・上層21.5㎡/585.37㎡・平成18年5月17日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

て協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

**竜座遺跡（千葉県印西市浦部547番）**

- (1) 確認調査・上層24㎡/110㎡・平成18年11月10日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 携帯電話無線基地建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

**馬場遺跡（第6地点）（千葉県印西市小林字馬場2810番2、3）**

- (1) 確認調査 上層180㎡/1,849㎡・平成19年1月24日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 資材置き場及び駐車場建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

**平成19年度**

**八夜台遺跡（第1地点）（千葉県印西市大森字下宿2264番2）**

- (1) 確認調査・上層107㎡/345.76㎡ 本調査 上層50㎡  
平成19年6月18日～平成19年6月21日・調査担当者：野村優子
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺構に影響を及ぼす範囲について、本調査を実施した。

**平成20年度**

**天神台遺跡（第14地点）（千葉県印西市大森字曾谷窪2427番7、10）**

- (1) 確認調査・上層210㎡/2,100㎡・平成21年1月14日～平成21年1月16日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 駐車場建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

**天神前遺跡（千葉県印西市小林字天神前1929番3 他）**

- (1) 確認調査 上層80㎡/777㎡・平成21年2月17日～平成21年2月18日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 墓地造成に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

**平成21年度**

**松崎V遺跡（第2地点）（千葉県印西市松崎字境田1440番1の一部）**

- (1) 確認調査・上層44㎡/330㎡・平成21年5月27日  
本調査・上層78㎡・平成21年6月9日～平成21年6月16日・調査担当者：鈴木圭一
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。その結果を受けて、遺構に影響を及ぼす範囲について、本調査を実施した。

**平成22年度**

**吉高一本松遺跡（千葉県印西市吉高字小手1786番1 他）**

- (1) 確認調査・上層160㎡/1558㎡・平成22年6月15日～平成22年6月18日・調査担当者：杉山祐一
- (2) 老人福祉施設建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

**天神台遺跡（第15地点）（千葉県印西市大森字呑内2233番5 他）**

- (1) 確認調査・上層62㎡/617.17㎡・平成22年8月3日・調査担当者：杉山祐一

- (2) 駐車場建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

**向新田遺跡（第3地点）**（千葉県印西市武西字庚塚1267番2 他）

- (1) 確認調査・上層498㎡/4,978㎡・平成22年5月18日～平成22年5月25日・調査担当者：杉山祐一  
(2) 老人福祉施設建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

**道作古墳群**（千葉県印西市小林字馬場283番5）

- (1) 確認調査・上層114㎡/4,181㎡・平成22年9月28日～平成22年10月4日・調査担当者：鈴木圭一  
(2) 1号墳の同溝範囲を確認するために、確認調査を実施した。

**八夜台遺跡（第2地点）**（千葉県印西市大森字下宿2264番1）

- (1) 確認調査・上層33㎡/326.87㎡ 本調査105㎡  
平成23年1月25日～平成25年1月31日・調査担当者：杉山祐一  
(2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。その結果を受けて、遺構に影響を及ぼす範囲について本調査を実施して記録保存をした。

**中郷遺跡（第1地点）**（千葉県印西市松崎字中郷478番3 他）

- (1) 確認調査・上層32㎡/320.4㎡ 本調査214㎡  
平成23年1月7日～平成23年1月14日・調査担当者：杉山祐一  
(2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。その結果を受けて、遺構に影響を及ぼす範囲について、本調査を実施した。

**平成23年度**

**馬場遺跡（第7地点）**（千葉県印西市小林字花作2721番7、9）

- (1) 確認調査・上層32㎡/302.66㎡ 本調査77.35㎡  
平成23年5月13日～平成23年5月20日・調査担当者：杉山祐一  
(2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。その結果を受けて、遺構に影響を及ぼす範囲について本調査を行い記録保存した。

**向ノ地遺跡**（千葉県印西市船尾字向ノ地582番）

- (1) 確認調査・上層52㎡/514㎡・平成23年7月5日～平成23年7月6日・調査担当者：杉山祐一  
(2) 墓地造成に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

**木戸場遺跡（第3地点）**（千葉県印西市船尾字木戸場424番1）

- (1) 確認調査・上層13.5㎡/71㎡・平成23年10月17日・調査担当者：杉山祐一  
(2) 駐車場建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

**中郷遺跡（第2地点）**（千葉県印西市松崎字中郷533番4）

- (1) 確認調査・上層38㎡/380㎡・平成24年3月8日・調査担当者：杉山祐一

- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

#### 平成24年度

##### 花作遺跡（千葉県印西市小林字花作2606番、2593番の一部）

- (1) 確認調査・上層113㎡/989㎡・平成24年5月1日～平成24年5月2日・調査担当者：根本岳史
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

##### 瓜堀込第2遺跡（千葉県印西市岩戸字道作1844番1 他）

- (1) 確認調査・上層82㎡/1,441㎡・平成24年5月31日・調査担当者：杉山祐一
- (2) 資材置き場建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

##### 川崎遺跡（千葉県印西市竹袋字稲荷峠265番2）

- (1) 確認調査・上層204㎡/991㎡・平成24年6月19日～平成24年6月20日・調査担当者：根本岳史
- (2) 駐車場建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

##### 大越台遺跡（第2地点）（千葉県印西市高西新田字大越台220番2 他）

- (1) 確認調査 上層493㎡/3,072㎡・平成24年6月11日～平成24年6月15日・調査担当者：根本岳史
- (2) 農地造成、資材置き場の建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

##### 川崎遺跡（第2地点）（千葉県印西市竹袋字稲荷峠265番2、265番6、265番10）

- (1) 確認調査・上層598㎡/4,790㎡・平成24年10月9日～平成24年10月16日・調査担当者：根本岳史
- (2) 駐車場建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

##### 油免遺跡（第4地点）（千葉県印西市船尾字向窪782番1、786番5の一部、785番6の一部）

- (1) 確認調査・上層77.36㎡/319.76㎡・平成24年12月19日・調査担当者：根本岳史
- (2) 個人住宅建設に先立って埋蔵文化財発掘の届出が提出された。それにより、埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、遺跡の性格・内容を把握するために、確認調査を実施した。

5. 本書に使用した写真は、遺構は調査担当者、遺物は杉原豊（有限会社スギハラ）が撮影している。
6. 測量業務は、馬場遺跡（第7地点）・八夜台遺跡（第2地点）・中郷遺跡（第1地点）・松崎V遺跡における水準測量を寺田測量設計株式会社が実施している。
7. 出土遺物及び図面・写真は、印西市教育委員会が保管している。
8. 発掘調査から報告書刊行まで、下記の機関・個人のご指導・ご教示を賜った。（敬称略、順不同）  
文化庁・千葉県教育庁生涯学習部文化課・柴田徹・宮内勝巳

## 凡 例

1. 遺構番号が付してある場合は、原則として発掘調査時の番号を踏襲している。
2. 第1～6図は国土地理院発行の1/25,000「竜ヶ崎」「白井」「小林」を使用し、各遺跡の地形図には1/2,500「印西市基本図」を縮小して用いている。
3. トレンチ配置図及び個別遺構図の用例は次の通りである。

T=トレンチ 住=竪穴住居跡 土=土坑 K=擾乱等 溝=溝状遺構 道=道路状遺構

- (1) 方位は磁北を表し、標高は東京湾平均海面からのものである。
  - (2) トレンチ脇の数字は、表土厚 (cm) である。
  - (3) 遺構にかかわる挿図の縮尺は、図中にスケールで示した。
4. 遺物実測図及び写真図版の用例は以下の通りである。
    - (1) 遺物実測図の縮尺は、鉄製品・土製品・銭貨が1/2、径復元品は1/4を原則として、大型土器はそれぞれ図中に示した。
    - (2) 径復元の出来ない土器・陶磁器の破片は断面図のみ図示した。
    - (3) 遺物写真の縮尺は任意である。
    - (4) 遺物観察表の法量は、カッコ内に推定値を標記した。その他は、現存値である。
    - (5) 遺物実測図中のスクリーントーンの用例



赤彩



黒色処理

# 本文目次

例言

凡例

第1章 周辺の遺跡	1
第2章 調査の成果	5
1. 大畑遺跡(第2地点)	5
2. 木戸場遺跡(第1地点)	5
3. 馬場遺跡(第4地点第1次)	6
4. 馬場遺跡(第4地点第2次)	8
5. 迎山遺跡	14
6. 前戸遺跡(第2地点)	14
7. 木戸場遺跡(第2地点)	14
8. 竜崖遺跡	17
9. 馬場遺跡(第6地点)	24
10. 八夜台遺跡(第1地点)	24
11. 天神前遺跡	24
12. 天神台遺跡(第14地点)	24
13. 松崎V遺跡(第2地点)	26
14. 吉高一本松遺跡	26
15. 中郷遺跡(第1地点)	30
16. 天神台遺跡(第15地点)	35
17. 道作1号墳(周溝確認調査第2次)	36
18. 八夜台遺跡(第2地点)	36
19. 向新田遺跡(第3地点)	36
20. 向ノ地遺跡	43
21. 中郷遺跡(第2地点)	43
22. 馬場遺跡(第7地点)	43
23. 木戸場遺跡(第3地点)	44
24. 瓜堀込第2遺跡	44
25. 花作遺跡	49
26. 川崎遺跡(第1地点)	49
27. 大越台遺跡(第2地点)	49
28. 川崎遺跡(第2地点)	49
29. 浦免遺跡(第4地点)	49
第3章 まとめ	62



## 挿 図 目 次

第1図	遺跡位置図(1)……………	2	第32図	中郷遺跡(第1地点)1・2号住居跡・1号住居跡出土遺物(1)……………	31
第2図	遺跡位置図(2)……………	2	第33図	中郷遺跡(第1地点)1号住居跡出土遺物(1)……………	32
第3図	遺跡位置図(3)……………	3	第34図	中郷遺跡(第1地点)1・2号住居跡出土遺物(2)、3・4号住居跡 同出土遺物……………	33
第4図	遺跡位置図(4)……………	3	第35図	中郷遺跡(第1地点)4号住居跡 他出土遺物……………	34
第5図	遺跡位置図(5)……………	4	第36図	天神台遺跡(第15地点)トレンチ遺構配置図……………	35
第6図	遺跡位置図(6)……………	4	第37図	遺作1号墳(周溝確認調査第2次)周辺地形図・トレンチ遺構配置図……………	37
第7図	大畑遺跡(第2地点)周辺地形図・トレンチ遺構配置図・1・2号住居跡……………	7	第38図	遺作1号墳(周溝確認調査第2次)土層断面図・出土遺物……………	38
第8図	大畑遺跡(第2地点)出土遺物……………	8	第39図	八夜台遺跡(第2地点)トレンチ遺構配置図・出土遺物(1)……………	39
第9図	木戸場遺跡(第1・2・3地点)周辺地形図……………	9	第40図	八夜台遺跡(第2地点)出土遺物(2)……………	40
第10図	木戸場遺跡(第1地点)トレンチ遺構配置図……………	9	第41図	向新田遺跡(第3地点)周辺地形図……………	41
第11図	木戸場遺跡(第1地点)1号住居跡……………	10	第42図	向新田遺跡(第3地点)トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	42
第12図	木戸場遺跡(第1地点)2号住居跡……………	11	第43図	向ノ地遺跡周辺地形図・トレンチ配置図……………	44
第13図	木戸場遺跡(第1地点)1号掘立柱建物跡・1号櫓列・2号櫓列……………	12	第44図	馬場遺跡(第7地点)トレンチ遺構配置図・遺構平面図……………	45
第14図	木戸場遺跡(第1地点)2号・3号掘立柱建物跡、1号・2号土坑 出土遺物……………	13	第45図	馬場遺跡(第7地点)遺構図・出土遺物(1)……………	46
第15図	馬場遺跡(第4・5・6地点)周辺地形図……………	15	第46図	馬場遺跡(第7地点)出土遺物(2)……………	47
第16図	馬場遺跡(第4・6地点)トレンチ遺構配置図……………	15	第47図	馬場遺跡(第7地点)出土遺物(3)……………	48
第17図	馬場遺跡(第4地点)出土遺物……………	16	第48図	木戸場遺跡(第3地点)トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	48
第18図	馬場遺跡(第6地点)出土遺物……………	16	第49図	瓜福込第2遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図……………	50
第19図	廻山遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	17	第50図	花作遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	51
第20図	前戸遺跡(第2地点)周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	18	第51図	川崎遺跡(第1・2地点)周辺地形図、川崎遺跡(第1地点)トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	52
第21図	木戸場遺跡(第2地点)トレンチ遺構配置図・1号住居跡出土遺物……………	19	第52図	大越台遺跡(第2地点)周辺地形図・トレンチ遺構配置図 出土遺物(1)……………	53
第22図	木戸場遺跡(第2地点)1号住居跡出土遺物 2号住居跡出土遺物……………	20	第53図	大越台遺跡15トレンチ図……………	54
第23図	木戸場遺跡(第3地点)3・4号住居跡出土遺物・ピット群 同出土遺物……………	21	第54図	大越台遺跡出土遺物(2)……………	55
第24図	竜塚遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	22	第55図	大越台遺跡出土遺物(3)……………	56
第25図	天神前遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	22	第56図	大越台遺跡出土遺物(4)……………	57
第26図	八夜台遺跡(第1・2次)周辺地形図、八夜遺跡(第1地点)トレンチ遺構配置図・1号溝・出土遺物……………	23	第57図	大越台遺跡出土遺物(5)……………	58
第27図	天神台遺跡(第14・15地点)周辺地形図、天神台遺跡(第14地点)トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	25	第58図	大越台遺跡出土遺物(6)……………	59
第28図	松崎V遺跡(第2地点)周辺地形図・1号住居跡 同出土遺物……………	27	第59図	川崎遺跡(第2地点)トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	60
第29図	松崎V遺跡跡(第2地点)1号住居跡出土遺物(2)……………	28	第60図	浦免遺跡(第4地点)周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	61
第30図	吉高一本松遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物……………	29			
第31図	中郷遺跡(第1・2地点)周辺地形図、中郷遺跡(第1地点)トレンチ遺構配置図……………	30			

## 表 目 次

第1表 大畑遺跡(第2地点)遺物観察表……………64	第14表 吉高一本松遺跡遺物観察表遺物観察表…69
第2表 木戸場遺跡(第1地点)遺物観察表…………64	第15表 中郷遺跡(第1地点)遺物観察表…………69
第3表 馬場遺跡(第4地点第1次)遺物観察表…65	第16表 遺作1号墳(周溝確認調査第2次)……70
第4表 馬場遺跡(第4地点第2次)遺物観察表…65	第17表 八夜台遺跡(第2地点)遺物観察表……70
第5表 廻山遺跡遺物観察表……………65	第18表 向新田遺跡(第3地点)遺物観察表……71
第6表 前戸遺跡(第2地点)遺物観察表…………65	第19表 中郷遺跡(第2地点)遺物観察表…………71
第7表 木戸場遺跡(第2地点)遺物観察表…………65	第20表 馬場遺跡(第7地点)遺物観察表…………72
第8表 竜崖遺跡遺物観察表……………67	第21表 木戸場遺跡(第3地点)遺物観察表……73
第9表 馬場遺跡(第6地点)遺物観察表…………67	第22表 花作遺跡遺物観察表……………73
第10表 八夜台遺跡(第1地点)遺物観察表……67	第23表 川崎遺跡(第1地点)遺物観察表…………74
第11表 天神前遺跡遺物観察表……………67	第24表 大越台遺跡(第2地点)遺物観察表……74
第12表 天神台遺跡(第14地点)遺物観察表……68	第25表 川崎遺跡(第2地点)遺物観察表…………76
第13表 松崎V遺跡(第2地点)遺物観察表……68	第26表 浦免遺跡(第4地点)遺物観察表…………76

## 写真図版目次

### PL1

●大畑遺跡(第2地点)作業風景、1号竪穴建物、1・2号土坑完掘 ●木戸場遺跡(第1地点)重機稼働状況、1・2号竪穴建物跡完掘、1・2・3号掘立柱建物跡完掘、掘立柱建物群完掘、1・2号土坑完掘、調査区遠景 ●前戸遺跡(第2地点)調査前風景、1T遺構検出状況

### PL2

●前戸遺跡(第2地点)2T遺構検出状況  
●木戸場遺跡(第3地点)1号竪穴建物跡・同カマド部遺物出土状況、2号竪穴建物跡土層断面図・同調査区完掘、3号竪穴建物跡土層断面図、1号櫓列完掘 ●竜崖遺跡 調査前風景、トレンチ配置・同遺構検出状況 ●馬場遺跡(第6地点)トレンチ配置、3T・6Tトレンチ遺構検出状況 ●八夜台遺跡(第1地点)1号溝完掘・土層断面

### PL3

●八夜台遺跡(第1地点)埋戻 ●天神前遺跡遺構検出状況 ●天神台遺跡(第14地点)調査

前風景、4T・11T遺構検出状況 ●松崎V遺跡(第2地点)調査前風景、1号竪穴建物跡完掘・同カマド完掘 ●吉高一本松遺跡 作業風景、トレンチ遺構検出状況 ●中郷遺跡(第1地点)1・2・3号竪穴建物跡完掘、1号竪穴建物跡かまど

### PL4

●中郷遺跡(第1地点)4号竪穴建物跡・同跡完掘 ●天神台遺跡(第15地点)遺構検出状況 ●遺作1号墳(周溝確認調査第2次)2T・3T・4T遺構検出状況 ●八夜台遺跡(第2地点)1号竪穴建物跡完掘・同道物出土状況・同土層断面・同カマド、1号土坑完掘、調査区全景 ●向新田遺跡(第3地点)1T・3T・8T遺構検出状況

### PL5

●向ノ地遺跡重機稼働状況、1T・2T遺構検出状況 ●中郷遺跡(第2地点)1T・2T遺構検出状況、埋戻し状況  
馬場遺跡(第7地点)遺構検出状況、1号竪穴

- 建物跡完掘・遺物出土状況・カマド・土層断面、  
2号竪穴建物跡完掘・遺物出土状況・土層断面、  
3号竪穴建物跡完掘
- PL6  
●馬場遺跡（第7地点）3号竪穴建物跡遺物出土状況・A A'土層断面、4・5号竪穴建物跡完掘、4号竪穴建物跡遺物出土状況・土層断面、5号竪穴建物跡土層断面、1・2号土坑完掘、全景 ●木戸場遺跡（第3地点）作業風景、1号竪穴建物跡検出状況・土層断面 ●瓜福込第2遺跡 作業風景、1 T 遺構検出状況
- PL7  
●瓜福込第2遺跡 2 T 遺構検出状況 ●花作遺跡 1 T・4 T・5 T・6 T・9 T 遺構検出状況、埋戻し ●川崎遺跡1 T・3 T・5 T 遺構検出状況、全景 ●大越台遺跡（第2地点）調査前風景、1 T・2 T 遺構検出状況
- PL8  
●大越台遺跡（第2地点）15 T 遺物出土状況・土層断面、埋戻し ●川崎遺跡（第2地点）調査前風景、3 T・6 T・9 T・12 T・18 T 遺構検出状況 ●油免遺跡（第4地点）調査前風景、4 T・6 T 遺構検出状況、1号溝検出状況・完掘
- PL9  
大畑遺跡（第2地点）、木戸場遺跡（第1地点）  
馬場遺跡（第4地点第1次・第2次）、廻山遺跡、前戸遺跡（第2地点）出土遺物
- PL10  
木戸場遺跡（第2地点）出土遺物
- PL11  
竜崖遺跡、馬場遺跡（第6地点）、天神前遺跡、八夜台遺跡（第1地点）、天神台遺跡（第14地点）、松崎 V 遺跡（第2地点）(1)出土遺物
- PL12  
松崎 V 遺跡（第2地点）(2)、吉高一木松遺跡出土遺物
- PL13  
中郷遺跡（第1地点）(1)出土遺物
- PL14  
中郷遺跡（第1地点）(2)、中郷遺跡（第2地点）、道作1号墳、八夜台遺跡（第2地点）出土遺物
- PL15  
向新田遺跡（第3地点）、馬場遺跡（第7地点）(1)出土遺物
- PL16  
馬場遺跡（第7地点）(2)出土遺物
- PL17  
馬場遺跡（第7地点）(3)、木戸場遺跡（第3地点）、花作遺跡、川崎遺跡（第1地点・第2地点）、大越台遺跡（第2地点）(1)出土遺物
- PL18  
大越台遺跡（第2地点）(2)出土遺物
- PL19  
大越台遺跡（第2地点）(3)、油免遺跡（第4地点）(1)出土遺物
- PL20  
油免遺跡（第4地点）(2)出土遺物

## 第1章 周辺の遺跡

印西市北西部に位置する手賀沼の南岸では、竜崖遺跡（1）・大越台遺跡（2）が調査された。浦部にある松山2号墳（3）は、7世紀初頭の直径23mの円墳であり、切石積み箱式石棺に追葬された人骨が発見された。南方の台地奥には、旧石器時代の石器集中地点が多数発見された木崎峠跡（4）、縄文時代前期の土偶が出土した一本桜遺跡（5）、弥生時代土器棺墓が見つかった羽中遺跡（6）がある。大塚前遺跡（7）では古瓦・瓦塔が出土しており、古代の寺院跡が想定されている。

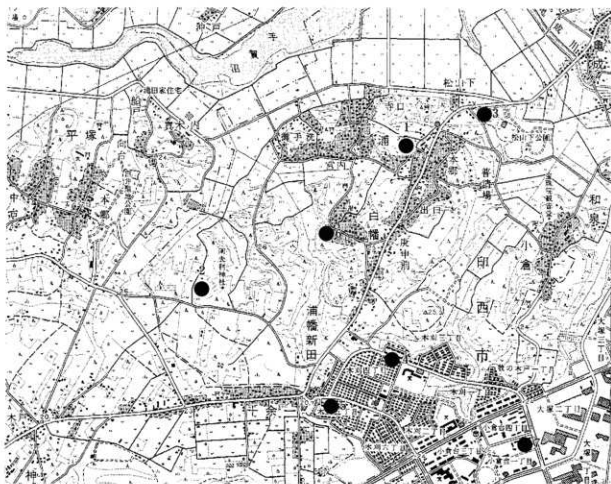
大森周辺では、大畑遺跡（8）・廻山遺跡（9）・八夜台遺跡（10）・天神台遺跡（11）が調査された。この周辺には、弥生時代から古墳時代前期の集落跡である古新田遺跡（12）、7世紀後半の横穴式石室を持つ上宿古墳（13）がある。曾谷窪遺跡（14）では、奈良・平安時代の製鉄関連遺構が発見されている。木下別所庵寺（15）は、飛鳥山田寺系の竜角寺式軒瓦が出土し、曾谷ノ窪瓦窯跡（16）ではその瓦を生産していたと見られている。

神崎川と新川の北部では、樹枝状に開析された台地上の向新田遺跡（17）・向ノ地遺跡（18）・木戸場遺跡（19）・油免遺跡（20）・中郷遺跡（21）・前戸遺跡（22）・松崎V遺跡（23）が調査された。松崎I（24）・II（25）・III（26）・IV（27）遺跡では、旧石器時代から中世に至るまで数多い調査結果がもたらされている。船尾白幡遺跡（28）は、旧石器時代の細石器、縄文時代中期・弥生時代の集落跡、奈良・平安時代の掘立柱建物群が発見されている。縄文時代の遺跡では、低地遺跡である西根遺跡（29）で、縄文時代後期の土器が大量に出土したほか、縄文時代飾り弓・古墳時代壠・小舟部材、奈良・平安時代木製人形・馬形といった貴重な遺物も出土している。古墳時代のもものでは、7世紀中葉から後半にかけて築造された箱式石棺を持つ古墳3基が調査された船尾町田遺跡（30）が存在する。平安時代には、鳴神山遺跡（31）・白井谷奥遺跡（32）において大規模な集落跡が見つかり、鳴神山遺跡では道路関連の祭祀跡や仏教関係の墨書土器が出土している。

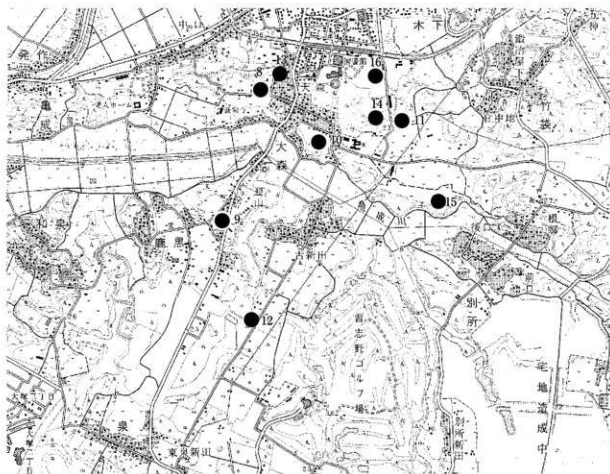
将監川南部の台地上では、花作遺跡（33）・馬場遺跡（34）・道作古墳群（35）・天神前遺跡（36）・川崎遺跡（37）が調査された。鶴塚古墳（38）は、4世紀末から5世紀初頭に築造された大型円墳であり、器台形埴輪が出土している。その周辺には小林古墳群（39）や浅間山古墳群（40）がある。駒形北遺跡（41）では古墳時代前期から奈良・平安時代の集落跡が営まれていた。東遺跡（42）では古墳時代後期から奈良・平安時代の掘立柱建物跡が多く見られる集落跡が確認され、馬込遺跡（43）では奈良・平安時代の瓦塔2基と鉄鉢形土器が出土している。小林城跡（44）は、発掘調査によって築城から廃城に至る過程が明らかにされている。

北印藤沼の南西岸に位置する吉高一本松遺跡（45）の周辺は、小規模ながら調査例が多い。吉高山王遺跡（46）は、吉高山王1号墳と平安時代住居跡が調査された。吉高浅間古墳（47）・吉高大谷遺跡（48）では弥生時代後期の集落跡が検出された。松虫間所遺跡（49）・萩原長原遺跡（50）も弥生時代を主とする遺跡である。吉高家老地遺跡（51）では、弥生時代の集落以外に縄文時代早期や古墳時代前期の遺構遺物が検出されている。周辺の古墳には、吉高浅間古墳・椎木1号墳（52）・2号墳（53）がある。中世の城館では萩原株木遺跡（54）・松虫陣屋跡（55）が調査されている。

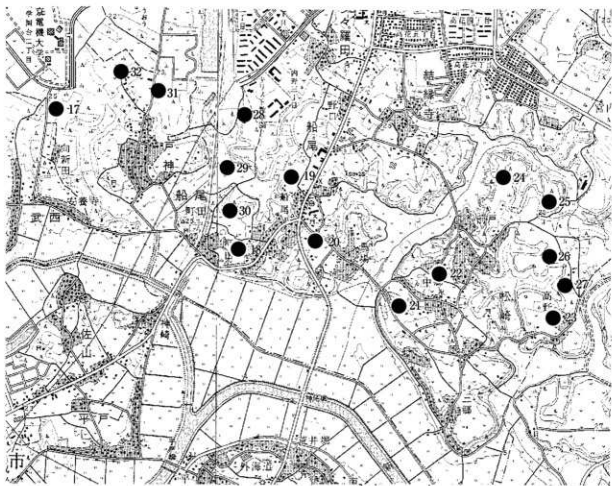
一方、西印藤沼北岸の狐坂遺跡（56）付近の調査例は少ない。岩戸広台遺跡（57）は縄文時代早期の竪穴や7世紀から10世紀初頭に至る集落跡が調査されている。石神台貝塚（船作第1遺跡）（58）は縄文時代後期の加曾利B式を主体とする貝塚であり、戸ノ内遺跡（59）は縄文時代後期末安行式が主な貝塚である。他には、岩戸城跡（60）・船戸城跡（61）・師戸城跡（62）といった中世城館跡が分布する。



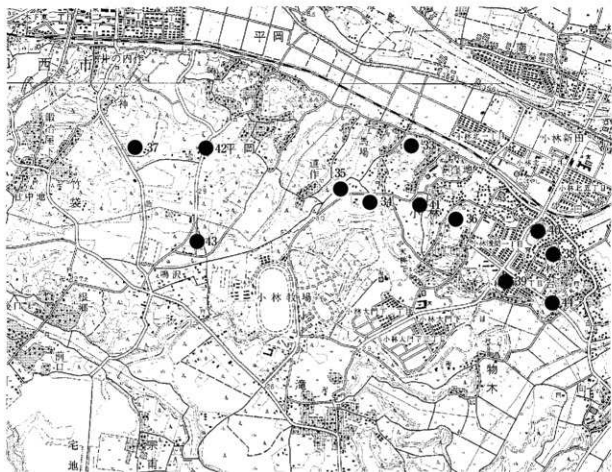
第1圖 遺跡位置圖1)



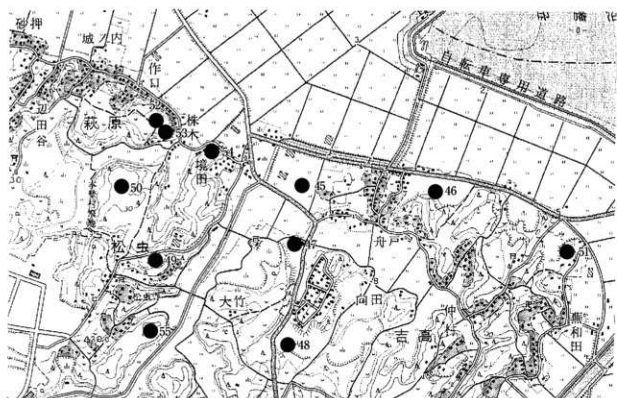
第2圖 遺跡位置圖2)



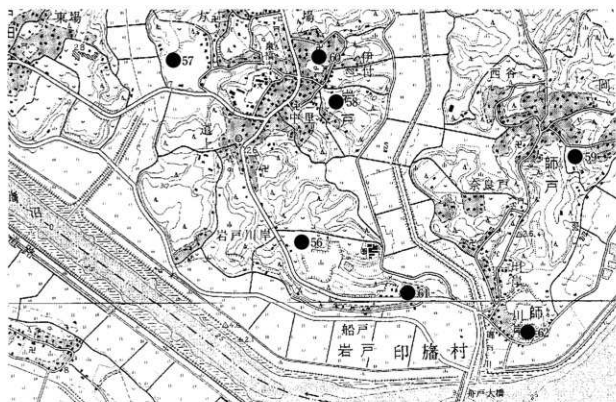
第3図 遺跡位置(図3)



第4図 遺跡位置(図4)



第5図 遺跡位置図5)



第6図 遺跡位置図6)

## 第2章 調査の成果

### 1. 大畑遺跡（第2地点）（第7・8図、表1、PL1・9）

- (1) **遺跡の立地** 北に利根川、南に亀成川を臨む東西に延びた標高約24mの台地上。
- (2) **調査履歴** 今回の調査地点の北東部で平成15年に確認調査を実施し、その結果を受けて平成15・16年に本調査319.75mを実施した。その結果、縄文時代中期堅穴住居跡1軒、弥生時代後期堅穴住居跡1軒、奈良・平安時代堅穴住居跡1軒（9世紀前半）・掘立柱列2条・土坑2基が検出されている<sup>1)</sup>。
- (3) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを3本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (4) **遺構と遺物** 奈良・平安時代堅穴住居跡2軒が発見された。1号住居跡は、検出できた南西部のコーナー部分のみ精査された。そのうち南側壁と西側壁の一部は、攪乱によって立ち上がりが確認できなかった。規模は長軸4.4m以上、短軸4.1m以上、深さ約0.3mである。覆土は、一部焼土の混入が目立つが、自然堆積したものであると思われる。ピットは3基確認されているが、それぞれの性格は不明である。P1のみ、土師器小片が出土している。

2号住居跡は大平が攪乱を受けているが、その底面には深さが約3～5cmある溝が検出されているほか、底面から紡錘車が出土している点などから、住居跡と判断した。

建物跡の北側には、土坑が2基検出されている。1号土坑は、東部が攪乱によって失われ、一部調査区域外に出ている部分もあり、全貌がわからないが、長軸0.82m、短軸0.54m、深さ0.51mを測る。2号土坑も一部調査区域外に出ており、長軸0.74m、短軸0.44m、深さ0.4mである。

1・2トレンチからは遺物が出土せず、3トレンチのみ遺物が検出されており、土師器（約2,436g内1住出土約1,876g）、須恵器（約149g内1住出土約90g）、縄文土器（約17g）、近世以降の遺物（約98g）が出土している。

注1) 飯島伸一 「平成15年度印西市内遺跡発掘調査報告書」印西市教育委員会 2004年

飯島伸一 「平成16年度印西市内遺跡発掘調査報告書」印西市教育委員会 2005年

### 2. 木戸場遺跡（第1地点）（第9～14図、表2、PL1・9・10）

- (1) **遺跡の立地** 新川の北部の樹枝状に侵食を受けた手賀沼南岸の標高約25mの台地上。木戸場遺跡第2地点の東側に隣接する。
- (2) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを3本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。その後、本調査範囲を確定して、発見された遺構を精査した。
- (3) **遺構と遺物** 確認調査では、奈良・平安時代堅穴住居跡5軒・土坑7基、溝状遺構1条が想定されたが、最終的には堅穴住居跡2軒・掘立柱建物跡3棟・土坑2基・欄列2条が調査された。

1号住居跡は、長軸3.63m、短軸3.43m、深さ約0.1m、中央部付近にピット1基、南西コーナー付近に土坑が検出された。この土坑は貯蔵穴と思われるが、土層断面からすると、建物跡と関連しない遺構の可能性もある。周溝は東壁下部を除き、廻っている。床中央部には硬化面が認められた。1号溝と攪乱によって、カマドを含めて建物跡の一部が破壊されている。覆土は浅く、混入物が多い。1号堅穴建物跡からは、土師器約93g、須恵器約169g、支脚約204gが出土している。墨書土器が4点出土しており、そのうち2点は「生」の字である。



2号住居跡は、長軸5.26m、短軸5.2m、深さ約0.45m。かまどは北壁中央に所在する。柱穴4基、梯子ピット1基が検出された。周溝は北壁東部を除いて廻っている。覆土は混入物が多く不規則なため、人為的な埋しの可能性がある。出土遺物は、土師器約3,898g、須恵器約162g、支脚約165g、縄文土器約300g、陶磁器約2gである。

1号掘立柱建物跡は、北東部の一部だけ検出できた。少なくとも梁行2間以上(4.05m)×桁行1間以上(2.4m)の大きさがある。主軸方位はN-32-E。柱穴の平面形は基本的に円形を呈し、柱穴規模や柱穴間距離は、ほぼ同一である。覆土は焼土やローム粒の混入が見られるが、自然堆積と考えられる。P1から土師器約48g、P2から土師器約128g・須恵器約17g、P3から土師器約179g、須恵器約9gが出土している。

2号掘立柱建物跡は、北側の一部のみ検出できた。少なくとも4間(8.5m)×2間以上(2.7m以上)の大きさであり、主軸方位はN-48-Eである。柱穴の平面形はほぼ円形を呈し、一部の柱穴には抜き取り痕が確認できる。覆土にはロームブロックが多量に混入しており、人為的堆積を示す。P1から土師器約5g、P2から土師器約13g、P3から土師器約42g、P4から土師器約36g、P5から土師器約40g、P6から土師器約35g、P7から土師器約13g・須恵器約22g、P8から土師器約120g・須恵器約5g・陶磁器約7gが出土している。

3号掘立柱建物跡も北側の一部のみ検出できた。少なくとも1間以上(2.6m以上)×1間(3.4m)の大きさであり、主軸方位はN-43-Wである。柱穴の平面形はほぼ円形である。その規模はほぼ同一である。3号掘立柱建物跡内側にもいくつかピットがあり、その組み合わせなど検討の余地があるかもしれない。P1から土師器約15g出土している。

1号櫓列は、調査区北壁と西壁に接触し、その全貌は不明であるが溝によって結ばれた柱穴4基が検出し、その全長は6.3m以上になる。柱穴の平面形は円形で、上場から下場に行くにつれかなり直径が小さくなる。土師器約48gが出土している。

2号櫓列は、調査区北西壁に接触し、全体の大きさが不明である。その長さ6.65m以上であり、布掘り状の溝によって結ばれた柱穴4基からなる。出土した遺物はなかった。

1号土坑は、3号掘立柱建物跡の柱穴と重複しており、切り合いから3号掘立柱建物跡より新しいことがわかる。1辺1m程度の隅丸方形を呈するようである。覆土にはロームブロックが混入しているが、レンズ状の堆積をしている。土師器約26gが出土している。

2号土坑は、調査区南側の一部が延びているため、その全容は不明であるが、直径1.2m程度の円形を呈していると思われる。覆土にはロームブロックが混入しており、レンズ状の堆積をしている。土師器約21gが出土している。

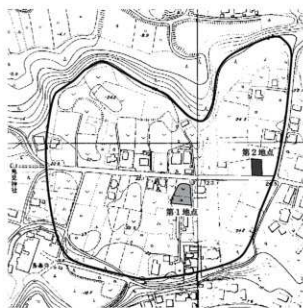
3号土坑は、0.48m×0.35mの楕円形を呈する。覆土の状況は不明。出土遺物もない。

なお、木戸場遺跡第1地点にて遺構外から出土した遺物は、土師器約556g・須恵器約693g・陶磁器約8g・縄文土器約33g・粘土塊約6gである。

### 3. 馬場遺跡(第4地点 第1次)(第15~18図、表3、PL9)

(1) 遺跡の立地 利根川の支流将監川に面した支谷に開析された標高約25mの台地上。馬場遺跡第5地点と第6地点の南側となる。

(2) 調査履歴 本報告書掲載分を含めて、平成11年に始まってこれまで7地点が発掘調査された<sup>1)</sup>。主に縄文時代後期と奈良・平安時代の集落跡が確認されており、一部には中近世の遺構も確認されている。注目さ



3号トレンチ敷層上層説明

1号住居跡土層

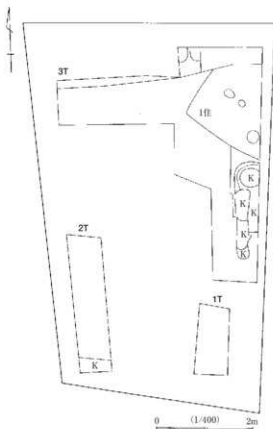
- ① 暗褐色土 ロ-M461-2m)を若干含む
- ② 黄褐色土 ロ-M464-5m)を全体に含む  
し、粘性強い

北部覆瓦

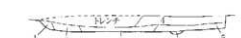
- A. 暗褐色土 ロ-M462-3m)を全体に含む  
し、粘性なし

南部覆瓦

- 1. 暗褐色土 ロ-M465-10m)を全体に含む  
し、粘性強い
- 2. 明褐色土 ロ-M463-40m)を全体に多く含む。  
し、粘性なし、粘性強い
- 3. 暗黄褐色土 ロ-M461-5m)を全体多く含む。  
焼土を全体に多く含む。
- 4. 赤褐色土 ロ-M464-5m)を全体多く含む。  
し、粘性強い。



SCA, 1409m

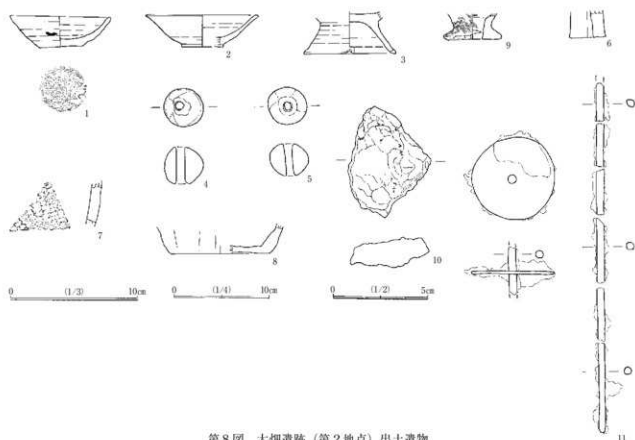


EPA, 1409m

1号住居跡土層説明

- 1. 暗褐色土 ロ-M461-2m)を全体に含む し、粘性強い
- 2. 赤褐色土 ロ-M461-2m)を全体に含む。焼土を全体に多量に含む。  
特に住居跡コーナー部分に堆積し、粘性強い
- 3. 明褐色土 ロ-M463-4cm)焼土を全体に含む。し、粘性あり、粘性強い
- 4. 暗褐色土 ロ-M461-2m)を若干含む
- 5. 黄褐色土 ロ-M464-5m)を全体に含む し、粘性強い

第7図 大畑遺跡(第2地点)周辺地形図・トレンチ遺構配置図・1号・2号住居跡図



第8図 大畑遺跡（第2地点）出土遺物

れる遺物として、縄文時代の土偶脚部や耳飾り片、奈良・平安時代「五千」の墨書土器などが出土している。また、古墳時代土師器も出土しており、該期の集落跡の所在も予想されている。

(3) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。

(4) 遺構と遺物 縄文時代後期竪穴住居跡1軒が検出され、近世塚2基が確認された。出土遺物は、縄文土器約31g・土師器約10g・須恵器約9g・瓦約22gである。出土した土師器坏の中に口縁部が端反りしているものが見受けられることから、9世紀後半を主体とする集落跡と想定される。

注1) 板橋規子「千葉県印西市馬場遺跡（第1地点）・北台塚」（財）印旛郡市文化財センター 2001年

小倉和重「千葉県印西市馬場遺跡（第2地点）-印西市道18-042号線埋蔵文化財調査委託-」

財）印旛郡市文化財センター 2002年

飯島伸一「平成16年度印西市遺跡発掘調査報告書」印西市教育委員会 2005年

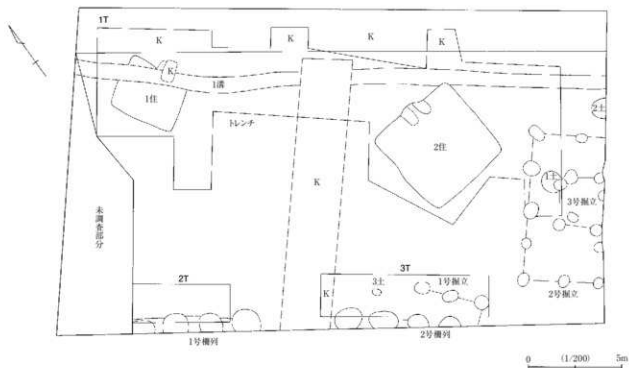
喜多裕明「千葉県印西市道作1号墳（第2次）馬場遺跡第5地点（第1次・第2次）-印西市道00-031号線道作古墳群・馬場遺跡埋蔵文化財調査-」財）印旛郡市文化財センター 2011年

#### 4. 馬場遺跡（第4地点 第2次）（第15~18図、表4、PL9）

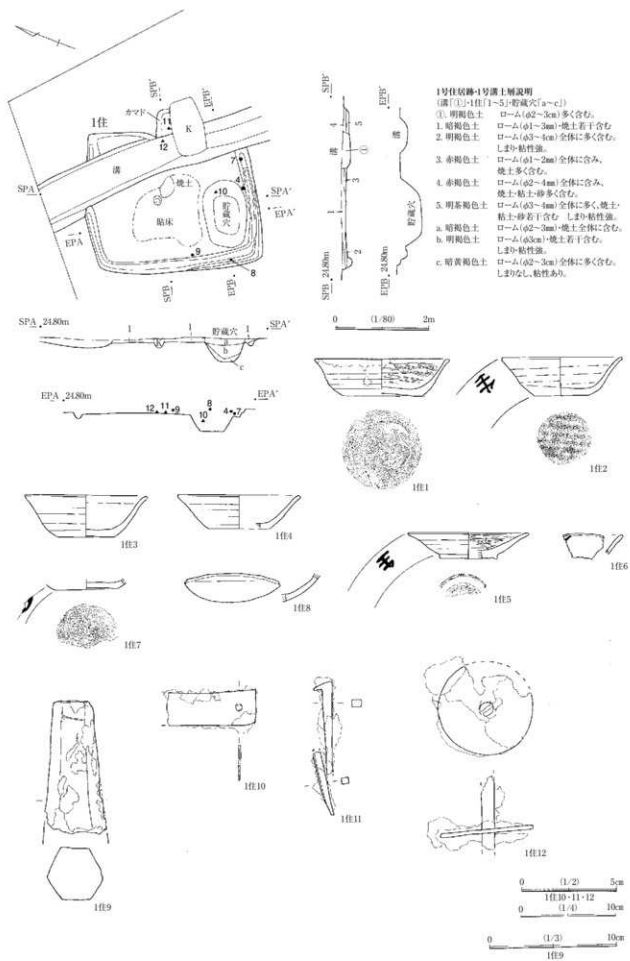
(1) 遺跡の立地 利根川の支流将監川に面した支谷に開析された標高約25mの台地上。馬場遺跡第5地点と範囲が重なる。



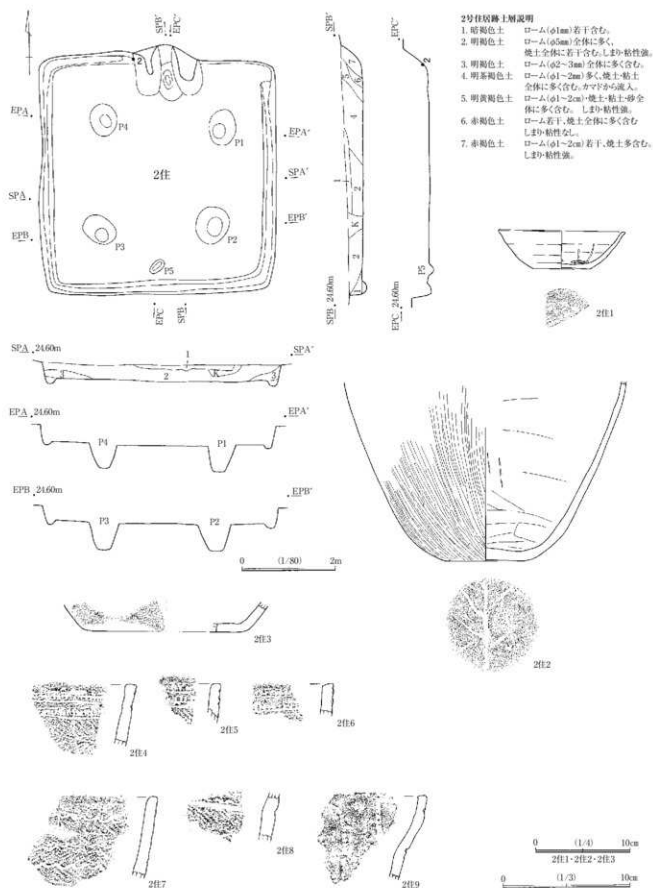
第9図 木戸場遺跡（第1・2・3地点）周辺地形図



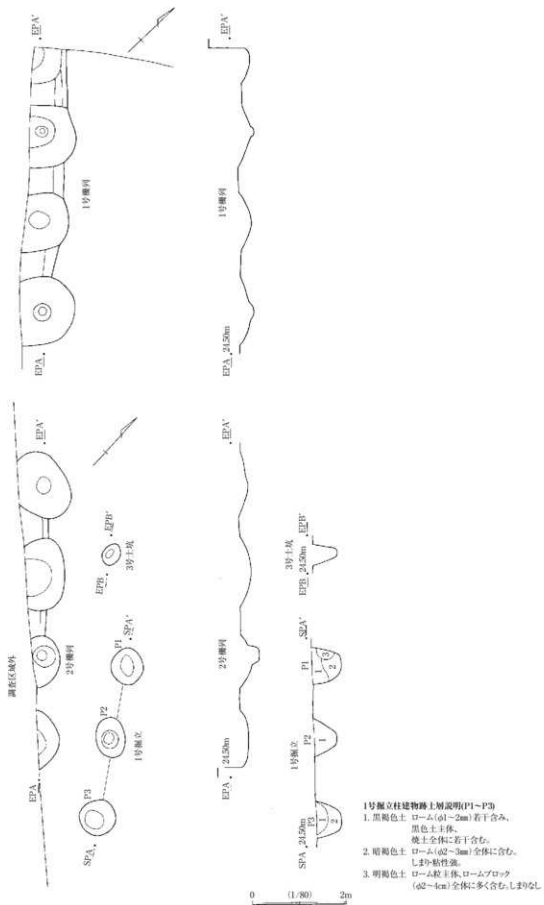
第10図 木戸場遺跡（第1地点）トレンチ遺構配置図



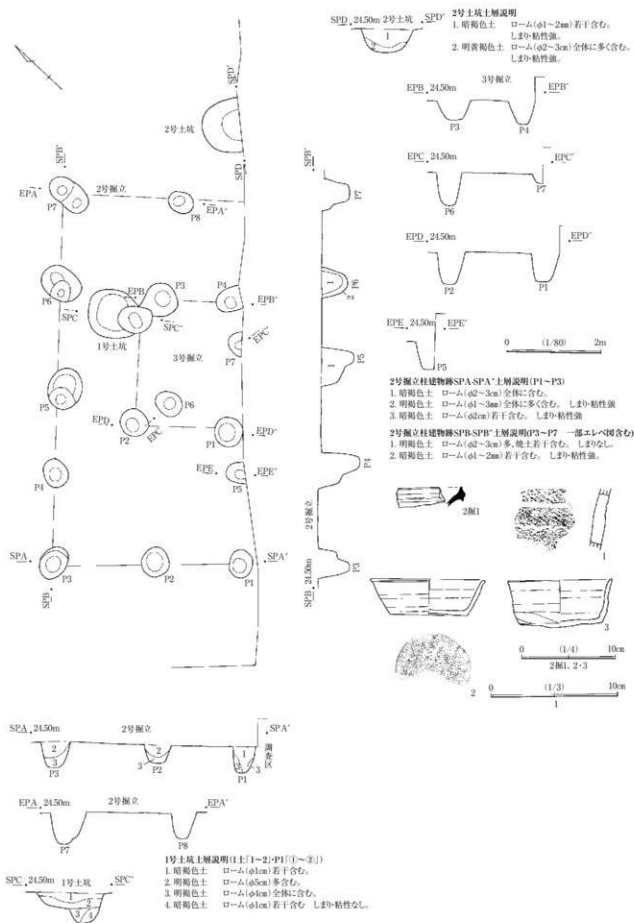
第11図 木戸場遺跡 (第1地点) 1号住居跡



第12図 木戸場遺跡(第1地点) 2号住居跡



第13図 木戸場遺跡(第1地点)1号掘立柱建物跡・1号欄列・2号欄列



第14図 木戸場遺跡(第1地点)2号・3号掘立柱建物跡、1号・2号土坑 出土遺物



- (2) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) **遺構と遺物** 縄文時代土坑1基、中世溝状遺構（道路）1条、近世溝状遺構1条が検出された。溝状遺構は、馬場遺跡第5地点の1号道路状遺構であり、縄文時代土坑は馬場遺跡第5地点415号土坑にあたると思われる。なお、出土遺物は縄文土器約505g・土師器約299g・須恵器約17g・陶磁器約117g・在地系土師質土器73g・瓦約9gである。

## 5. 迎山遺跡（第19図、表5、PL9）

- (1) **遺跡の立地** 亀成川東岸の標高約23mの台地上。
- (2) **調査の方法** 既存の建物・駐車場を除いた部分にトレンチを3本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) **遺構と遺物** 古墳時代前期竪穴住居跡2軒が検出され、土師器約34gが出土している。

## 6. 前戸遺跡（第2地点）（第20図、表6、PL1・9）

- (1) **遺跡の立地** 新川北東部の樹枝状に開析された標高約25mの台地上。
- (2) **調査履歴** 即千葉県埋蔵文化財センターによる平成9～15年にわたる調査<sup>注1)</sup>と即印旛郡市文化財センターによる平成16年の調査<sup>注2)</sup>がある。旧石器時代から縄文時代早期・前期といった時代を測る遺構・遺物や、古墳時代から奈良・平安時代に至る集落跡が確認された。溝状遺構から瓦塔が出土していることが注目される。
- (3) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチ6本を設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (4) **遺構と遺物** 奈良・平安時代の竪穴住居跡3軒・土坑1基・溝状遺構1条・道路状遺構1条が検出され、奈良・平安時代土師器・須恵器が出土した。なお、遺物は縄文土器約94g・土師器約2,010g・須恵器約350g・支脚約35g・陶磁器約12g・在地系土師質土器約269g・瓦約35gが出土した。

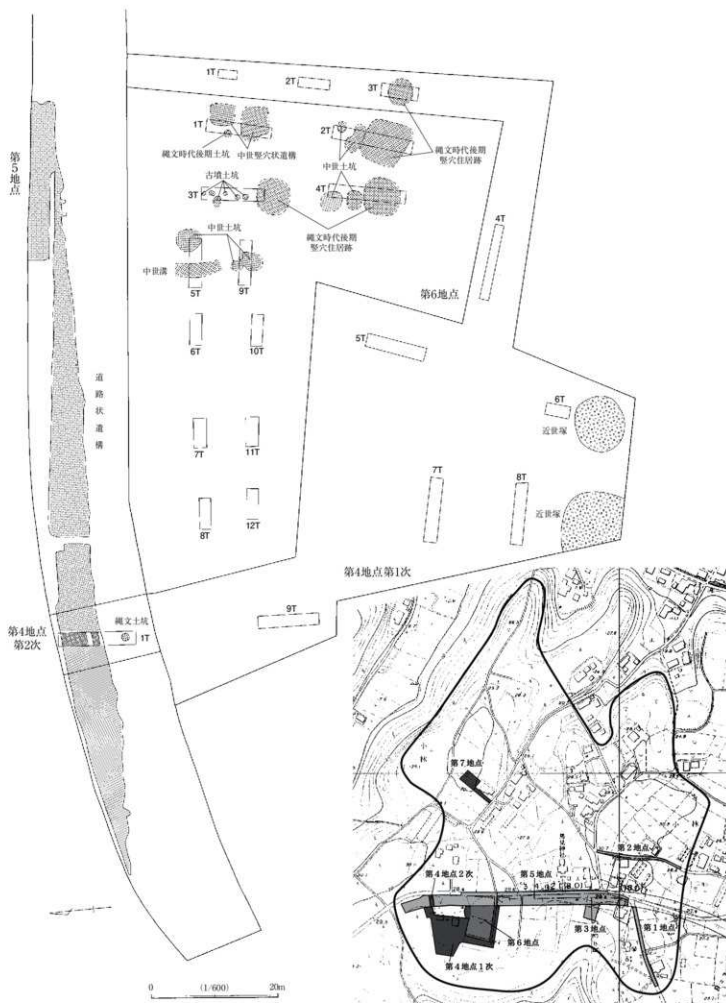
注1) 内田龍哉 他 「印西市新井堀Ⅱ遺跡・前戸遺跡 - 印西市道00-026号線道路改良に伴う埋蔵文化財調査報告書」 即千葉県埋蔵文化財センター 2004年

注2) 伊藤弘一 「千葉県印西市 前戸遺跡 - 印西市道00-016号線埋蔵文化財調査 -」 即印旛郡市文化財センター 2005年

## 7. 木戸場遺跡（第2地点）（第9・21～23図、表7、PL2・10）

- (1) **遺跡の立地** 新川北部の樹枝状に侵食を受けた手賀沼南岸の標高約25mの台地上。木戸場遺跡第1地点の東側隣接地。木戸場遺跡第3地点の西側隣接地。
- (2) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを2本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。本調査をするために、遺構が確認された部分の表土を除去し、その後工事によって影響を受ける遺構について精査して調査を終了した。
- (3) **遺構と遺物** 奈良・平安時代竪穴住居跡4軒、近世土坑5基が調査され、奈良・平安時代土師器・須恵器が出土した。

1号住居跡は、長軸約4.4m、短軸約4.28m、深さ約0.75mを測る。住居跡のほぼ南半分が精査された。カマドは西壁中央に位置し、周溝は調査した住居跡南部では確認された。検出できた柱穴は2基である。土層観察より覆土は埋め戻された様相を示す。1号竪穴建物跡から出土した遺物は、土師器約5,713g（P2約15g）・須恵器約2,670g・縄文土器約37g・陶磁器約7gであった。

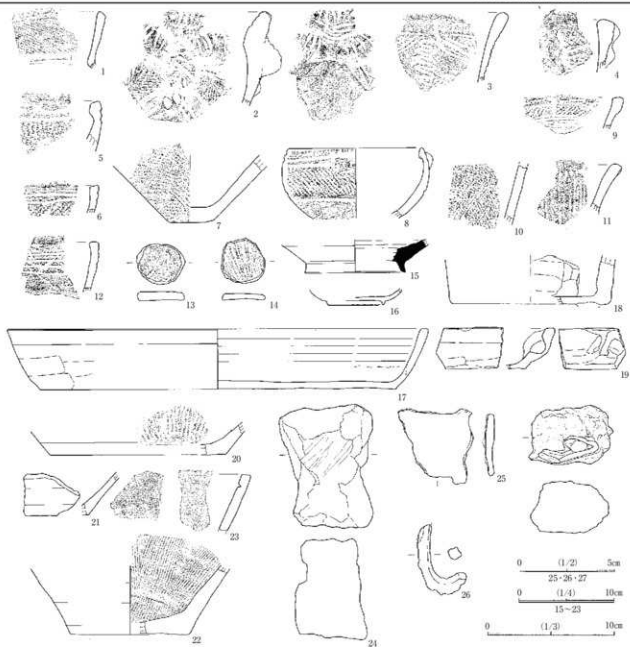


第16図 馬場遺跡 (第4・6地点) トレンチ遺構配置図

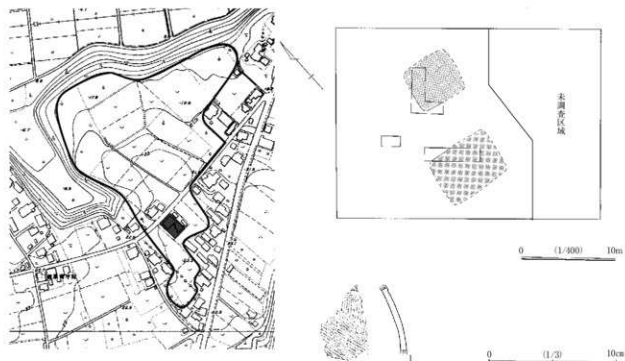
第15図 馬場遺跡 (第4・5・6・7地点) 周辺地形図



第17圖 馬場遺跡(第4地点)出土遺物



第18圖 馬場遺跡(第6地点)出土遺物



第19図 迎山遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物

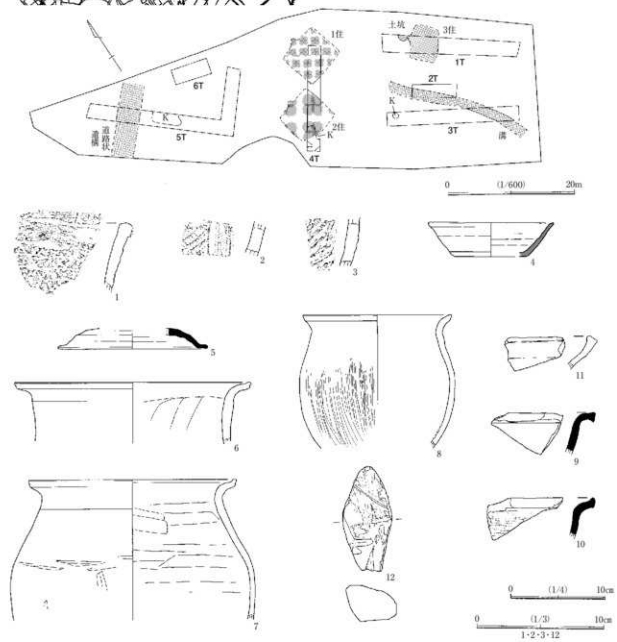
2号住居跡は、長軸約6.4m、短軸約5.8m、深さ約0.8mを測る。南西コーナー部分のみ精査された。精査された部分には周溝が廻り、柱穴1基が検出された。カマドは精査されなかったが、西壁中央に所在する。覆土は、埋め戻された様相を示す。出土遺物は、土師器約5,490g（内P1約145g）・須恵器約870g（内P1約9g）・支脚約52g（P1出土）・粘土塊約9g・陶磁器約16gであった。

3・4号住居跡は、所在を確認し、土層を記録して調査を終了した。これらの住居跡は北側を掘削によって破壊されている。3号住居跡は長軸約4.24m、短軸約2.5m以上、深さ約0.65mを測る。出土した遺物は、土師器約3,745g・須恵器約730g・縄文土器約26gであった。4号住居跡は、長軸約4.1m、短軸約3m以上、深さ約0.72mを測る。覆土はかなり攪乱を受けている。出土遺物は、土師器約255g・須恵器約29g・縄文土器約68gであった。土層の観察から、3号住居跡は4号住居跡に切られており、遷移が推定される。

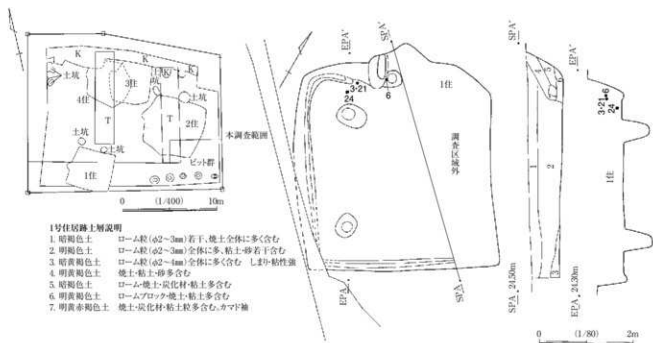
ピット群は5基のピットが、少し曲がりながら並んでいる。掘り込みは浅く、性格は不明である。遺構外から出土した遺物は、土師器約1,035g・須恵器約235g・縄文土器約162gであった。

#### 8. 竜屋遺跡（第24図、表8、PL.2・11）

- (1) 遺跡の立地 手賀沼東岸の標高約25mの台地上。
- (2) 調査の方法 地形に沿って、トレンチ3本を設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) 遺構と遺物 台地縁辺部に中世溝状遺構1条が検出され、縄文土器約280g、土師器約262g、須恵器約24gが出土した。

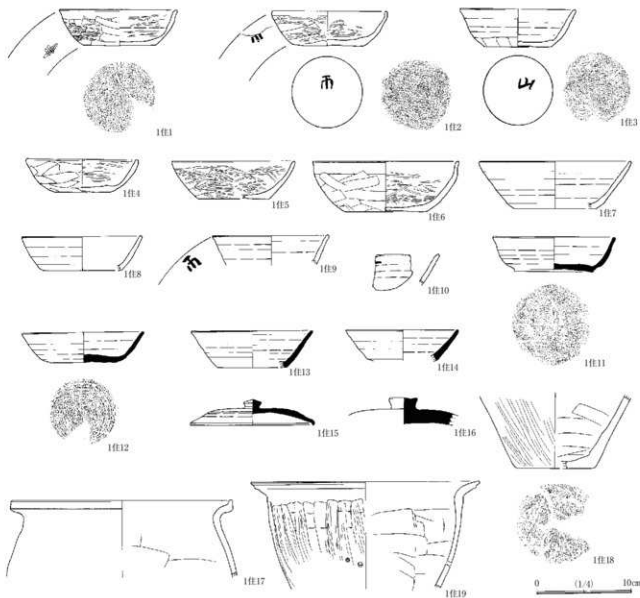


第20図 前戸遺跡（第2地点）周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物

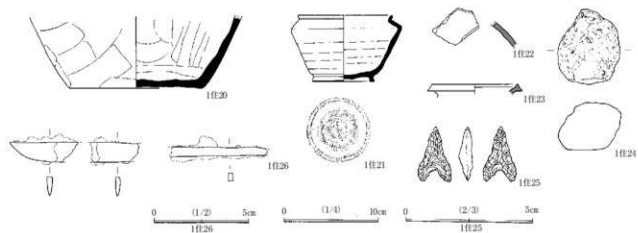


1号住居跡土解説明

1. 暗褐色土 ローム殻(φ2-3mm)若干、焼土全体に多く含む
2. 明褐色土 ローム殻(φ2-3mm)全体に多、粘土砂若干含む
3. 暗黄褐色土 ローム殻(φ2-4mm)全体に多く含む、しまり粘性強
4. 明黄褐色土 焼土粘土砂多含む
5. 暗褐色土 ローム焼土炭化材粘土多含む
6. 明褐色土 ロームアロッタ焼土粘土多含む
7. 明黄赤褐色土 焼土炭化材粘土多含む、カマド跡



第21図 木戸道遺跡(第2地点)トレンチ遺構配置図・1号住居跡 出土遺物(1)

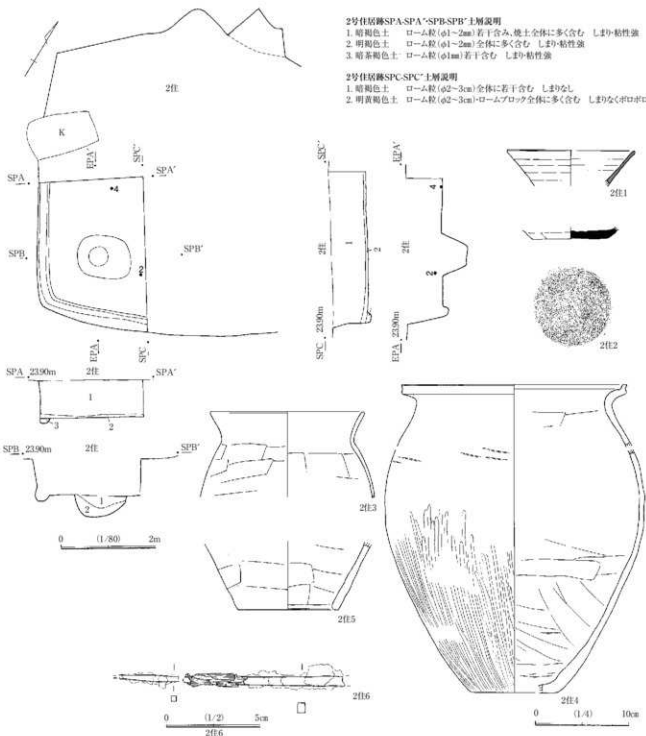


2号住居跡SPA-SPA'・SPB-SPB'土層説明

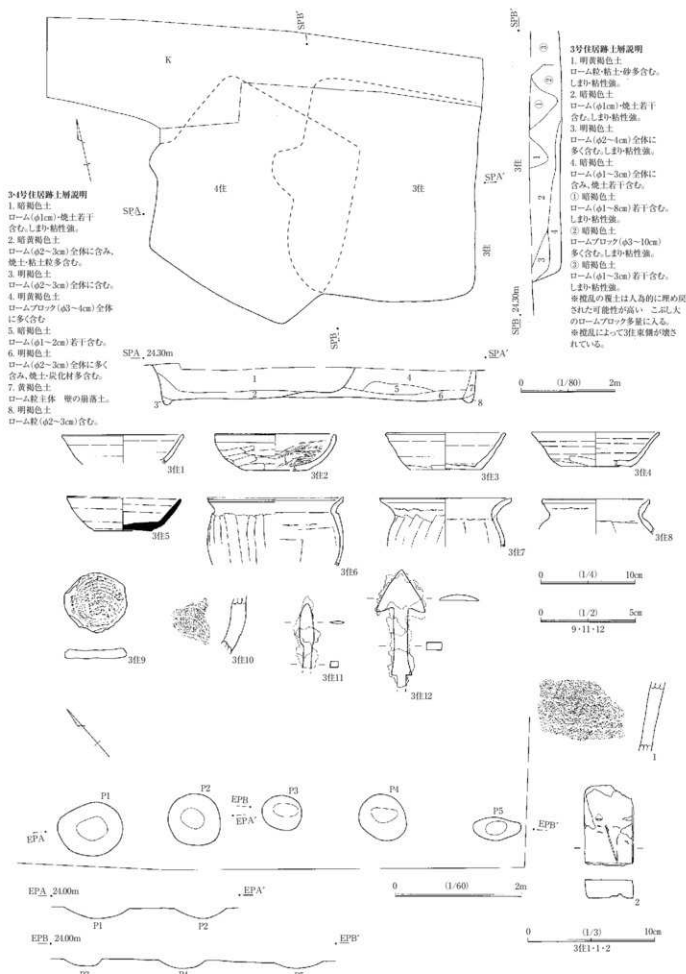
1. 前期色土 ローム殻(φ1~2m)若干含む、焼土全体に多く含む しまり粘性強
2. 中期色土 ローム殻(φ1~2m)全体に多く含む しまり粘性強
3. 期末期色土 ローム殻(φ1m)若干含む しまり粘性強

2号住居跡SPC-SPC'土層説明

1. 前期色土 ローム殻(φ2~3m)全体に若干含む しまりなし
2. 明黄褐色土 ローム殻(φ2~3m)-ロームブロック全体に多く含む しまりなく(トラゴロ)

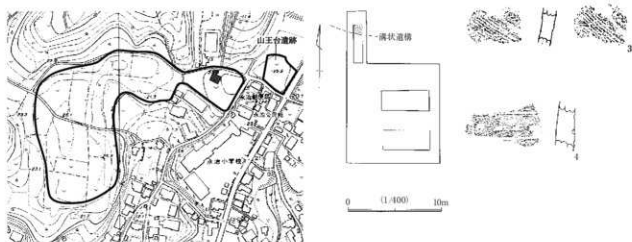


第22図 木戸場遺跡(第2地点)1号住居跡出土遺物(2) 2号住居跡 出土遺物

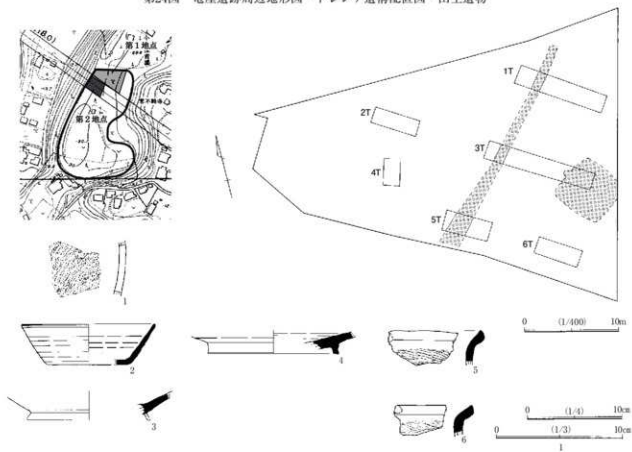


第23図 木戸場遺跡(第2地点)3・4号住居跡出土遺物・ピット群 同出土遺物

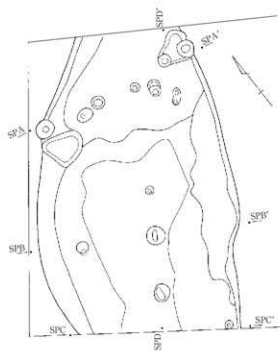
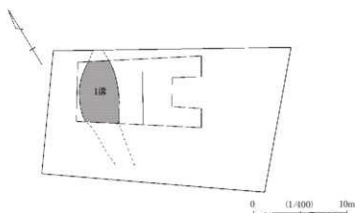




第24図 竜屋遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物



第25図 天神前遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物

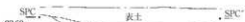


SPA-A' SPB-B' SPC-C' 土層説明

1. 暗褐色土 ローム粒(φ3-5mm)多含む
2. 暗褐色土 ローム粒多含む しまりなし
3. 暗褐色土 ローム粒(φ5-8mm)多含む
4. 暗褐色土 パールロームブロック多含む
5. 暗褐色土 ローム粒(φ5mm)多含む
6. 暗褐色土 ロームブロック多含む
7. 暗褐色土 ローム粒多含む
8. 暗褐色土 ローム粒無多、ロームブロック(φ2-3cm) 褐色土多含む
9. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック多含む
10. 暗褐色土 ローム粒多含む
11. 暗褐色土 ロームブロック多含む
12. 褐色土 ローム粒多含む
13. 褐色土 ロームブロック多含む

SPD-D' 土層説明

1. 褐色土 ローム粒(φ3mm)多含む
2. 褐色土 ローム粒(φ3mm)少含む
3. 暗褐色土 ロームブロック多含む
4. 褐色土 ローム粒少含む
5. 褐色土 ローム粒(φ5-10mm)少含む
6. 不明
7. 暗褐色土 ローム粒多含む
8. 暗褐色土 ローム粒無多、ロームブロック(φ2-3cm) 褐色土多含む
9. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック少含む



第26図 八夜台遺跡(第1・2次)周辺地形図、八夜台遺跡(第1地点)トレンチ遺構配置図・1号溝・出土遺物

#### 9. 馬場遺跡（第6地点）（第15・16・18図、表9、PL2・11）

- (1) **遺跡の立地** 馬場遺跡第4地点・第5地点に隣接している。
- (2) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを12本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) **遺構と遺物** 縄文時代後期堅穴住居跡3軒・土坑8基、中世堅穴状遺構2基・土坑7基・溝状遺構1条が検出され、縄文土器約1,513g・土師器約1,557g・須恵器約184g・陶磁器約304g・在地系土器1,395gが出土した。

#### 10. 八夜台遺跡（第1地点）（第26図、表10、PL2・3・11）

- (1) **遺跡の立地** 利根川と亀成川に挟まれた標高約23mの台地上。八夜台遺跡（第2地点）の北側に位置する。
- (2) **調査の方法** 事業によって影響を及ぼす範囲の表土を重機によって除去し、確認できた遺構を精査した。
- (3) **遺構と遺物** 溝状遺構1条が検出され、調査範囲内から土師器約2,009g・須恵器約311g・縄文土器約239g・中世近世陶磁器約37gが出土した。1号溝状遺構は上幅約4.32m、下幅約1.28m、深さ約0.38mを測る。その時期は不明であるが、出土遺物の傾向から、とりあえず中世以前のものと考えておきたい。土層観察より覆土はレンズ状堆積を示すが、下層に較べると上層には混入物が多く、遺構が機能を失ってからしばらくして、次第に埋め立てられたように思われる。遺構の底部には土坑2基・ピット11基がある程度までまっ平に検出されており、欄列等の可能性もあるが定かではない。

#### 11. 天神前遺跡（第25図、表11、PL3・11）

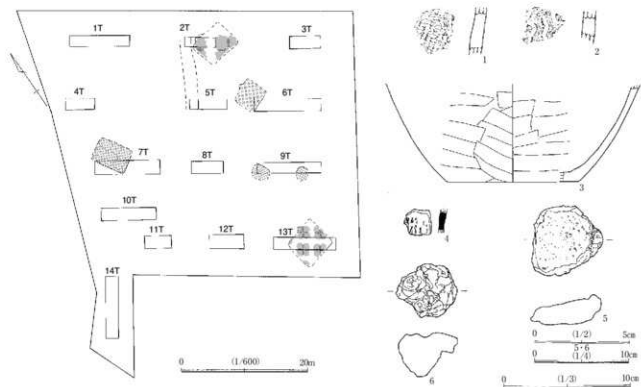
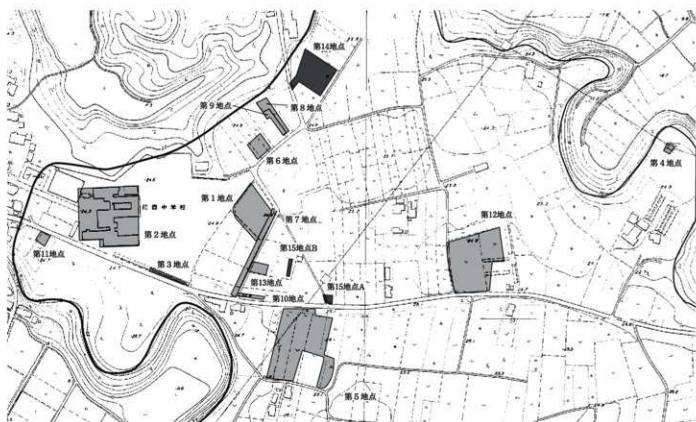
- (1) **遺跡の立地** 北方に利根川を望む樹枝状に間析された標高約29mの台地上。
- (2) **調査履歴** 平成22年に㈱印旛郡市文化財センターによる調査が実施され、既に報告がなされている<sup>10)</sup>。この時には古墳時代住居跡1軒、奈良・平安時代住居跡7軒などが発見された。
- (3) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを6本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (4) **遺構と遺物** 奈良・平安時代堅穴住居跡1軒、中世溝状遺構1条を検出し、縄文土器約31g・土師器約359g・須恵器約294gが出土している。第2地点では出土していない縄文土器の出土が目目される。

注1) 広瀬千絵「千葉県印旛市天神前遺跡」㈱印旛郡市文化財センター 2011年

#### 12. 天神台遺跡（第14地点）（第27図、表12、PL3・11）

- (1) **遺跡の立地** 北に利根川、南に亀成川を望む東西に延びた標高約25mの台地上。
- (2) **調査履歴** 天神台遺跡の調査は、㈱印旛郡市文化財センターによる調査が多数実施されている。昭和60年に実施された学校建設に伴う調査（第1・2・3地点）が、天神台遺跡最初の調査である<sup>11)</sup>。平成元年にも鉄塔建設に伴う調査（第4地点）が実施された<sup>12)</sup>。平成5年と同8年には福祉施設建設に伴う調査（第5地点）が実施されている<sup>13)</sup>。平成10年には道路建設に伴う調査（第7地点）が行われた<sup>14)</sup>。平成12～14年には個人住宅建設に伴う調査（第8・9・11地点）が実施された<sup>15)</sup>。

印旛市教育委員会による調査は、平成5年度<sup>16)</sup>に実施した調査（第6地点）がある。平成13年には駐車場建設に伴う確認調査（58㎡/570㎡）が行われ（第10地点）、古墳時代前期住居跡2軒、奈良・平安時代住居跡4軒・同掘立柱建物跡1棟が検出され、遺構と同時代の土師器・須恵器が出土した。平成14年には社会福祉施設建設に伴う確認調査（550㎡/4,880㎡）が実施された。（第12地点）その結果、弥生時代後期住居跡1軒、古墳時代前期住居跡2軒、古墳時代後期住居跡1軒、奈良・平安時代住居跡1軒が検出され、縄文土器や土



第27図 天神台遺跡(第14・15地点)周辺地形図、天神台遺跡(第14地点)トレンチ遺構配置図・出土遺物

師器・須恵器（古墳時代、奈良・平安時代）が出土した。

天神台遺跡の調査は小規模なものが多いが、縄文時代から奈良・平安時代に至る大規模な遺跡の変遷が確認されている。

- (3) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (4) **遺構と遺物** 古墳時代後期竪穴住居跡4軒・土坑2基、中近世溝状遺構1条が検出され、縄文土器約46g・土師器約681g・須恵器約59gが出土している。

- 注1) 青山博 他『千葉県印旛郡印西市天神台遺跡発掘調査報告書』(財団法人印旛郡市文化財センター 1987年)
- (2) 米田幸雄 他『千葉県印旛郡印西市天神台・ヤジガ遺跡発掘調査報告書』(財団法人印旛郡市文化財センター 1991年)
- (3) 『印西市天神台内遺跡(09-009)』(「財団法人印旛郡市文化財センター年報10-平成5年度-」1994年)、『印西市天神台遺跡(第2次)』(「財団法人印旛郡市文化財センター年報12-平成7年度-」1997年)
- (4) 野村優子『千葉県印西市天神台遺跡』(財団法人印旛郡市文化財センター 2000年)
- (5) 小倉和重 他『平成11年度・平成12年度印西市内遺跡発掘調査報告書』(印西市教育委員会 2001年、佐藤見雅『平成14年度印西市内遺跡発掘調査報告書』(印西市教育委員会 2003年、大澤孝『千葉県印西市天神台遺跡(第11地点)発掘調査報告書』(印西市教育委員会 2004年)
- (6) 飯島伸一『平成15年度印西市内遺跡発掘調査報告書』(印西市教育委員会 2004年)
- (7) 注5) 小倉和重報告書参照

### 13. 松崎V遺跡(第2地点)(第28・29図、表13、PL3・11・12)

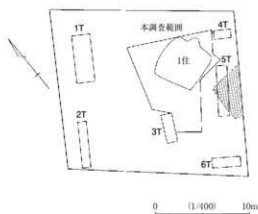
- (1) **遺跡の立地** 新川北岸の標高約25mの台地上。
- (2) **調査履歴** (財)千葉県文化財センターによる調査が平成14～15年にかけて行われた<sup>1)</sup>。この調査対象面積は3,290㎡であり、確認調査のうえ、本調査が上層305㎡・下層120㎡にて実施された。その結果、旧石器時代の石器集中地点1ヶ所、縄文時代早期竪穴跡12基、古墳時代早期・奈良・平安時代住居跡3軒などが発見された。平成17年には印西市教育委員会による調査(第1地点)が実施されている<sup>2)</sup>。
- (3) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。その後必要な範囲を拡張し遺構を精査した。
- (4) **遺構と遺物** 奈良・平安時代竪穴住居跡2軒が検出され、縄文土器約214g・土師器5,365g・須恵器1,794g・支脚約111g・粘土塊約25g・瓦約10gが出土した。検出された2軒の竪穴住居跡の内、1軒のみ精査された。1号住居跡は、長軸約4.85m、短軸約5.08m、深さ約0.38mを測る。カマドは東壁中央にあり、周溝が東壁を除いて廻っている。住居内では柱穴4基、梯子ピット1基が検出された。平面形態から、柱は抜き取られた可能性が高い。覆土は混入物が多く、建物廃棄後、しばらくして埋められたと思われる。1層から完形に近い土器が多く出土している。

注1) 大内千年 他『松崎地区内陸工業用地造成整備事業埋蔵文化財調査報告書5』(千葉県教育振興財団 2006年)

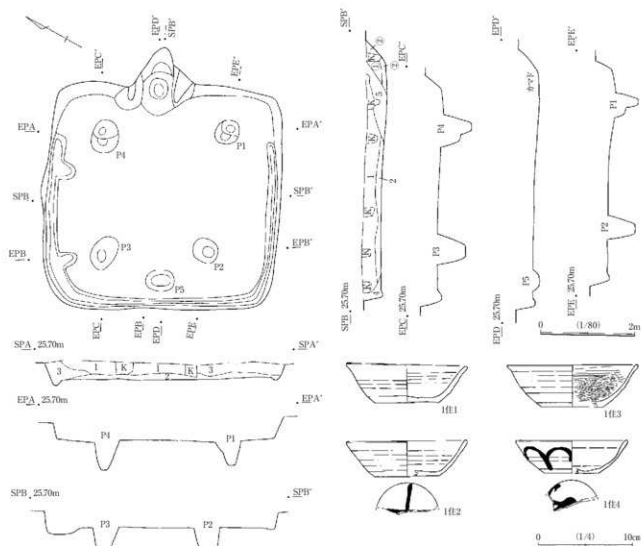
(2) 鈴木圭一『平成17年度印西市内遺跡発掘調査報告書』(印西市教育委員会 2006年)

### 14. 吉高一本松遺跡(第30図、表14、PL3・12)

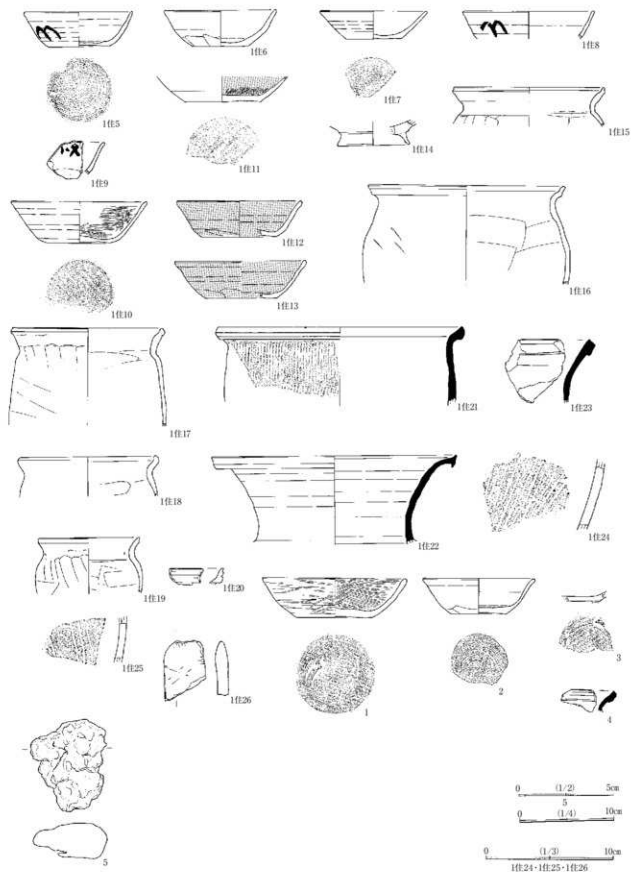
- (1) **遺跡の立地** 松虫川南岸標高約10mの沖積地。
- (2) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを3本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。必要に応じてトレンチは拡張した。



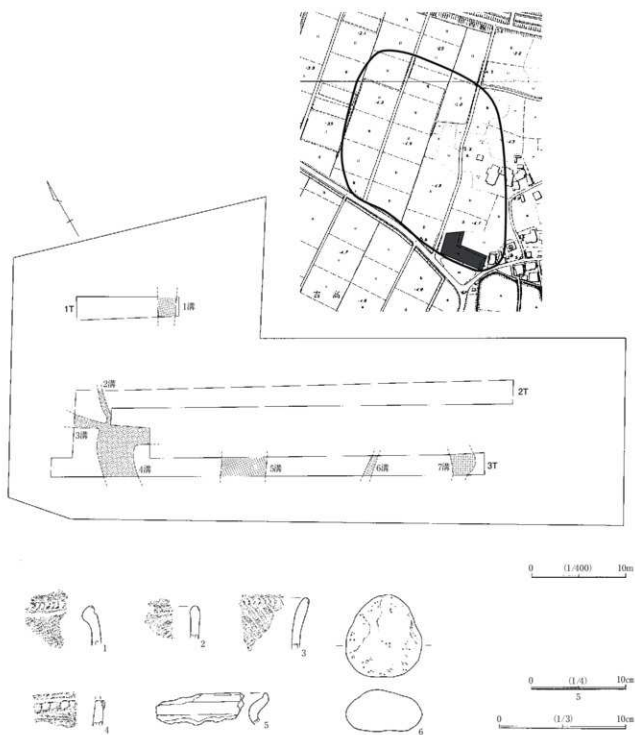
- 1号住居跡上層説明(カマツの覆土①～③)
1. 黒褐色土 ロームブロック(6)1-2cm少、焼土多含む
  2. 暗褐色土 ロームブロック(6)2-3cm多、焼土若干含む
  3. 明褐色土 ローム粒(6)5mm-1cm多含む
  4. 暗黄褐色土 ローム粒(6)1cm多含む
  5. 灰褐色土 ローム粒(6)1cm焼土多含む
  - ①. 明褐色土 焼土・ローム粒・砂多含む
  - ②. 赤褐色土 ローム粒(6)1cm焼土多含む



第28図 松崎V遺跡(第2地点)周辺地形図・1号住居跡 同出土遺物



第29図 松崎V遺跡跡(第2地点)1号住居跡出土遺物2)

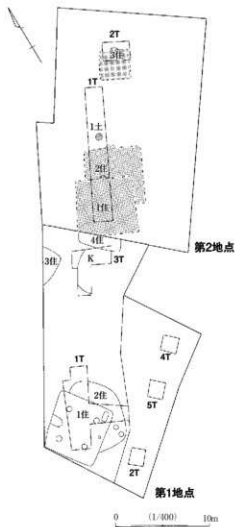


第30図 吉高一本松遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物





第31図 中郷遺跡（第1・2地点）周辺地形図、  
中郷遺跡（第1地点）トレンチ遺構配置図



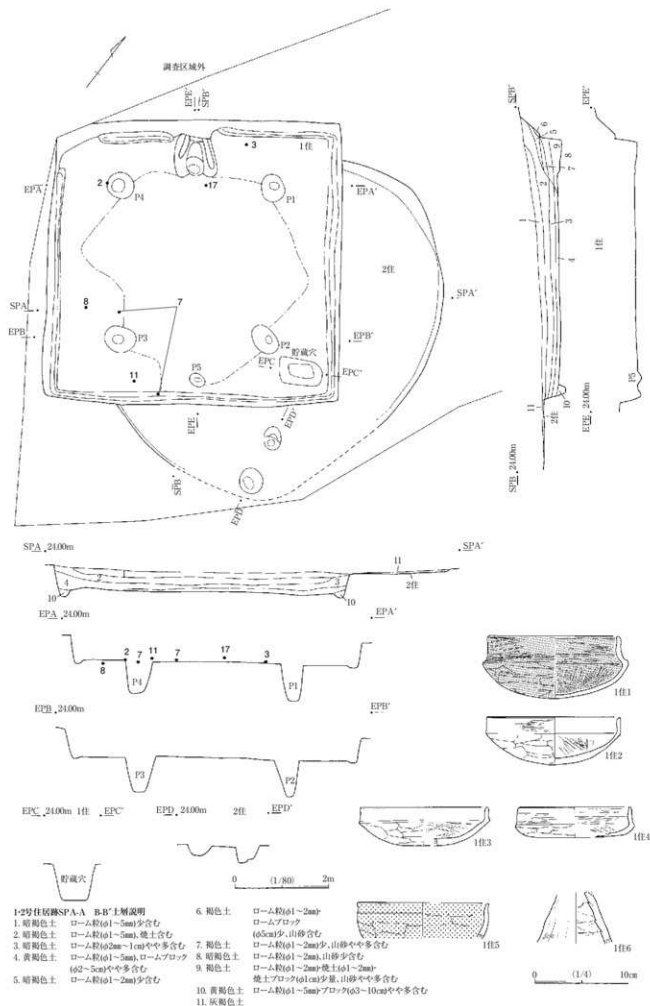
- (3) 遺構と遺物 近世以降の溝状遺構が7条検出され、縄文土器約45g・土師器約217gと軽石が出土した。

#### 15. 中郷遺跡（第31～35図、表15、PL.3・13・14）

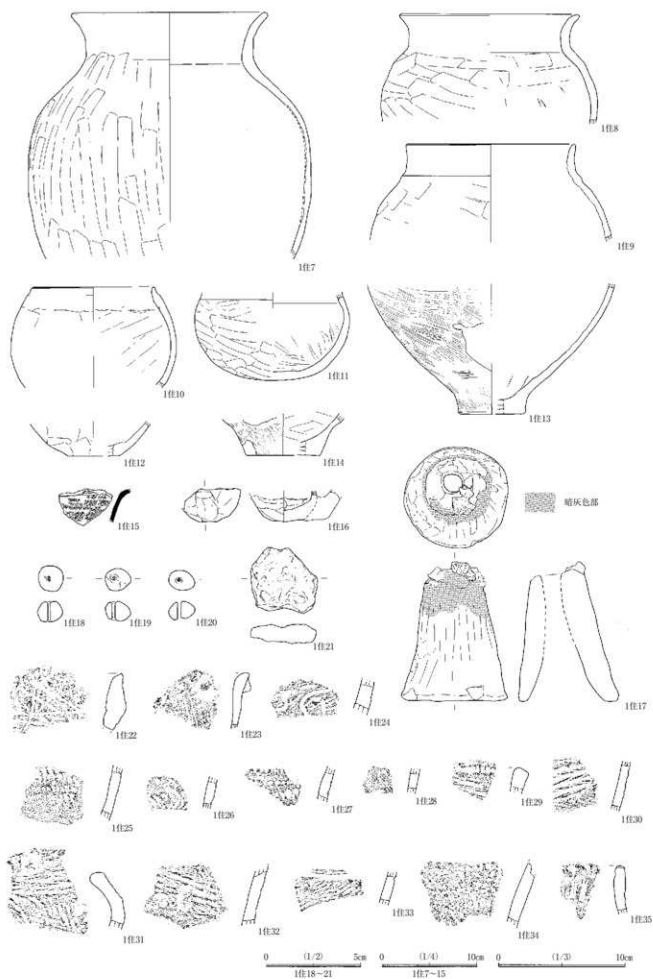
- (1) 遺跡の立地 新川北岸の標高約25mの台地上。中郷遺跡第2地点の南側。
- (2) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。その後、遺構を検出された範囲を拡張し、遺構を精査した。
- (3) 遺構と遺物 縄文時代前期堅穴住居跡1軒、弥生時代中期堅穴住居跡1軒、古墳時代後期住居跡2軒が検出された。

1号住居跡は、長軸約6.3m、短軸約5.8m、深さ最大約0.85mを測る。2号住居を切っている。北壁中央にカマドを持ち、周溝は北西コーナーを除き廻っている。建物内には、柱穴4基、梯子ピット1基、南西コーナーに貯蔵穴1基が配置されている。住居中央には硬化面が広がる。住居壁際には焼土塊が多く見られる。覆土はレンズ状堆積をしており、自然堆積の可能性が高い。6世紀末から7世紀初頭の築造と考えられる。出土遺物は、土師器約12,421g・須恵器約12g・縄文土器約1,015g・粘土塊約15gである。羽口・ミニチュア土器が出土している。

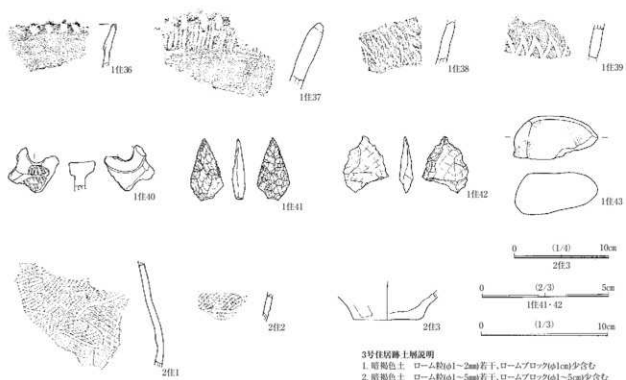
2号住居跡は、遺構の残存状況が良好ではなく、1号住居跡に切られていることもあって、その全容はわ



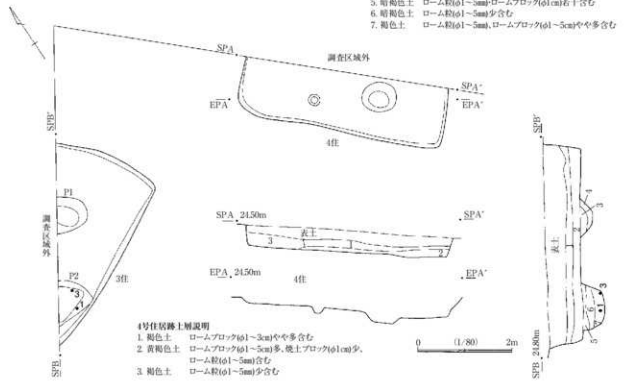
第32図 中郷遺跡(第1地点) 1・2号住居跡図・1号住居跡出土遺物(1)



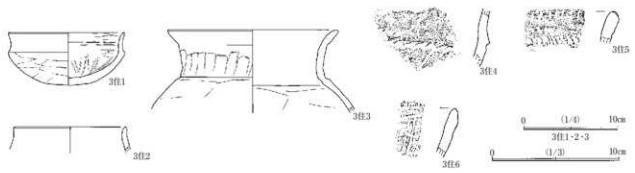
第33图 中郎遗址(第1地点)1号住居跡出土遺物(1)



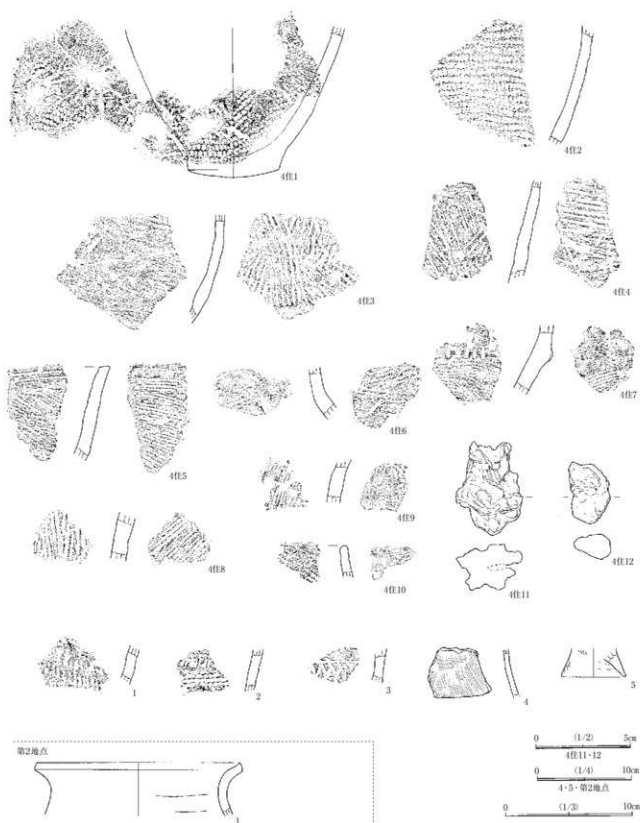
- 3号住居跡上層説明
1. 暗褐色土 ローム粒(φ)~2mm若干, ロームブロック(φ)1cm少含む
  2. 暗褐色土 ローム粒(φ)~5mm若干, ロームブロック(φ)1~5cm少含む
  3. 褐色土 ローム粒(φ)~5mm, ロームブロック(φ)3~5cm若干含む
  4. 黄褐色土 ロームブロック(φ)3~5cm少含む
  5. 暗褐色土 ローム粒(φ)~5mm, ロームブロック(φ)1cm若干含む
  6. 暗褐色土 ローム粒(φ)~5mm少含む
  7. 褐色土 ローム粒(φ)~5mm, ロームブロック(φ)1~5cmやや多含む



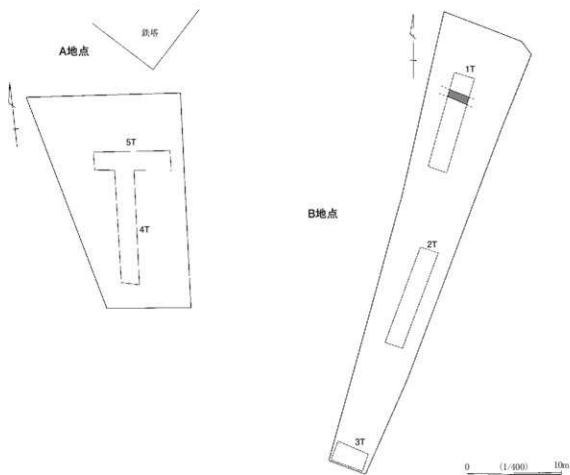
- 4号住居跡上層説明
1. 褐色土 ロームブロック(φ)1~3cmやや多含む
  2. 黄褐色土 ロームブロック(φ)1~5cm多, 焼土ブロック(φ)1cm少, ローム粒(φ)1~5mm含む
  3. 褐色土 ローム粒(φ)~5mm少含む



第34図 中郷遺跡(第1地点) 1・2号住居跡出土遺物(2)、3・4号住居跡 同出土遺物



第35图 中郷遺跡（第1・2地点）4号住居跡他出土遺物



第36図 天神台遺跡（第15地点）トレンチ遺構配置図

からない。楕円形を呈すると見られ、長軸約7.7m、深さ約40cmを測る。ピットは2基確認された。覆土は柴み状に残るだけである。出土遺物は、縄文・弥生土器約173g・土器約143g・陶磁器約10gであった。弥生時代中期後半に帰属すると考えられる。

3号住居跡は、その西部が調査区域外であり、北東コーナー付近だけ調査された。長軸約3.8m以上、短軸約2.25m以上、深さ約0.75mを測る。住居内ではピット2基が発見されたが、それぞれ一部が調査区域外に出ている。調査担当者はP1を柱穴、P2を貯蔵穴と推定している。覆土はレンズ状堆積をしており、自然堆積したと思われる。出土遺物は土器約784g・縄文土器約92gであった。古墳時代後期に帰属すると判断される。

4号住居跡は、その北部分が調査区域外であり、南側部分のみ調査された。長軸約4.4m、短軸約1.34m以上、深さ約0.45mを測る。西側の壁面の残存状況が悪い。建物内ではピット2基が検出されたが、その性格等は不明である。覆土には混入物が多く、人為的に埋め戻された可能性がある。出土遺物は縄文土器約850g・土器約44g・陶磁器約310gである。時期は縄文時代前期と考えられる。

なお遺構外の遺物は、縄文・弥生土器約510g・土器約460g・陶磁器約5g・瓦約25gであった。

## 16. 天神台遺跡（第15地点）（第36図、PL4）

(1) 遺跡の立地 亀成川北岸標高約25mの台地上。

- (2) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) **遺構と遺物** 近世溝状遺構1条を検出した。出土した遺物はなかった。

#### 17. 道作1号墳（周溝確認調査第2次）（第37・38図、表16、PL.4・14）

- (1) **遺跡の立地** 利根川南岸の標高約30mの台地上。
- (2) **調査履歴** 道作古墳群は、平成9年には円墳9基、前方後方墳5基、方墳1基とされ、平成10年の印西市教育委員会の調査では、円墳13基、前方後方墳7基とされる<sup>1)</sup>。

道作1号墳は、前方後円墳で、墳長46m、前方部最大幅推定33m、後円部直径25m、墳丘高4mを測る。平成9年に印西市教育委員会による調査（道作1号墳周溝確認調査第1次<sup>2)</sup>によって、後円部主体部の位置と北東から北西部の周溝範囲を確認した。さらに平成17年（道作古墳群第1次<sup>3)</sup>と同20・21年（道作古墳群第2次<sup>4)</sup>）に行われた財団法人印旛郡都市文化財センターの調査でも南東部の周溝の一部と共にソフトロームの削平状況が確認され、関係遺物が出土している。

- (3) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (4) **遺構と遺物** 古墳周溝1条と中近世溝状遺構2条が検出され、旧石器時代ナイフ形石器1点と縄文土器約19g・土師器約63g・須恵器約16gが出土した。検出状況から、周溝は盾形を呈すると考えられる。

注1) 飯島伸一・鈴木圭一「道作1号墳の調査について」（『印西の歴史』創刊号 1997年）

(2) 注1) 参照

(3) 宇井義典『千葉県印西市道作古墳群』（財）印旛郡都市文化財センター 2007年

(4) 喜多裕明『千葉県印西市道作1号墳（第2次）馬場遺跡第5地点（第1次・第2次）』印西市道00-031号線道作古墳群・馬場遺跡埋蔵文化財調査・』（財）印旛郡都市文化財センター 2011年

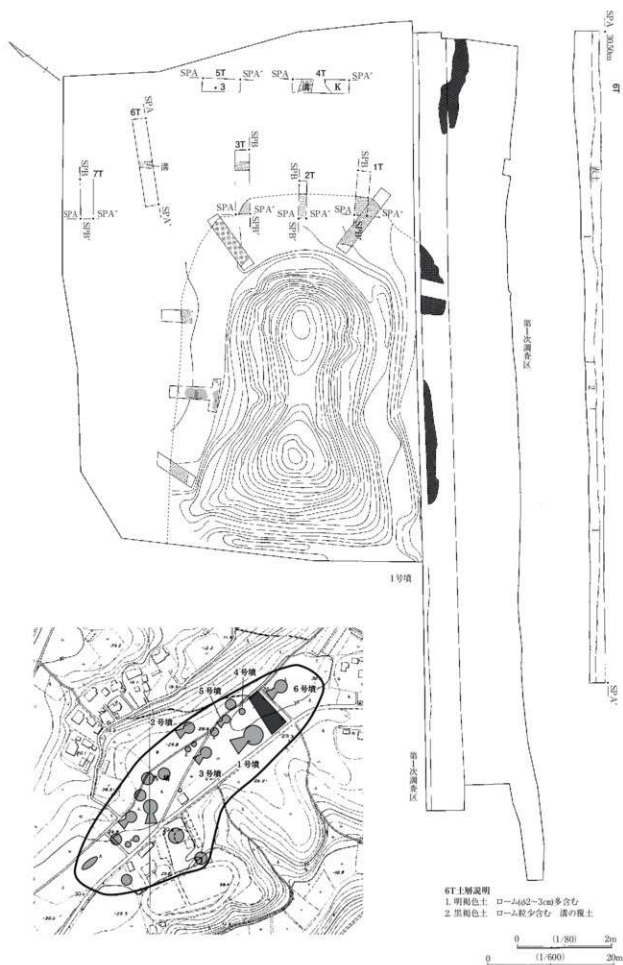
#### 18. 八夜台遺跡（第2地点）（第26・39・40図、表17、PL.4・14）

- (1) **遺跡の立地** 利根川と亀成川に挟まれた標高約24mの台地上。八夜台遺跡（第1地点）の南側に位置する。
- (2) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチ3本を設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。その後、遺構を検出した部分を拡張し、遺構を精査した。
- (3) **遺構と遺物** 平安時代竪穴住居跡1軒・土坑1基が検出された。1号住居跡は、長軸約4m、短軸約3.3m、深さ約0.42mを測る。カマドは北壁中央にある。周溝は北東コーナーを除いて廻っている。ピットは3基見つかっている。覆土の状況から、時間をかけて人為的に埋没させられたように考えられる。出土した遺物は、土師器約6,973g・須恵器約356g・瓦約1,250g・粘土塊約5g・縄文土器約187g・陶磁器約2gである。9世紀代に帰属すると考えられる。

1号土坑は、出土遺物もなく、その性格等は不明である。覆土から短期間に埋立たてられたように思われる。ここでは、住居跡と同時期のものと考えておきたい。遺構外から出土した遺物は、縄文土器約23g・土師器約396g・須恵器約48g・陶磁器約50gである。

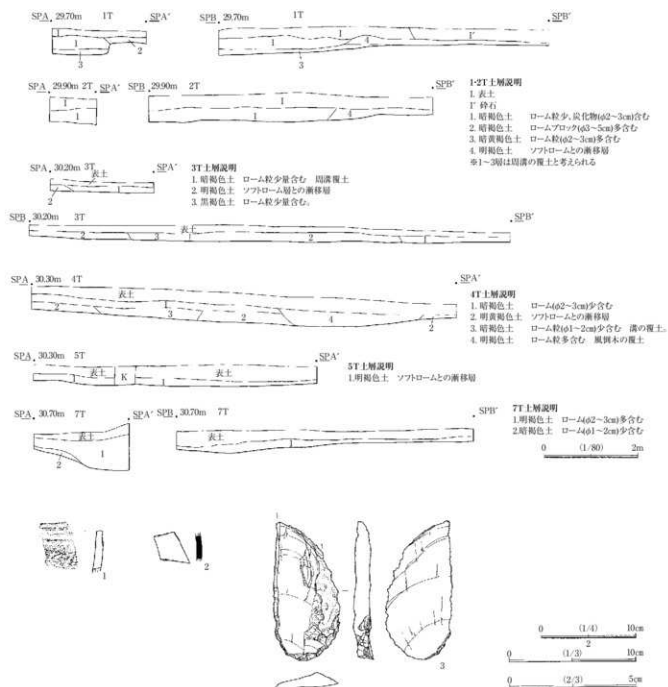
#### 19. 向新田遺跡（第3地点）（第41・42図、表18、PL.4・5・15）

- (1) **遺跡の立地** 神崎川とその支流によって開析された標高約25mの舌状台地の基部。
- (2) **調査履歴** これまでに多数実施されている調査例は、既報告書によって整理されている<sup>1)</sup>。

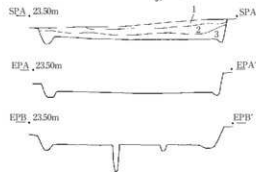
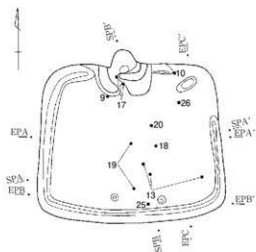
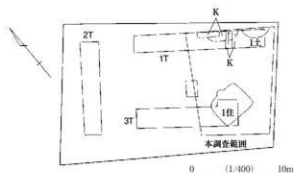


第37図 道作1号墳(周溝確認調査第2次)周辺地形図・トレンチ遺構配置図

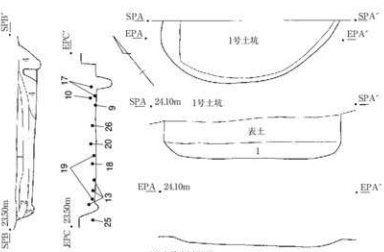
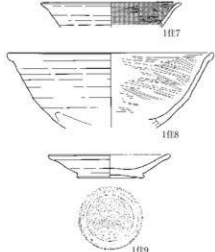




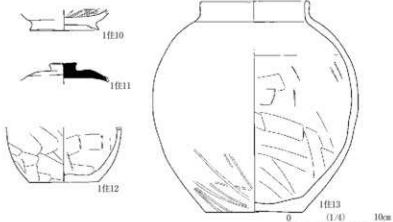
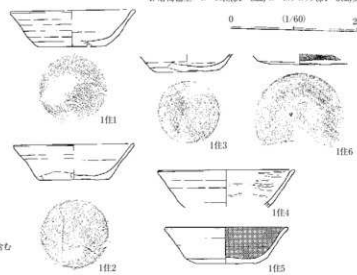
第38図 遺作1号墳(周溝確認調査第2次)土層断面図・出土遺物



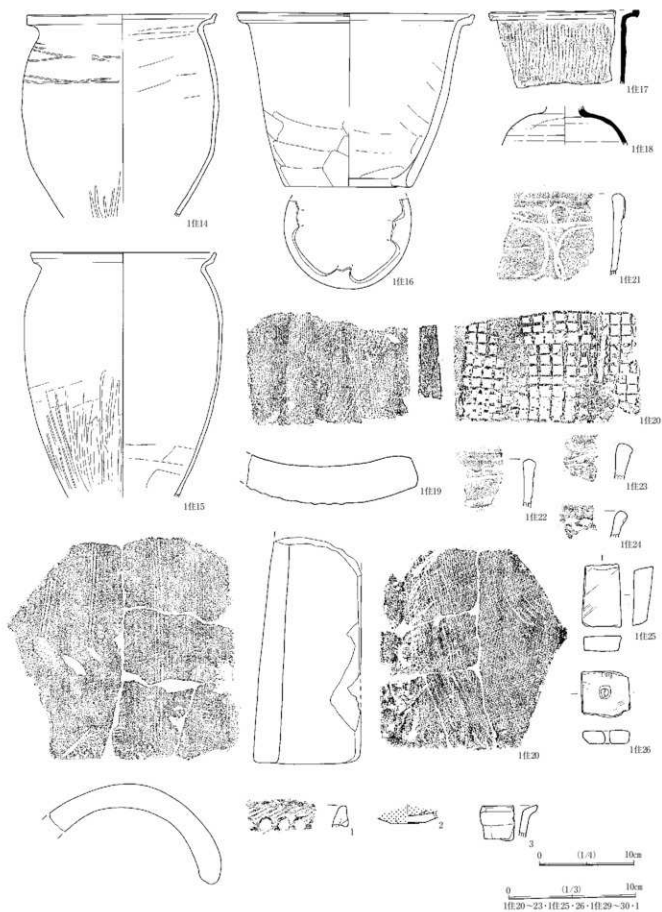
- 1号住居跡上層説明
1. 暗褐色土 ローム殻(δ1~2cm)若干、焼土ブロック(δ1~2cm)炭化ブロック(δ3cm)少々
  2. 暗褐色土 ローム殻(δ1~5mm)やや多、焼土ブロック(δ1cm)散、ロームブロック(δ1~2cm)含む
  3. 褐色土 ローム殻(δ1~5mm)、ロームブロック(δ1~10cm)多含む
  4. 灰褐色土 山砂類多、焼土ブロック(δ1~5mm)炭化ブロック(δ1~3cm)含む



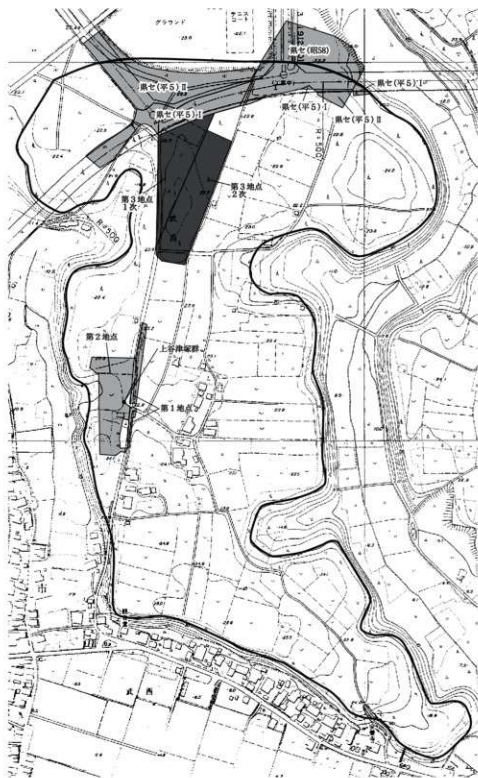
- 19号土坑上層説明
1. 暗褐色土 ローム殻(δ1~5mm)ロームブロック(δ1~3cm)多含む



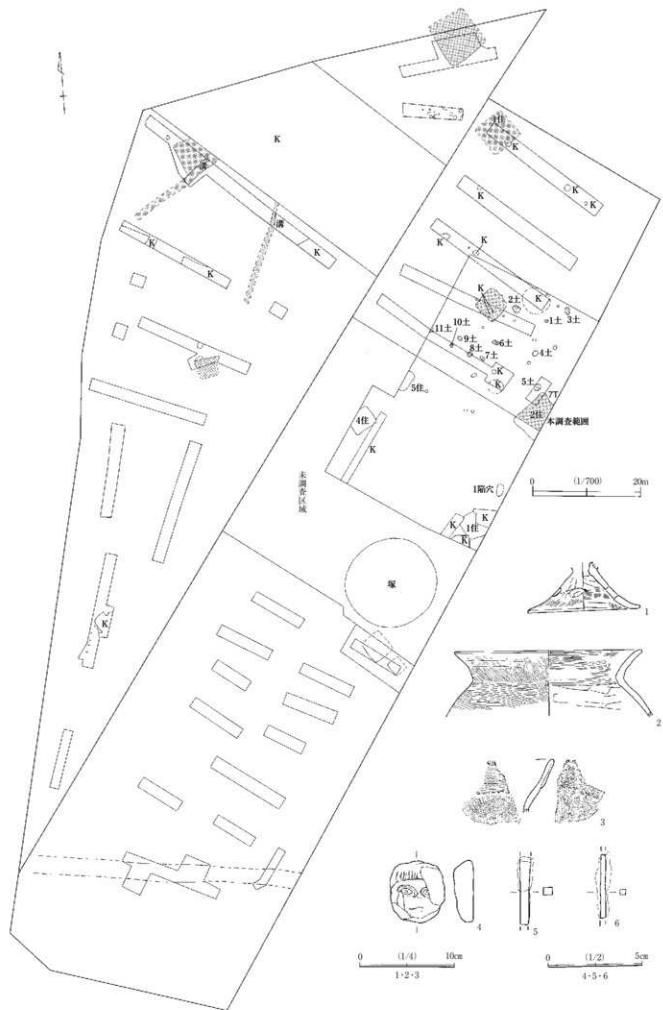
第39図 八夜台遺跡(第2地点)トレンジ遺構配置図・出土遺物1)



第40图 八夜台遺跡（第2地点）出土遺物2)



第41図 向新田遺跡(第3地点)周辺地形図



第42図 向新田遺跡(第3地点)トレンチ構配置図・出土遺物

- (3) **調査方法** 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (4) **遺構と遺物** 縄文時代中期堅穴住居跡2軒、古墳時代前期住居跡7軒・土坑7基、近世溝状遺構2条を検出し、土師器約504g・須恵器約3g・陶磁器約29g出土した。なお、この確認調査の結果を基にして、一部は本調査が実施されている<sup>12)</sup>。

注1) 米倉貴之「千葉県印西市向新田遺跡第3地点-ハートヴィレツァ建設に伴う埋蔵文化財調査-」(財団法人印西市文化財センター 2011年)。ただ、1997年に実施された上谷塚塚群の調査は、小倉和重・野村優子「印西市内遺跡発掘調査報告書 上谷塚塚群」(印西市教育委員会 1998年)に報告がなされている。

(2) 注1) 米倉報告。

## 20. 向ノ地遺跡 (第43図)

- (1) **遺跡の立地** 神崎川および新川北岸の標高約25mの台地上。平成10年度印西市調査区の北隣。
- (2) **調査履歴** 平成4・5年に財団法人印西市文化財センターによる発掘調査が実施されている<sup>13)</sup>。平成11年には印西市教育委員会による調査も行われた<sup>14)</sup>。

- (3) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (4) **遺構と遺物** 遺構・遺物は検出されなかった。

注1) 「印西町向ノ地遺跡 (09-008)」(財団法人印西市文化財センター年報9-平成4年度-) 1993年、「印西町向ノ地遺跡 (09-008) 第2次調査」(財団法人印西市文化財センター年報10-平成5年度-) 1994年

(2) 野村優子「平成10年度印西市内遺跡発掘調査報告書 大久保遺跡 向ノ地遺跡」1999年

## 21. 中郷遺跡 (第2地点) (第31・35図、表19、PL5・14)

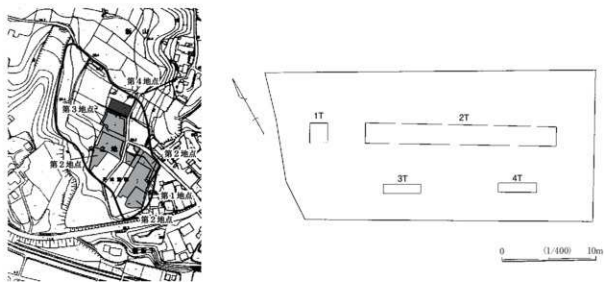
- (1) **遺跡の立地** 新川北岸の標高約25mの台地上。中郷遺跡 (第1地点) の北隣。
- (2) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) **遺構と遺物** 古墳時代後期堅穴住居跡3棟・土坑1基が検出され、縄文土器約15g・土師器約325g・須恵器約19gが出土した。

## 22. 馬場遺跡 (第7地点) (第44-47図、表20、PL5・15-17)

- (1) **遺跡の立地** 新川北岸の標高約30mの台地上。
- (2) **調査の方法** 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) **遺構と遺物** 古墳時代後期堅穴住居跡3軒、奈良・平安時代堅穴住居跡2軒・土坑3基が検出され、古墳時代後期土師器・須恵器・土製品、奈良・平安時代土師器・須恵器・土製品が出土した。

1号住居跡は、住居跡の北西部約1/2程度が調査された。長軸約5.3m、短軸3.2m以上、深さ約0.65mであり、カマドは北壁中央にあったと思われ、柱穴は2ヶ所検出された。周溝は廻っていない。覆土はローム粒・ロームブロックを多量に含み、短期間に埋められたように思われる。出土遺物は、土師器約6,291g・須恵器約15g・縄文土器約30gである。

2号住居跡は、長軸約3.2m、短軸約2.8m、深さ約0.48mを測る。4号住居跡とも重複しているが、切合関係ははっきりしない。カマドは北壁中央にあったと思われるが、破壊され袖等は残っていない。周溝は北東コーナー付近のみ検出された。柱穴はなく、梯子ピットが1基検出された。覆土は、下層を中心に混入物が多く見られ、埋め戻しの様子が覗える。出土遺物は、土師器約7,032g・須恵器約1,473g・支脚約395g・



第43図 向ノ地遺跡周辺地形図・トレンチ配置図

粘土塊約36gである。

3号住居跡は、南東部分約1/2程度が調査された。長軸約7.9m以上、短軸約4.95m以上、深さ約0.36mを測る。柱穴は2ヶ所確認され、各々抜き取り痕がある。東壁脇中央付近に貯蔵穴と思われる土坑がある。覆土は、南部城が短期間に埋め戻された状態であり、北側は少しずつ埋められたものであろうか。土師器約3.087g・須恵器約317gが出土している。

4号住居跡は、長軸約4.65m以上、短軸約2.5m以上、深さ約0.38m。北西壁付近に焼土が堆積しており、カマドの存在が予想される。周溝は検出されなかった。ピットは1ヶ所検出された。覆土は自然堆積の様相である。出土遺物は、土師器約1,706g・須恵器約1,530g・縄文土器約32gであった。

5号住居跡は、トレンチ部分のみ調査を実施している。そのため、周溝と壁面の一部しか確認出来ず、全体の規模等は不明である。覆土は、レンズ状の堆積をしており自然埋没したことが窺える。出土遺物は、土師器約149g・須恵器約520g・縄文土器約59gであった。

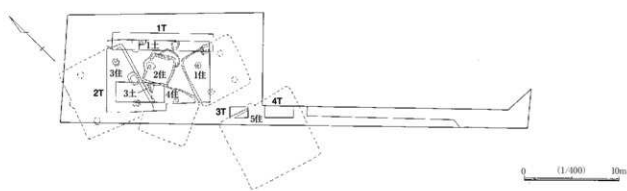
土坑は3基検出された。その性格は不明である。遺構外から出土した遺物は、土師器約1,985g・須恵器約147g・縄文土器約43g・瓦約35gである。

### 23. 木戸場遺跡（第3地点）（第48図、表21、PL6・17）

- (1) 遺跡の立地 新川北部の樹枝状に侵食を受けた手賀沼南岸の標高約30mの台地上。木戸場遺跡（第2地点）の東隣となる。
- (2) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) 遺構と遺物 奈良・平安時代堅穴住居跡1軒、近世土坑1基が検出され、奈良・平安時代土師器約28gが出土した。

### 24. 瓜堀込第2遺跡（第49図、PL6）

- (1) 遺跡の立地 西印旛沼北岸の標高約28mの台地上。

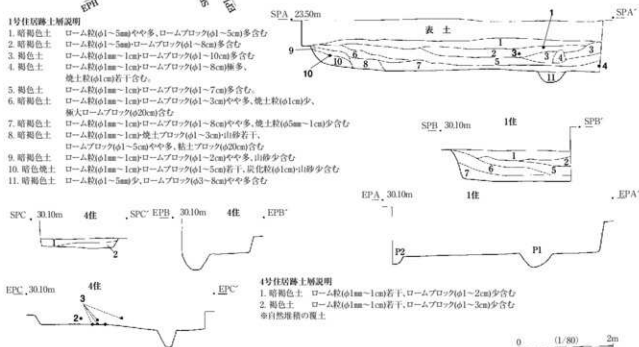


1号住居跡土層説明

1. 暗褐色土 ローム殻(φ1~5cm)やや多、ロームブロック(φ1~5cm)多含む
2. 暗褐色土 ローム殻(φ1~5cm)ロームブロック(φ1~8cm)多含む
3. 褐色土 ローム殻(φ1mm~1cm)ロームブロック(φ1~10cm)多含む
4. 褐色土 ローム殻(φ1mm~1cm)ロームブロック(φ1~8cm)多、  
焼土殻(φ1cm)若干含む。
5. 褐色土 ローム殻(φ1mm~1cm)ロームブロック(φ1~7cm)多含む、  
ローム殻(φ1mm~1cm)ロームブロック(φ1~3cm)やや多、焼土殻(φ1cm)少、  
麻入ロームブロック(φ20cm)含む
6. 暗褐色土 ローム殻(φ1mm~1cm)ロームブロック(φ1~8cm)やや多、焼土殻(φ5mm~1cm)少含む
7. 暗褐色土 ローム殻(φ1mm~1cm)焼土ブロック(φ1~3cm)山砂若干、  
ロームブロック(φ1~5cm)やや多、焼土ブロック(φ20cm)含む
8. 暗褐色土 ローム殻(φ1mm~1cm)ロームブロック(φ1~2cm)やや多、山砂少含む
9. 暗褐色土 ローム殻(φ1mm~1cm)ロームブロック(φ1~5cm)若干、炭化殻(φ1cm)山砂少含む
10. 暗褐色土 ローム殻(φ1~5mm)少、ロームブロック(φ3~8cm)やや多含む
11. 暗褐色土

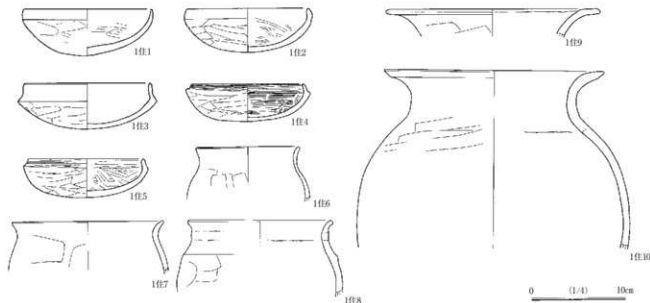
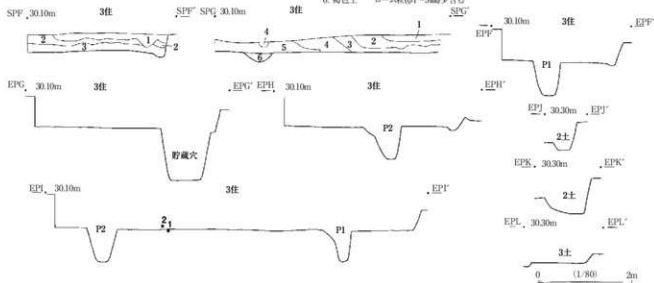
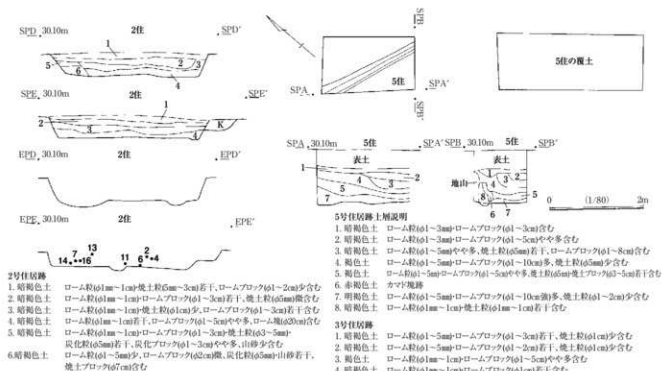
4号住居跡土層説明

1. 暗褐色土 ローム殻(φ1mm~1cm)若干、ロームブロック(φ1~2cm)少含む
  2. 褐色土 ローム殻(φ1mm~1cm)若干、ロームブロック(φ1~3cm)少含む
- ※自然堆積の腐土

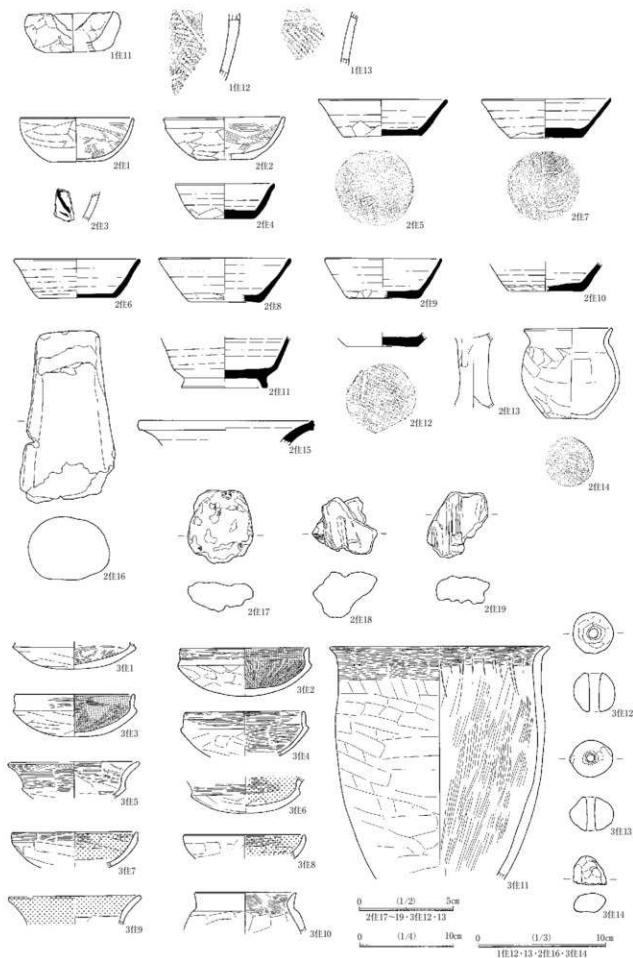


第44図 馬場遺跡 (第7地点) トレンチ遺構配置図・遺構平面図

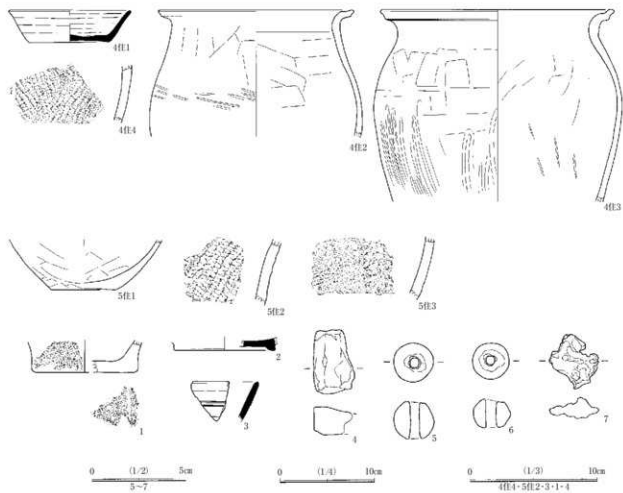




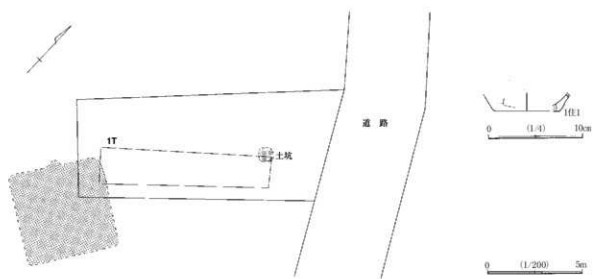
第45図 馬場遺跡(第7地点)遺構図・出土遺物(1)



第46図 馬場遺跡（第7地点）出土遺物(2)



第47図 馬場遺跡 (第7地点) 出土遺物(3)



第48図 木戸場遺跡 (第3地点) トレンチ遺構配置図・出土遺物

- (2) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) 遺構と遺物 古墳時代後期堅穴住居跡6軒と近世溝状遺構1条が検出された。出土した遺物はなかった。

## 25. 花作遺跡 (第50図、表22、PL7・17)

- (1) 遺跡の立地 将監川南岸の標高約32mの台地上。
- (2) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを10本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) 遺構と遺物 古墳時代堅穴住居跡1軒、奈良・平安時代堅穴住居跡8軒が検出され、土師器約3,593g・須恵器約240g・陶磁器約19gが出土した。

## 26. 川崎遺跡 (第51図、表23、PL7・17)

- (1) 遺跡の立地 利根川の1.3km南にある標高約28mの台地上。川崎遺跡第2地点の東側。
- (2) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを6本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) 遺構と遺物 古墳時代堅穴住居跡9軒・土坑3基が検出され、土師器約1,807g・須恵器約1,901g・縄文土器約11g・陶磁器約191gが出土した。

## 27. 大越台遺跡 (第2地点) (第52～58図、表24、PL7・8・17～19)

- (1) 遺跡の立地 手賀沼を望む標高約20mの樹枝状台地上。
- (2) 調査履歴 平成17年に印西市教育委員会が発掘調査を行っている<sup>1)</sup>。
- (3) 調査の方法 地形に沿ってトレンチ19本を設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (4) 遺構と遺物 縄文時代堅穴住居跡4軒・堅穴状遺構1基・土坑2基、古墳時代堅穴住居跡1軒が検出され、縄文土器約26,094g・土師器約845gが出土した。

注1) 鈴木圭一「平成17年度印西市内遺跡発掘調査報告書」印西市教育委員会 2006年

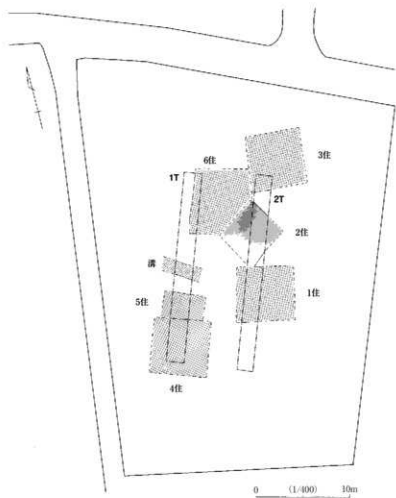
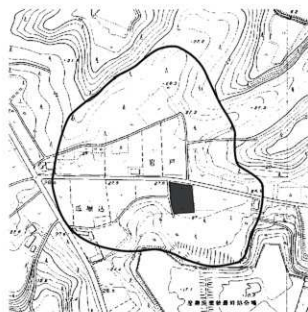
## 28. 川崎遺跡 (第2地点) (第51・59図、表25、PL8・17)

- (1) 遺跡の立地 利根川の1.3km南にある標高約28mの台地上。川崎遺跡(第1地点)の西側。
- (2) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを18本設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (3) 遺構と遺物 古墳時代堅穴住居跡12軒・土坑3基が検出され、縄文土器約44g・土師器約697g・須恵器約9gが出土した。

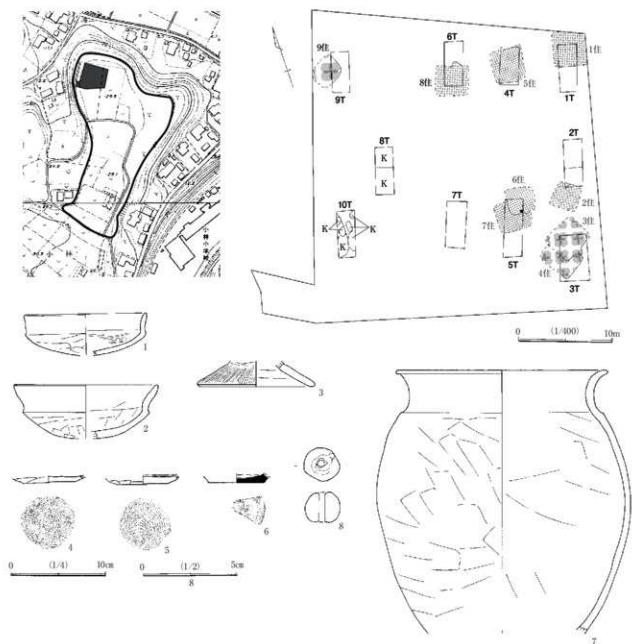
## 29. 油免遺跡 (第4地点) (第60図、表26、PL8・19・20)

- (1) 遺跡の立地 新川北岸の樹枝状に開析された標高約23mの台地上。
- (2) 調査履歴 平成8年には財印麻郡市文化財センターによる発掘調査が実施されている<sup>1)</sup>。平成13年には印西市教育委員会による確認調査が実施され、その結果を受けて翌年に財印麻郡市文化財センターによる本調査が実施された<sup>2)</sup>。平成17年には印西市教育委員会が確認調査を行っている<sup>3)</sup>。これらの調査によって、縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代、中世といった各時期の遺構遺物が見つかっている。
- (3) 調査の方法 地形に沿ってトレンチを設定し、重機によって表土を除去し、遺構を確認した。
- (4) 遺構と遺物 近世の溝状遺構2条・土坑1基・ピット6基が検出された。

遺構外出土遺物は、土師器片約32g・縄文土器約203g・近世以降に産出する土器約2,131gである。近世以降



第49図 瓜堀込第2遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図

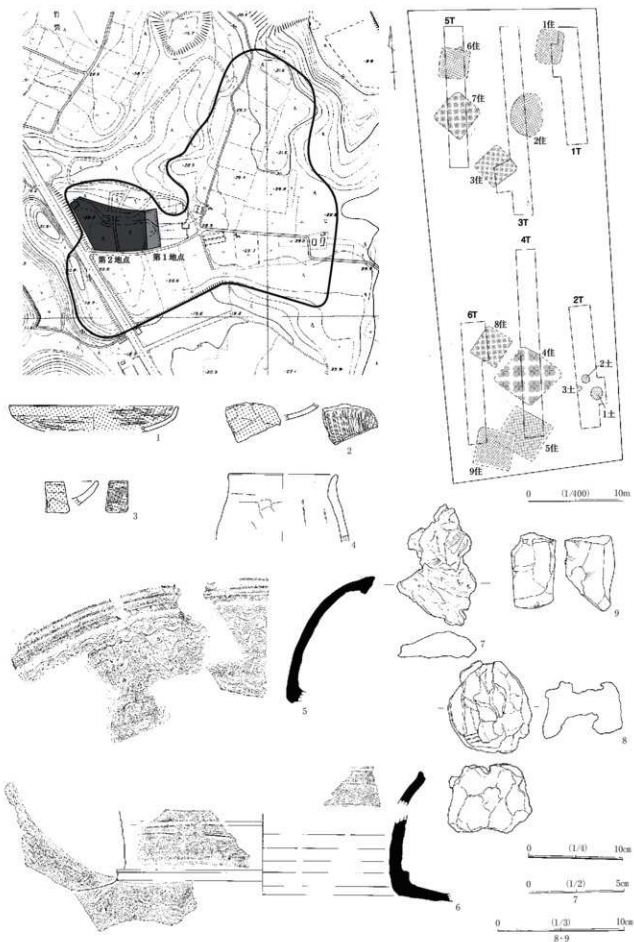


第50図 花作遺跡周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物

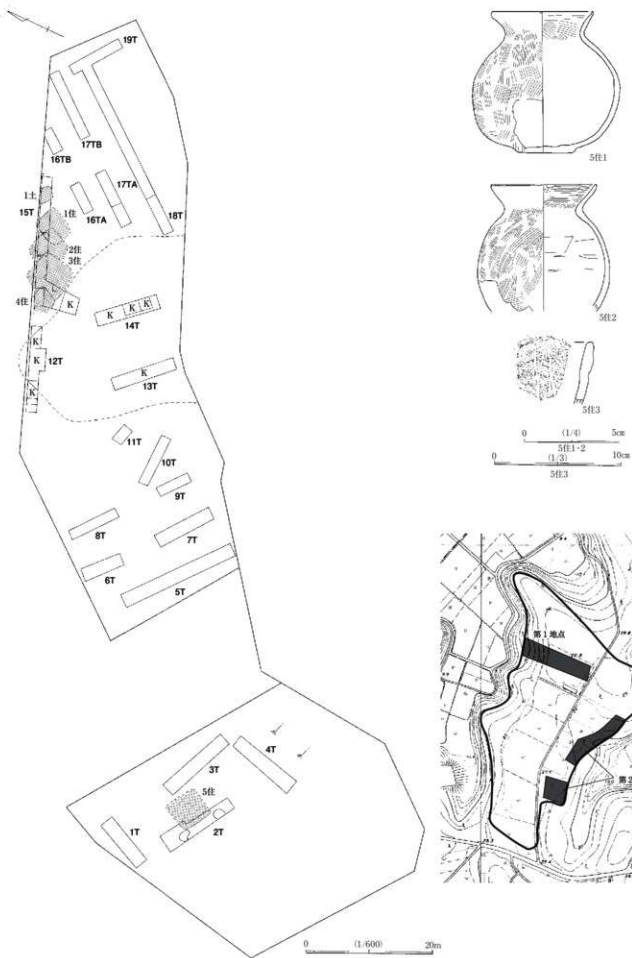
在地産土器のほとんどは、楕円鉢と思われる。外面が黒色のものと橙色のものに分けられ、そのなかで数種類の大きさに分けられるようである。

注1) 「印西市油免遺跡 (09-019)」(財団法人印旛郡市文化財センター年報13・平成8年度・) 1998年)、(2) 阿部有花「千葉県印西市油免遺跡(第2地点)」(財)印旛郡市文化財センター 2004年。ただし、印西市教育委員会による確認調査の内容は未報告である。注2) 報告によってトレンチ配置は、判明するが、その詳細な成果は不明。

(3) 鈴木圭一「平成17年度印西市内遺跡発掘調査報告書」印西市教育委員会 2006年

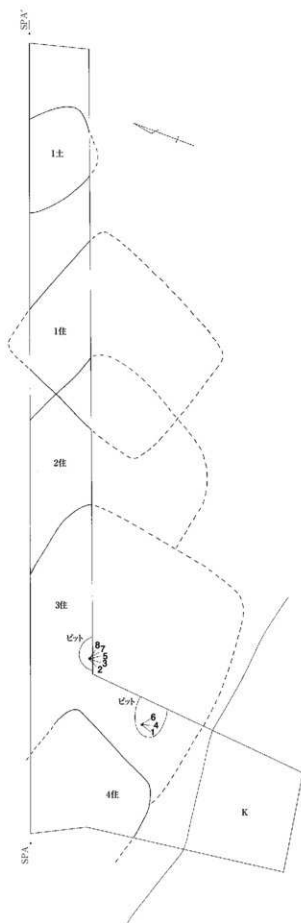


第51図 川崎遺跡(第1・2地点)周辺地形図、川崎遺跡(第1地点)トレンチ遺構配置図・出土遺物



第52図 大総台遺跡(第2地点)周辺地形図・トレンチ遺構配置図 出土遺物(1)





15T 土層説明

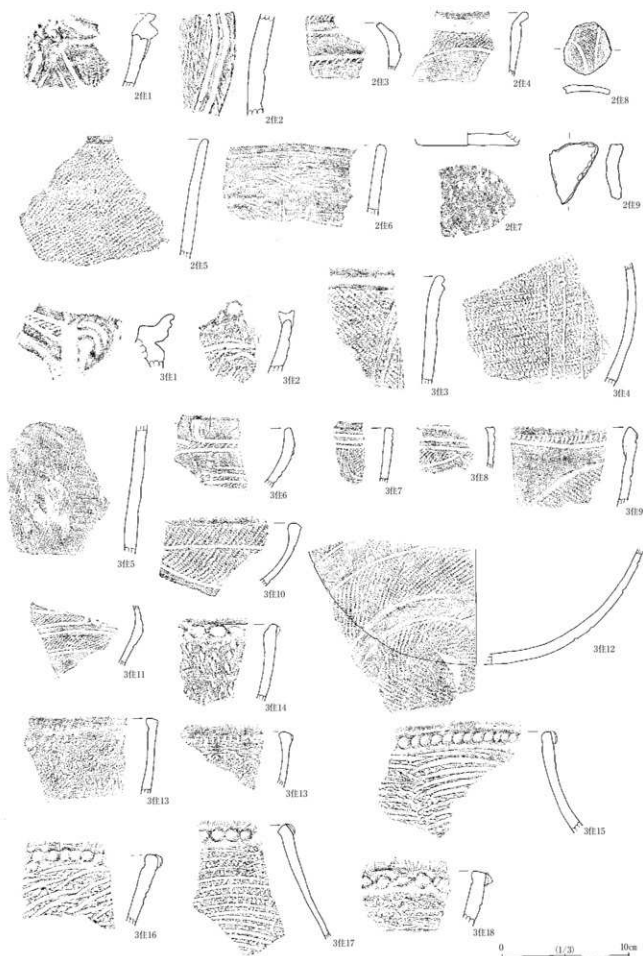
1. 褐色土  
ローム粒・焼土・炭化物少含む。  
しまり強、粘性やや弱、瀝物(陶文多数)出土層
2. 褐色土  
ローム粒多、焼土散在。しまり中、粘性やや強。
3. 褐色土  
ローム粒中、焼土・炭化物微含む。  
しまり・粘性やや強。
- ③' 黒褐色土  
16層の混入か?
4. 暗褐色土  
ローム粒多含む。しまりやや強、粘性有。
5. 暗褐色土  
ローム粒・焼土・炭化物微含む。しまり・粘性有。
6. 明褐色土  
ローム粒主体、黒色土・褐色土少含む  
しまり・粘性中
7. 褐色土  
ローム粒少含む。しまりやや弱、粘性有。
8. 黒暗褐色土  
ローム粒少、焼土・炭化物微含む。  
しまり有、粘性やや強。
9. 暗褐色土  
ローム粒・焼土・炭化物微、褐色土中含む。  
しまりやや強、粘性有。
10. 赤褐色土  
焼土主体、炭化物・暗褐色土少含む。  
しまり・粘性有。  
高さから見て土住に伴う別遺構の可能性。
11. 黒暗褐色土  
⑩' 暗褐色土  
焼土・炭化物白色粒少含む。しまり有、粘性やや強  
ローム粒・黒色土少、焼土・炭化物微含む。  
しまり強、粘性やや強。
12. 暗褐色土  
ローム粒少、焼土・炭化物白色粒(骨粉小)  
微量含む。しまり強、粘性やや強。
13. 茶褐色土  
ローム粒微含む。しまり有、粘性やや弱。
14. 褐色土  
ローム粒・ロームアフラク(2cm)少。  
焼土・炭化物白色粒微含む。しまり強、  
粘性やや強。
15. 明褐色土  
ローム粒多、褐色土中、炭化物微含む。  
しまり・粘性やや強。
16. 黒褐色土  
ローム粒・焼土・炭化物微、褐色土中含む。  
しまり・粘性やや弱。
17. 褐色土  
ローム粒・黒色土少、焼土・炭化物微含む。  
しまり・粘性弱。
18. 褐色土  
ローム粒・焼土・炭化物微、黒色土少含む  
しまり・粘性中
19. 暗褐色土  
ローム粒・炭化物少、白色粒微含む。  
しまりやや強、粘性有。
20. 暗褐色土  
ローム粒・焼土・炭化物少、白色粒微含む。  
しまり・粘性強
21. 褐色土  
ローム粒中、ロームアフラク(2-5mm)・  
焼土・炭化物微含む。しまり強、粘性やや強。  
ソールローム粒主体、褐色土少含む。
22. 明褐色土  
しまり・粘性やや強。
23. 明褐色土  
ハードローム主体(程度に20)ローム少  
しまり・粘性強

※4住は土層に反映せず。最上面黒色燃焼痕

第53図 大越台遺跡15トレンチ図



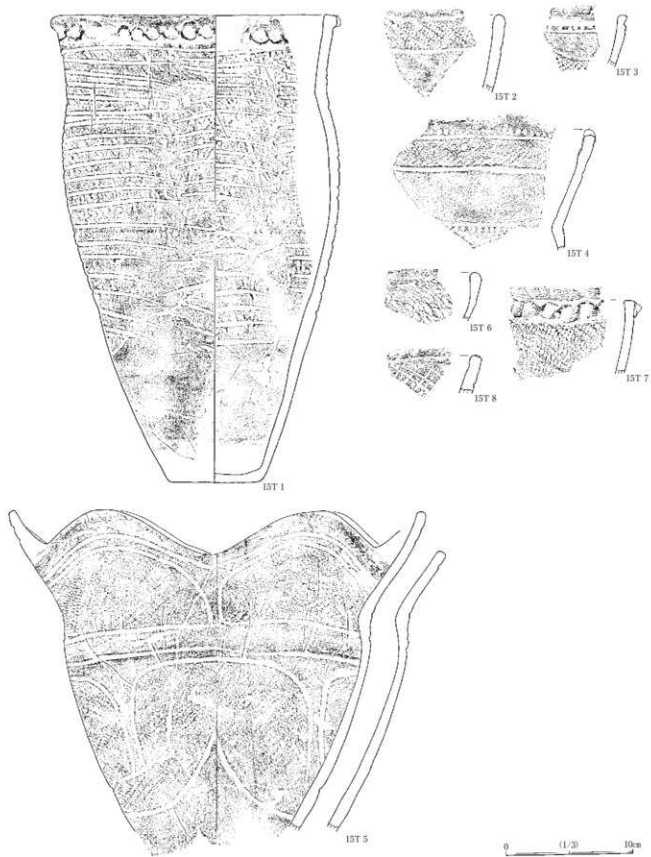
第54図 大越台遺跡出土遺物(2)



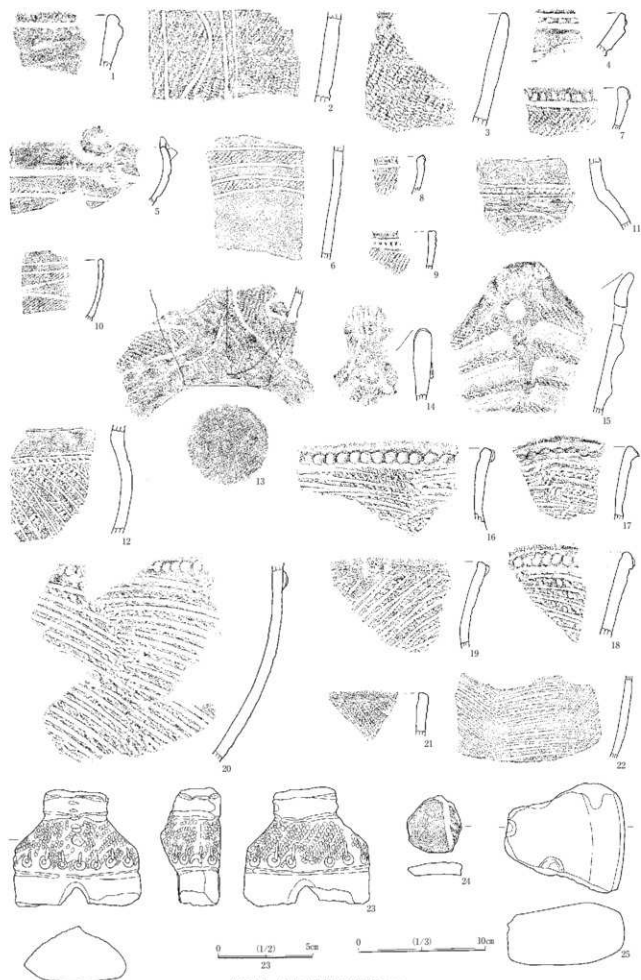
第55图 大越台遺跡出土遺物(3)



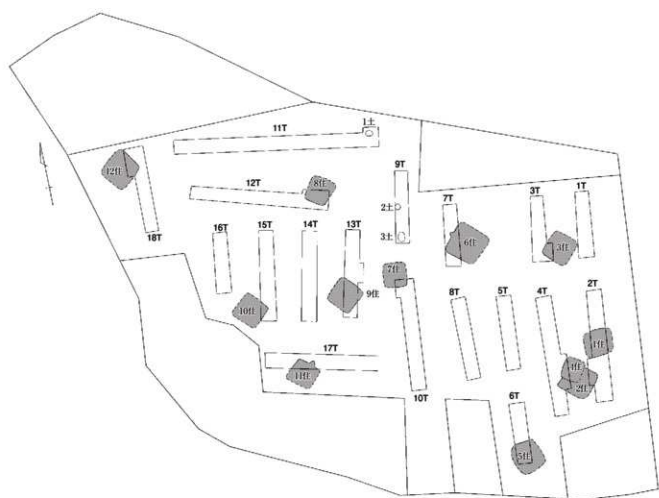
第56図 大越台遺跡出土遺物(4)



第57図 大越台遺跡出土遺物(5)



第58图 大越台遺跡出土遺物(6)



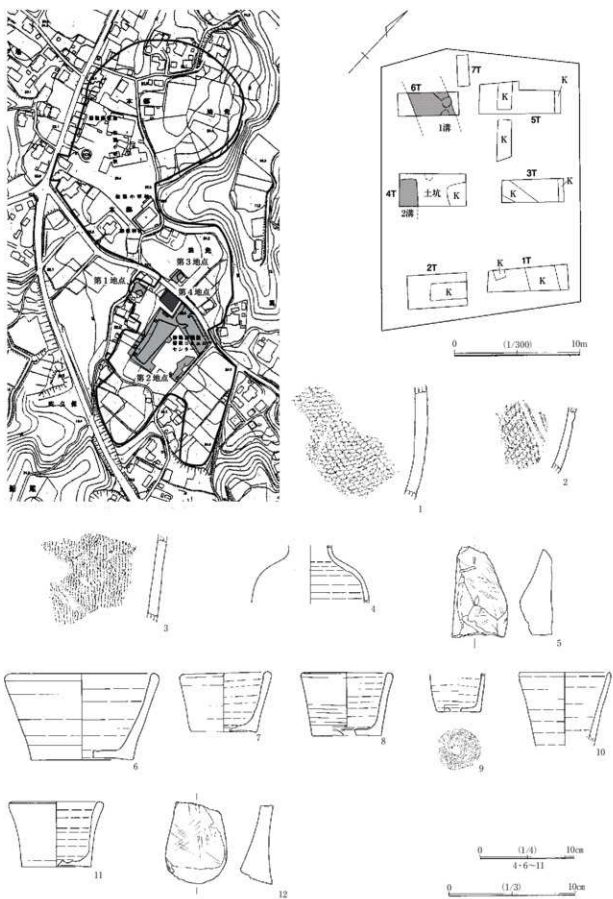
0 (1/600) 20m



0 (1/4) 5cm

0 (1/3) 10cm

第59図 川崎遺跡（第2地点）トレンチ遺構配置図・出土遺物



第60図 油免遺跡（第4地点）周辺地形図・トレンチ遺構配置図・出土遺物



## 第3章 まとめ

### 大畑遺跡（第2地点）

今回調査した竪穴住居跡は、その一部を調査しにすぎず、擾乱の影響も少なからずあるように思われる。はっきりとした年代を示す遺物がなく、その特定が困難である。奈良平安時代の住居跡と考えられるが、周囲の調査の進展により、比較できる資料の増加を期待したい。

### 木戸遺跡（第1・2・3地点）

3つの地点が並んでおり、奈良・平安時代の竪穴住居跡10軒・掘立柱建物跡3棟・柵列2条にのぼる集落跡が検出された。集落跡は周辺に広がると考えられる。

### 馬場遺跡（第4・6地点）

両地点の調査において、縄文時代と中世の遺構が検出され、第5地点における同時代の遺構に連なるものと考えられる。ただ、調査範囲の西側は、遺構が検出されない範囲も多く、遺跡を構成する集落の縁辺部にあたる可能性があるだろう。

### 迎山遺跡

今回の調査によって、古墳時代前期の集落跡であることが確認された。

### 前戸遺跡（第2地点）

今回調査した範囲は、平成16年に財団法人文化財センター調査地点の南隣となる。その際に発見された集落跡の続きが、この調査でも確認できたといえよう。

### 竜崖遺跡

今回調査した地点は、竜崖遺跡の北端にあたる。調査地点の台地の東側には山王台遺跡が隣接している。山王台遺跡は平成9年に昭印旗郡市文化財センターによる調査が実施され、縄文時代（早期・中期）と中世の遺構・遺物が発見された<sup>1)</sup>。今回の調査結果は、この山王台遺跡の調査結果に連なるものであろう。

### 八夜台遺跡（第1・2地点）

今回調査した八夜台遺跡は、南北に近接した地点であった。北側の第1地点では、中世以前の溝条遺構1条が検出されたにとどまったが、第2地点では平安時代の住居跡と土坑が発見された。周囲の調査によって、遺跡の詳細な広がりが判明されることが期待される。なお、第2地点の1号竪穴住居跡から出土した古代の瓦は、木下別所庵寺や曾谷ノ窪瓦窯跡に関連するものと思われる。

### 天神前遺跡

この調査区は、天神前遺跡（第2地点）の北側隣接地にあたる。今回検出された奈良・平安時代竪穴住居跡も、第2地点で発見された集落跡に連なるものであろう。

### 天神台遺跡（第14地点）

今回の調査地の南側近辺では、天神台遺跡第5・8・9地点が発掘されており、縄文土器の散布が認められ、弥生時代から奈良・平安時代に至る集落跡が確認されている。今回発見された遺構群も一連のものであり、集落跡はさらに北へ広がるように思われる。

### 松崎V遺跡（第2地点）

今まで調査が実施された地点は、遺跡北部の台地縁辺であったが、今回の調査地点は遺跡の南部域である。台地全体に集落跡が広がることが確認され、今後その変遷等が次第に明らかとされるだろう。

#### 吉高一本松遺跡

今回の調査地は、遺跡の南東端にあたる。遺跡の主体は、もっと北西寄りであると思われる。

#### 中郷遺跡（第1・2地点）

隣接する2地点の調査によって、縄文時代・弥生時代・古墳時代の集落跡が広がっていることがわかった。ただ、古墳時代と比べて、縄文時代と弥生時代の集落跡は、北側に展開しない可能性がある。

#### 天神台遺跡（第15地点）

台地の中央付近であるために、遺構密度が低いことが予想される。周辺の調査の進展を期待したい。

#### 道作1号墳（周溝確認調査第2次）

今回の調査によって、道作1号墳の北側周溝の範囲が明確になった。今後、さらなる発掘調査によってその様相が解明されることを期待したい。

#### 向新田遺跡（第3地点）

向新田遺跡は、かなり広範囲な台地上に広がりを持つが、この第3地点の南部は、東から入ってくる谷地形の影響を受けて、遺構分布密度が薄くなるものと思われる。

#### 向ノ地遺跡（第4次）

今回の調査では遺構遺物が発見されなかったが、この南側隣接地は、弥生時代から古墳時代の遺構・遺物が検出されている。このことから、この辺りが集落跡の縁辺になると思われる。

#### 馬場遺跡（第7地点）

検出された住居跡の方向と大きさによって2時期に分けられる。

#### 瓜塚込遺跡第2遺跡

今回の調査では、狭い範囲に多くの遺構が検出されたわりには、遺物の出土がなかったため、遺跡の詳細な性格は今後の検討課題である。

#### 花作遺跡

攪乱を受けた箇所も目立ったが、多くの遺構が検出され、今後の調査が期待される。

#### 川崎遺跡（第1・第2地点）

古墳時代の集落跡が確認された。遺構は検出されなかったが、縄文土器も出土しており、周辺の調査時には注意が必要である。

#### 大越台遺跡（第2地点）

縄文時代の集落跡が確認されたが、これは第1地点から連なるものと思われる。台地の基部では、古墳時代の聚穴住居跡が発見され、集落跡が周辺に広がるようである。

#### 油免遺跡（第4地点）

遺跡の西側を調査した第1・3・4地点では、古墳時代・奈良平安時代の明確な遺構が検出されなかったことからすると、当該遺跡の集落跡の中心は、第2地点本調査部分を西限として、さらに東方の台地へ広がることが予想される。

注1) 小倉和重 他 『千葉県印西市 山王台遺跡』（財団法人印倫郡市文化財センター 1998年）

第1表 大田道跡(第2地点)遺物観察表

№	出土地	種類	保存度	法量 (cm)	平面上の特徴	胎土・色相・構成	備考
1	1位	土師器 高脚杯	胎土一部 口縁1/2	口径10.8 高さ3.3 底径4.4	口内凹形、底部平坦(内凹)後、未開通。胎土内部分に内 部の痕跡。	赤色粘土・石灰・長石少量、白色針状物微量、暗褐色、構成は良好。	
2	1位	土師器 片	口縁1/6、 底部一部	口径12.0 高さ4.0	口内凹形、底部平坦。	赤色粘土少量、石灰・長石有、白色針状物微量、に白い褐色、構 成は良好。	
3	1位	土師器 高脚杯	胎土2/3 底径1/2	口径14.4 高さ4.4	口内凹形、底部内凹ナリ、底部内面口ワナナリ、底部中央 の内へ傾斜。	石灰・長石有、赤褐色、構成は良好。	
4	1位	土玉	長さ2.5cm 幅2.1cm	高さ2.0cm	重量1.4g 孔径0.5cm	赤色粘土・石灰・長石微量、褐色、構成は良好。	
5	1位	土玉	長さ2.6cm 幅2.1cm	高さ2.1cm	重量1.7g	石灰・長石少量、褐色、構成は良好。	
6	1位	土師品 刺刺器	胎土1/2	口径12.0 高さ4.0 孔径1.2cm	外周ハナナリ後、ナリ、中央部開通。	赤色粘土微量、石灰・長石少量、褐色、構成は良好。	
7	2T	縄文土器 深鉢	胎土内	—	丸縁文		
8	2T	土師器 深鉢	胎土1/4 口縁1/3 口径— 高さ1.8	口径13.1 高さ3.1	胎土内面へナナリ、底部外面へナナリ。	石灰・長石少量、褐色、構成は良好。	
9	1位	土師器 高脚杯	胎土1/2	口径14.4 高さ4.4 底径4.4	口内凹形、底部内凹ナリ。	石灰・長石有、褐色、構成は良好。	
10	標尺	鉄線	長さ25.5cm 幅4.4cm	厚さ1.6cm	重量33.0g		
11	2T	特製品 刺刺器	内面	長さ44.4cm 幅20.15cm	重量16.1g 孔径0.4cm		

第2表 木戸地道跡(第1地点)遺物観察表

№	出土地	種類	保存度	法量 (cm)	平面上の特徴	胎土・色相・構成	備考
1	1位	土師器 片	胎土一部 口縁2/3	口径14.4 高さ4.4 底径4.4	口内凹形、底部内面へナナリ。底部外面口ワナナリ、底部外面 傾斜ナリ。	赤色粘土少量、石灰・長石少量、黄褐色、構成は良好。	口縁部・底部の一部は付着
2	1位・2位	土師器 片	胎土一部 口縁1/2	口径12.0 高さ4.4	口内凹形、底部内面口ワナナリ、底部下面・底部外面傾斜 ナリ。	赤色粘土・黄褐色、石灰・長石少量、白色針状物微量、褐色、構 成は良好。	底部外面露出部生じ
3	1位	土師器 片	胎土一部 口縁2/3	口径13.2 高さ4.4 底径4.4	口内凹形、底部内面口ワナナリ、底部下面傾斜の急、黄褐色 。	石灰・長石・白色針状物微量、内に白い黄褐色、外縁褐色。	底部片 底部外面露出部生じ
4	1位	土師器 片	胎土1/6、 底部1/2	口径13.6 高さ3.6 底径3.6	口内凹形、底部内面口ワナナリ、底部下面・底部外面傾斜 ナリ。	石灰・長石・白色針状物微量、暗褐色、構成は良好。	
5	1位	土師器 高脚杯	胎土1/6、 底部1/2	口径14.4 高さ4.4 底径4.4	口内凹形、底部内面へナナリ。底部外面口ワナナリ、底部 外面平坦(内凹)後、高有脚ナリ。	赤色粘土・石灰・長石少量、白色針状物微量、暗褐色、構成は良好。 。	底部外面露出部生じ
6	1位	土師器 片	胎土一部 口縁— 高さ—	口径— 高さ—	底部内面ナリ。	赤色粘土・石灰・長石・黄褐色少量、白色針状物微量、暗褐色、構 成は良好。	口縁部片 底部外面露出部生じ
7	1位	土師器 高脚杯	胎土1/2 底径1/2	口径13.1 高さ3.1	胎土下面傾斜へナナリ。底部外面平坦(内凹)後底部傾斜 ナリ。	赤色粘土・黄褐色、に白い褐色、構成は良好。	口縁部2 底部外面露出部生じ
8	1位	滑石器 深鉢	胎土下	—	底部内面ナリ。	黒色粘土・石灰・長石少量、黄褐色、構成は良好。	胎土片
9	1位	特製品 刺刺器	長さ10.5cm 幅4.4cm	厚さ0.5cm	重量103.2g		
10	1位	特製品 刺刺器	長さ7.5cm 幅2.0cm	厚さ0.3cm	重量8.4g 孔径0.35cm		
11	1位	特製品 刺刺器	長さ7.5cm	重量1.1g			
12	1位	特製品 刺刺器	径3.5cm 高さ2.5cm	重量32.4g			

№	出土地	種類	保存度	法量 (cm)	平面上の特徴	胎土・色相・構成	備考
1	2位	土師器 片	胎土1/3、口 縁部一部	口径13.4 高さ4.0 底径4.0	口内凹形、底部内面口ワナナリ、底部下面・底部外面傾斜 へナナリ。	赤色粘土微量、に白い黄褐色、構成は良好。	
2	2位	土師器 高脚杯	胎土一部 口縁1/2	口径14.4 高さ4.4	胎土内面へナナリ、底部外面傾斜工具による傾斜へナナリ。 。	赤色粘土・石灰・長石少量、に白い褐色、構成は良好。	底部木葉痕あり
3	2位	滑石器 深鉢	胎土1/6 口縁1/2	口径13.2 高さ3.2	胎土内面ナリ、底部内面ナリ。	石灰・長石・黄褐色少量、褐色、構成は良好。	
4	2位	縄文土器 深鉢	胎土内	—	胎土内面二重波線に刺刺文、羽状線文施文。		
5	2位	縄文土器 深鉢	胎土内	—	4と同一中。		
6	2位	縄文土器 深鉢	胎土内	—	4と同一中。		
7	2位	縄文土器 深鉢	胎土内	—	胎土内面二重波線に刺刺文、羽状線文施文。		
8	2位	縄文土器 深鉢	胎土内	—	胎土内面二重波線に刺刺文、羽状線文施文。		
9	2位	縄文土器 深鉢	胎土内	—	中輪、縦刺刺文、キナシ口ワナ、阿玉部あり。		

№	出土地	種類	保存度	法量 (cm)	平面上の特徴	胎土・色相・構成	備考
1	2位	滑石器 長筒瓶	胎土一部	—	一部に自然痕、口唇部下に凸。	黒色粘土・石灰・長石少量、灰色、構成は良好。	口唇部片

№	出土地	種類	保存度	法量 (cm)	平面上の特徴	胎土・色相・構成	備考
1	2T	縄文土器 深鉢	胎土内	—	胎土内面、縦刺刺文施文。		
2	1位	土師器 片	2/3	口径12.2 高さ4.0 底径4.0	口内凹形、底部内面口ワナナリ、底部下面傾斜、底部 外面平坦(内凹)後底部平坦ナリ。	赤色粘土・黄褐色、石灰・長石少量、暗褐色、構成は良好。 。	
3	1位	土師器 片	胎土1/4、 底部一部	口径11.0 高さ5.0 底径5.0	口内凹形、底部内面口ワナナリ、底部下面傾斜ナリ。 。	赤色粘土少量、石灰・長石少量、暗褐色・黄褐色、構成は良好。 。	胎土内面に付着 刺刺文・木葉痕あり

第3表 長峰遺跡(第4地点)第1次)遺物観察表

№	出土地	遺構	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	粘土・色戻・構成	備考
1	2T	縄文土器 深鉢	—	—	折縁、縦線土器。		
2	1T	土師器 盆	—	—	遺跡内へラウナ、外蓋へラウナ。	白色粘土多量、石灰・長石少量、褐色色、構成は良好。	

第4表 長峰遺跡(第4地点)第2次)遺物観察表

№	出土地	遺構	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	粘土・色戻・構成	備考
1	1T	縄文土器 深鉢	—	—	縄文土器、横穴式竪穴式付入。		
2	1T	縄文土器 深鉢	—	—	縄文土器、横穴式竪穴式付入。		
3	1T	縄文土器 深鉢	—	—	縄文土器、横穴式竪穴式付入。		
4	2T	縄文土器 深鉢	—	—	縄文土器、横穴式竪穴式付入。		
5	2T	縄文土器 深鉢	—	—	縄文土器、横穴式竪穴式付入。		
6	2T	縄文土器 深鉢	—	—	縄文土器、横穴式竪穴式付入。		
7	1T	土師器 盆	—	—	内外蓋とも縁部が割れ(縁部は不明)。	白色粘土多量、石灰・長石少量、赤褐色、構成は不良・2次構成?	
8	1T	陶器 小瓶	—	—	内外蓋のフタ、蓋部手持ちへラウナ。	内)褐色、外)黒褐色。	
9	1T	陶器 小瓶	—	—	内外蓋、外蓋下部蓋も縁部、蓋部縁部付入。	黒色(ほぼ褐色、輪)褐色。	

第5表 岡山遺跡遺物観察表

№	出土地	遺構	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	粘土・色戻・構成	備考
1	2T	土師器 盆	—	—	外蓋へラウナ。	石灰・長石少量、外蓋褐色、内蓋黒色、構成は良好。	

第6表 新戸遺跡(第2地点)遺物観察表

№	出土地	遺構	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	粘土・色戻・構成	備考
1	4T	縄文土器 深鉢	—	—	加掬印式、縦線土器、地穴に縄文土器、口縁部に縦穴式を付入、赤褐色土器。		
2	4T	縄文土器 深鉢	—	—	加掬印式、縄文土器、横穴式竪穴式付入。		
3	6T	縄文土器 深鉢	—	—	縄文土器		
4	4T	縄文土器 深鉢	—	—	口縁部、体部下部縁部へラウナ、蓋部手持ちへラウナ。	石灰・長石少量、縦線土器、灰色、構成は良好。	
5	17位置	縄文土器 深鉢	1/4	—	口縁部	石灰・長石・縦線多量、褐色、構成は不良。	
6	17位置	土師器 盆	—	—	口縁部内外蓋コナナ、体部内蓋へラウナ、体部外蓋ナナ。	石灰・長石・縦線多量、褐色、構成は良好。	
7	4T	土師器 盆	—	—	口縁部内外蓋コナナ、体部内蓋へラウナ、体部外蓋ナナ。	石灰・長石・縦線多量、褐色、構成は良好。	
8	4T	土師器 盆	—	—	口縁部内外蓋コナナ、体部内蓋ナナ、体部外蓋縁部付入。	石灰・長石・縦線多量、褐色、構成は良好。	
9	4T	縄文土器 深鉢	—	—	口縁部内外蓋コナナ、体部内蓋平打タナ体ナナ。	白色粘土・石灰・長石少量、縦線多量、反黄褐色、構成は良好。	
10	4T	縄文土器 深鉢	—	—	口縁部内外蓋コナナ、体部内蓋平打タナ体ナナ。	白色粘土・石灰・長石少量、縦線多量、反黄褐色、構成は良好。	
11	5T	陶器 小瓶	—	—	口縁部内外蓋コナナ。	白色粘土・石灰・長石少量、縦線多量、褐色、構成は良好。	
12	4T	花石	長径3.0cm 幅1.5cm 厚0.1cm(最大) 重量67g 7割反黄。				

第7表 水戸遺跡(第2地点)遺物観察表

№	出土地	遺構	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	粘土・色戻・構成	備考
1	10位	土師器 盆	—	—	口縁部内外蓋コナナ、体部内蓋縁部へラウナ、体部外蓋へラウナ。	赤色粘土多量、石灰・長石少量、赤褐色、構成は良好。	体部外蓋蓋口
2	10位	土師器 盆	—	—	体部内蓋縁部へラウナ、体部外蓋へラウナ、2分ナ、口縁部内外蓋コナナ。	赤色粘土・石灰・長石少量、赤褐色、構成は良好。	体部外蓋蓋口
3	10位	土師器 盆	—	—	口縁部、体部下部縁部縁部手持ちへラウナ、蓋部縁部へラウナ。	赤色粘土少量、石灰・長石少量、赤褐色、構成は良好。	体部外蓋蓋口(山)
4	10位	土師器 盆	1/2	—	体部内蓋2分ナ、体部外蓋へラウナ付、ナナ、見込外蓋付。	赤色粘土・石灰・長石少量、赤褐色、構成は良好。	
5	10位	土師器 盆	1/2	—	体部内蓋へラウナ付、体部外蓋へラウナ付、ナナ、ナナ。	赤色粘土少量、石灰・長石少量、赤褐色、構成は良好。	
6	10位	土師器 盆	1/2	—	体部内蓋へラウナ付、体部外蓋へラウナ付、ナナ、ナナ。	赤色粘土少量、石灰・長石少量、赤褐色、構成は良好。	
7	10位	土師器 盆	—	—	口縁部、体部下部縁部へラウナ付、蓋部縁部へラウナ付。	赤色粘土多量、石灰・長石少量、赤褐色、構成は良好。	
8	10位	土師器 盆	—	—	口縁部、体部下部縁部へラウナ付。	赤色粘土・石灰・長石少量、赤褐色、構成は良好。	
9	10位	土師器 盆	—	—	口縁部、体部下部縁部へラウナ付。	赤色粘土・石灰・長石少量、赤褐色、構成は良好。	体部外蓋蓋口
10	10位	土師器 盆	—	—	口縁部、体部下部縁部へラウナ付。	赤色粘土少量、石灰・長石少量、白色封状物多量、赤褐色、構成は良好。	体部外蓋蓋口

№	出土地	種類	透光度	法量 (mm)	手法上の特徴	胎土・色調・構成	備考
11	1位	透青磁片	口縁部1/3 底脚部1/3 底脚部1/3	口徑(13.1) 底脚(13.0) 底脚(13.0)	口口型胎。体部下端半露胎。底部へうひれ。手掛もへうずり。	石灰・黒石・霏母多量、白色成物物無。灰色、焼成は良好。	
12	1位	透青磁片	口縁部1/3 底脚部1/3	口徑(13.0) 底脚(13.0)	口口型胎。体部下端半露胎。底脚部へうひれ。	石灰・黒石少量、白色成物物無。灰色、焼成は良好。	
13	1位	透青磁片	口縁部1/2 底脚部1/2	口徑(13.0) 底脚(13.0)	口口型胎。体部下端半露胎へうずり。底脚露胎不備。	石灰・黒石少量、黄灰色、焼成は良好。	
14	1位	透青磁片	口縁部1/3	口徑(13.0) 底脚(13.0)	口口型胎。体部下端半露胎。	黒色粘土・石灰・黒石少量。黄灰色、焼成は良好。	
15	1位	透青磁片	1/4	口徑(13.0) 底脚(13.0) つまみ1.8	口口型胎。天井部回転へうずり。	黒色粘土・石灰・黒石少量。霏母多量、灰色、焼成は良好。	
16	1位	透青磁片	つまみ部片	口徑(12.4) つまみ部片	天井部回転へうずり。	石灰・黒石少量。霏母多量、にない焼成色。焼成は良好。	
17	1位	土師器	口縁部1/4	口徑(23.0) 底脚(18.0) 底脚(18.0)	口縁部内外面コナナ。胴部内裏へうずり。ずり。胴部外裏へうずり。	石灰・黒石・霏母多量、白色焼。焼成は良好。	
18	1位	土師器	底脚1/2部 胴部1部	口徑(18.0) 底脚(18.0) 底脚(18.0)	胴部内裏へうずり。胴部外裏縁部へうひれ。	石灰・黒石・霏母多量、白色。焼成は良好。	
19	1位	土師器	口縁部1/2部 胴部1部	口徑(24.0) 底脚(18.0) 底脚(18.0)	口縁部内外面コナナ。胴部内裏へうずり。胴部外裏へうずり。縁、縮いびり。胴部穿孔。家穿孔あり。	赤色粘土・石灰・黒石少量。白色。焼成は良好。	
20	1位	透青磁片	底脚1/2部	口徑(17.0) 底脚(17.0)	胴部内裏へう。曲良縁あり。胴部外裏へうずり。	石灰・黒石・霏母多量、灰色。焼成は良好。	
21	1位	透青磁片	口縁部1/2部 底脚部1/2部	口徑(16.0) 底脚(16.0)	口口型胎。胴部外裏下端へうずり。底脚全露へうひれ。ずり。付露。	黒色粘土・石灰・黒石少量。灰色。焼成は良好。	
22	1位	灰胎磁片	胴部1/2部	口徑(17.0) 底脚(17.0)	外露縁部。	黒色粘土少量、石灰・黒石少量。灰色。焼成は良好。	
23	1位	高麗磁器 長筒瓶	口縁部片	口徑(11.1) 底脚(11.1)	内外露縁部。	黒色粘土・石灰・黒石少量。にない焼成色。焼成は良好。	
24	1位	磁石	長25.8cm 幅10cm 厚3.3cm	重量21.0g			
25	1位	石磁	長21.1cm 幅13.2cm 厚3.55cm	重量15.2g	メノウ製。		
26	1位	万子	長25.8×幅10×厚20.25cm	長22.5×幅10×厚20.25cm	長25.15×幅4×厚20.2cm	合計重量10.7g	

№	出土地	種類	透光度	法量 (mm)	手法上の特徴	胎土・色調・構成	備考
1	2位	透青磁片	口縁部1/4	口徑(13.0) 底脚(13.0) 底脚(13.0)	口口型胎。体部内外面コナナ。	石灰・黒石・霏母多量、焼成良好。焼成は良好。	
2	2位	透青磁片	底脚部1/2部	口徑(13.0) 底脚(13.0)	体部内外面コナナ。体部下端半露胎へうずり。底脚外裏へうひれ。底脚露胎不備へうずり。	赤色粘土・霏母多量、石灰・黒石少量。灰黄褐色。焼成は良好。	
3	2位	土師器	胴部1部	口徑(18.0) 底脚(18.0)	口縁部内外面コナナ。胴部内裏へうずり。胴部外裏縁部へうずり。	赤色粘土・石灰・黒石少量。暗褐色。焼成は良好。	
4	2位	土師器	胴部1部	口徑(24.0) 底脚(18.0) 底脚(18.0)	口縁部内外面コナナ。胴部内裏へうずり。胴部外裏上中部へうずり。胴部外裏縁部へうひれ。	赤色粘土・石灰・黒石少量。暗褐色。焼成は良好。	
5	2位	土師器	底脚1/2部	口徑(17.0) 底脚(17.0)	胴部内裏へうずり。胴部内裏下端へうずり。胴部外裏縁部へうひれ。	石灰・黒石少量。霏母少量、白色。焼成は良好。	
6	2位	磁器品 高脚杯	高さ11.21cm	幅5.5cm 厚3.0cm	重量13.3g	木製部一部付着。	

№	出土地	種類	透光度	法量 (mm)	手法上の特徴	胎土・色調・構成	備考
1	2位	土師器	口縁部1/2	口徑(13.0) 底脚(13.0) 底脚(13.0)	口口型胎。体部内外面コナナ。	赤色粘土・石灰・黒石少量。白色成物物無。暗色。焼成は良好。	
2	2位	透青磁片	1/4	口徑(13.0) 底脚(13.0) 底脚(13.0)	口縁部外裏コナナ。体部内裏へうひれ。体部・底脚外裏手掛もへうずり。	石灰・黒石少量。暗褐色。焼成は良好。	
3	2位	透青磁片	口縁部1/2 底脚1/2	口徑(13.0) 底脚(13.0)	口口型胎。体部内外面コナナ。体部下端・底脚外裏手掛もへうずり。	黒色粘土・石灰・黒石少量。霏母多量、灰白色。焼成は良好。	
4	2位	透青磁片	1/4	口徑(13.0) 底脚(13.0)	口口型胎。体部内外面コナナ。体部下端・底脚外裏手掛もへうずり。	黒色粘土少量、石灰・黒石少量。暗灰色。焼成は良好。	
5	3位	透青磁片	口縁部1/2部 底脚部1/2部	口徑(13.0) 底脚(13.0)	口口型胎。体部内外面コナナ。底脚部回転へうひれ。底脚部回転へうひれ。	白色粘土少量、石灰・黒石少量。灰色。焼成は良好。	
6	3位	土師器	口縁部1/2	口徑(14.0) 底脚(14.0)	口縁部内外面コナナ。胴部内裏へうずり。縮縁縁あり。胴部外裏縁部へうひれ。	赤色粘土・石灰・黒石少量。暗褐色。焼成は良好。	
7	3位	土師器 小笠	口縁部1/2	口徑(13.0) 底脚(13.0)	口縁部内外面コナナ。口縁部外縁縁部縁あり。胴部内裏へうずり。胴部外裏縁部へうひれ。	赤色粘土・石灰・黒石少量。暗褐色。焼成は良好。	
8	3位	土師器	口縁部1/2	口徑(11.4) 底脚(11.4)	口縁部内外面コナナ。口縁部外縁縁部縁あり。胴部内裏へうずり。	赤色粘土少量、石灰・黒石少量。暗褐色。焼成は良好。	
9	3位	土師器 片断	長33.3cm 幅3.3cm 厚6.0cm	重量14g			
10	3位	磁器品 高脚杯	胴部片	—	漆類、糊状物付着。沈積による変質。		
11	3位	磁器品 高脚杯	長33.3cm 幅3.3cm 厚3.5cm	重量12.3g			
12	3位	磁器品 高脚杯	長28.2cm 幅2.8cm 厚3.5cm	重量12.3g			

№	出土地	種類	透光度	法量 (mm)	手法上の特徴	胎土・色調・構成	備考
1	一般	縄文土器 深鉢	胴部片	—	縄目結部縄文。		
2	一般	磁石	長26.4cm 幅3.3cm 厚3.15cm	重量26.1g	減反装置。		

第8表 豊原造訪遺物観察表

№	出土地	器種	造作径	法量 (cm)	手法上の特徴	粘土・色戻・構成	備考
1	一帯	縄文土器 灰鉢	口縁断片	—	早期、口唇部に刺状文、条痕文を地上とし、流線による縁部の区画文を配し、内腔面に刺状文を充填する。表面文意には内外作製による刺状文を寓す。		
2	一帯	縄文土器 灰鉢	断片	—	早期、地文条痕文、粘付片に刺状文。		
3	一帯	縄文土器 灰鉢	断片	—	早期、条痕文、粘付片に刺状文。		
4	一帯	縄文土器 灰鉢	断片	—	早期、二重流線内に刺状文		

第9表 馬場造訪(第1地点)遺物観察表

№	出土地	器種	造作径	法量 (cm)	手法上の特徴	粘土・色戻・構成	備考
1	ST	縄文土器 灰鉢	口縁断片	—	後期、口唇部後位流線後半に流文充填。		
2	ST	縄文土器 灰鉢	口縁断片	—	後期、流紋口縁、口唇部間形成の左右小突起に流線、外縁流線後位二重流線内流線、粘付文に刺状文、條痕形粘付文に刺状文の凸條痕等。		
3	ST	縄文土器 灰鉢	口縁断片	—	後期、口縁部外縁流線後位、コンパシ文。		
4	ST	縄文土器 灰鉢	口縁断片	—	後期、外縁流線後位流線流線、粘付粘付文		
5	ST	縄文土器 灰鉢	口縁断片	—	後期、外縁流線後位條痕形押し、流線。		
6	ST	縄文土器 灰鉢	口縁断片	—	後期、外縁流線後、粘付流線。		
7	ST	縄文土器 灰鉢	底部	—	後期、外縁流線。		
8	ST	縄文土器 灰鉢(14)	口縁部1/4 器高(15.5)	器径(10.4)	後期、黄褐色、外縁流線後口縁部二重流線に粘付文、後部流線にて区画内流線。		
9	ST	縄文土器 灰鉢	口縁断片	—	に白褐色、條痕、外縁流線後口唇部ナデ、口縁部流線にて区画内流線。		
10	ST	縄文土器 灰鉢	断片	—	後期、外縁流線後条痕文。		
11	10T	縄文土器 灰鉢	口縁断片	—	後期、口縁部後位ナデ等。		
12	10T	縄文土器 灰鉢	口縁断片	—	後期、縄文地文流線後二重流線、断片ナデ。		
13	ST	土製内蓋	長さ33cm	幅23cm	厚さ8.8cm	重量11kg	
14	ST	土製内蓋	長さ35cm	幅23.5cm	厚さ8.4～9.55cm	重量14kg	
15	ST	漆器 部少	底部1/5	口縁一 部高(3.6)	口唇一 部径(10.7)		
16	ST	漆器 染付	底部1/2	口縁一 部高(1.7)	口唇一 部径(8.5)		
17	4T	陶器 灯籠皿	口縁部一帯	器高(1.8)	器径(14.7)		
18	3T	陶器 七徳小	底部1/4	器高(1.2)	器径(17.0)		
19	3T	陶器 内蓋	口縁部一帯	—	—		
20	3T	陶器 鉢	底部1/8	器高(1.4)	器径(18.0)		
21	3T	陶器 鉢	底部一帯	口縁一 部高(2.0)	口唇一 部径(11.5)		
22	3T	陶器 鉢	底部1/2	器高(1.2)	器径(17.0)		
23	10T	平瓦	—	—	—		
24	3T	磁石	長さ33.0cm	幅27.2cm	厚さ8.5cm	重量274g	粘石質陶磁器、磁鉄。
25	10T	鉄製品	長さ40cm	幅4.0cm	厚さ0.45～0.65cm	重量19.2g	
26	10T	鉄製品	長さ3.5cm	幅2.6cm	厚さ0.8×0.6cm	重量6.5g	

第10表 八坂台造訪(第1地点)遺物観察表

№	出土地	器種	造作径	法量 (cm)	手法上の特徴	粘土・色戻・構成	備考
1	一帯	土製内蓋	底部1/2	口縁一 部高(2.2)	口唇一 部径(12.0)		
2	一帯	漆器 高台付	口縁部	器高(1.4)	器径(11.0)		
3	一帯	陶器 灯籠皿	底部	口縁一 部高(1.7)	口唇一 部径(14.4)		

第11表 天神前造訪遺物観察表

№	出土地	器種	造作径	法量 (cm)	手法上の特徴	粘土・色戻・構成	備考
1	3T	縄文土器 壺	断片	—	製品文。		
2	3T	漆器 部	底部1/8	口縁一 部高(1.4)	口唇一 部径(13.0)		
3	3T	漆器 高台付	底部1/8	口縁一 部高(1.6)	口唇一 部径(14.0)		
4	3T	漆器 高台付	底部1/8	器高(1.4)	器径(13.0)		
5	3T	漆器 壺	口縁断片	器高(1.7)	器径(11.0)		

№	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	平面上の特徴	胎土・色調・構成	備考
6	3T	滑き器 蓋	口縁部片 口縁一 部(13.3) 底面一 部(一)	口縁12.9 器高4.5 口径11.0 底径10.2	平面上の特徵	胎土・色調・構成	
					内面に9字目あり。	赤色・赤粘土・裏面含む。内・外両色。構成は良好。	

第12表 天神台遺跡(第14地点)遺物観察表

№	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	平面上の特徴	胎土・色調・構成	備考
1	13T	縄文土器 深鉢	胴部片	—	—	—	—
					浅鉢、内・縄文文様縁部は立縁。		
2	9T	縄文土器 深鉢	胴部片	—	—	—	—
					浅鉢、立縁による深鉢。		
3	11T	土器 深鉢	底面1/5	口径— 器高(10.2) 底径(10.8)	—	—	—
					胴部外周へラケズリ。胴部内面へラケズリ。	赤粘土・裏面少量。内・外両色。構成は良好。	
4	13T	滑き器 蓋	胴部片	—	—	—	—
					内面9字目有。	赤粘土・裏面少量。黒褐色。構成は良好。	
5	17T	鉄斧	長23.2cm 幅23.0cm 厚21.6mm	重量116.4g			
6	47T	鉄斧	長23.3cm 幅23.0cm 厚22.2mm	重量119.2g			

第13表 松崎V遺跡(第2地点)遺物観察表

№	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	平面上の特徴	胎土・色調・構成	備考
1	1位	土器 深鉢	口縁部一 次縁	口径12.9 器高4.5 口径11.0 底径10.2	口ウロ無形。体部内外面口ウロナズ。体部下縁部凹へラケズリ。底面凹縁糸切縁縁部へラケズリ。	白色粘土・裏面少量。赤褐色。構成は良好。	
2	7位	土器 深鉢	1/2胴	口径11.8 器高3.8 口径11.0 底径10.2	口ウロ無形。体部下縁部凹へラケズリ。底面凹縁糸切縁縁部へラケズリ。	赤色粘土多量・裏面少量。褐色。構成は良好。	体部外周蓋口
3	1位	土器 深鉢	1/4胴	口径14.0 器高4.5 口径12.9 器高3.8	口ウロ無形。体部下縁部凹へラケズリ。	赤色粘土多量・裏面少量。褐色。構成は良好。	
4	1位	土器 深鉢	1/4胴	口径14.0 器高4.5 口径12.9 器高3.8	口ウロ無形。体部下縁部凹へラケズリ。底面凹縁糸切縁縁部へラケズリ。	赤色粘土多量・裏面少量。褐色。構成は良好。	体部上より底面外周蓋口
5	1位	土器 深鉢	口縁部一 次縁	口径11.8 器高4.5 口径11.0 底径10.2	口ウロ無形。体部内外面口ウロナズ。体部下縁部凹へラケズリ。底面凹縁糸切縁縁部へラケズリ。	赤色粘土多量。淡黄褐色。構成は良好。	体部外周蓋口
6	1位(方V)	土器 深鉢	口縁部1/3 底面1/4	口径12.0 器高3.8 口径11.0 底径10.2	口ウロ無形。体部内外面口ウロナズ。体部下縁部凹へラケズリ。底面凹縁糸切縁縁部へラケズリ。	赤色粘土・裏面少量。褐色。構成は良好。	
7	1位	土器 深鉢	口縁部1/3 底面1/3	口径11.4 器高3.8 口径11.0 底径10.2	口ウロ無形。体部内外面口ウロナズ。体部下縁部凹へラケズリ。底面凹縁糸切縁縁部へラケズリ。	赤色粘土多量。褐色。構成は良好。	
8	1位	土器 深鉢	口縁部1/5 底面1/3	口径11.0 器高3.3 口径10.8 底径10.2	口ウロ無形。体部内外面口ウロナズ。	赤色粘土・白色粘土・黒石・石灰色。褐色。構成は良好。	体部外周蓋口
9	1位	土器 深鉢	口縁部片	—	—	—	—
					口ウロ無形。	裏面・底石・石灰多量。褐色。構成は良好。	体部外周蓋口
10	1位	土器 深鉢	口縁部1/4 底面1/4	口径14.5 器高4.4 口径12.9 器高3.8	口ウロ無形。体部内外面口ウロナズ。体部下縁部凹へラケズリ。底面凹縁糸切縁縁部へラケズリ。	裏面少量。黒石・石灰少量。内・外両色。構成は良好。	
11	1位	土器 深鉢	底面1/2胴	口径12.7 器高3.8 口径11.0 底径10.2	口ウロ無形。体部外周部凹へラケズリ。体部内面9字目。底面平縁へラケズリ。	赤色粘土・白色粘土・裏面少量。内・外両色。褐色。構成は良好。	
12	1位	土器 深鉢	1/3	口径13.3 器高3.8 口径11.0 底径10.2	口ウロ無形。口縁部ナズ。体部内外面口ウロナズ。体部下縁部平縁へラケズリ。	白色粘土・裏面少量。内・外両色。構成は良好。	
13	1位	土器 深鉢	1/5	口径14.0 器高4.5 口径12.9 器高3.8	口ウロ無形。体部内外面口ウロナズ。体部下縁部平縁へラケズリ。	白色粘土・裏面少量。内・外両色。構成は良好。	
14	1位	土器 深鉢	底面1/3	口径14.1 器高4.5 口径12.9 器高3.8	口ウロ無形。底面凹縁糸切縁縁部へラケズリ。付着部。	白色粘土・赤色粘土少量。褐色。構成は良好。	
15	1位	土器 深鉢	口縁部1/4 底面1/4	口径14.0 器高4.0 口径12.9 器高3.8	口縁部3コナズ。体部内外へラケズリ。	赤色粘土・黒石・石灰少量。淡赤褐色。構成は良好。	
16	1位	土器 深鉢	口縁部1/5 底面1/4	口径13.0 器高3.5 口径11.8 器高3.8	口縁部3コナズ。体部内外へラケズリ。体部外周へラケズリ。	赤色粘土・黒石・石灰少量。明赤褐色。構成は良好。	
17	1位(方V)	土器 深鉢	口縁部1/2	口径10.4 器高— 口径11.0 底径10.2	口縁部ナズ。体部内外へラケズリ。体部外周へラケズリ。	白色粘土少量。赤褐色。割蓮多。	
18	1位	土器 深鉢	口縁部1/3	口径12.9 器高4.2 口径11.0 底径10.2	口縁部3コナズ。体部内外へラケズリ。体部外周へラケズリ。	白色粘土・裏面少量。赤色粘土少量。褐色。割蓮多。	
19	1位	土器 深鉢	口縁部1/3	口径11.1 器高1.9 口径10.8 底径10.2	口縁部3コナズ。体部内外へラケズリ。体部外周へラケズリ。	白色粘土無量。明赤褐色。構成は良好。	
20	1位	土器 深鉢	口縁部片	—	—	—	—
					口縁部2重立縁。	白色粘土多量。赤色粘土少量。褐色。構成は不良。	
21	1位	滑き器 蓋	口縁部1/8 底面1/3	口径26.2 器高18.3 口径24.0 底径21.0	口縁部3コナズ。体部内外へラケズリ。体部外周9字目。	白色粘土・裏面少量。灰褐色。構成は良好。	
22	1位	滑き器 蓋	口縁部1/4	口径16.5 器高9.0 口径14.0 底径12.0	口ウロ無形。	白色粘土少量。灰色。構成は良好。	
23	1位	滑き器 蓋	口縁部片	—	—	—	—
					口ウロ無形。	白色粘土少量。灰褐色。構成は不良。	
24	1位	縄文土器 深鉢	胴部片	—	—	—	—
					器本文。		
25	1位	縄文土器 深鉢	胴部片	—	—	—	—
					浅鉢。		
26	7位	磁石	長24.7cm 幅23.0cm 厚21.7mm	重量222.6g 透磁弱。			

№	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	平面上の特徴	胎土・色調・構成	備考
1	1位	土器 深鉢	口縁部1/2 底面2/3	口径11.8 器高3.8 口径11.0 底径10.2	口ウロ無形。体部内外面口ウロナズ。体部下縁部平縁へラケズリ。底面凹縁糸切縁縁部へラケズリ。	白色粘土・斜紋粘土少量。褐色。構成は良好。	
2	1位	土器 深鉢	口縁部1/2 底面2/4	口径11.8 器高3.8 口径11.0 底径10.2	口ウロ無形。体部内外面口ウロナズ。体部下縁部平縁へラケズリ。底面凹縁糸切縁縁部へラケズリ。	白色粘土無量。赤色粘土少量。内・外両色。褐色。構成は良好。	
3	1位	土器 高台付杯	底面1/3胴	口径10.8 器高10.8 口径10.2 底径9.8	口ウロ無形。体部内外面口ウロナズ。底面凹縁糸切縁縁部平縁へラケズリ。高台割蓮多。	白色粘土・裏面少量。内・外両色。外・淡黄褐色。構成は良好。	
4	1位	滑き器 蓋	口縁部片	—	—	—	—
					口ウロ無形。体部内外面ナズ。	白色粘土少量。石灰色。構成は不良。	

第14表 吉高一本松遺跡遺物観察表

№	出土地	器種	遺存度	法量 (mm)	平面上の特徴	粘土・色調・構成	備考
1	17	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口縁部片、横文欠損なし。横文浅縁。口唇部に刻み。	—	—
2	17	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口唇部に刻み。	—	—
3	17	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口唇部に刻み。種子状浅縁。	—	—
4	17	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	横縁文に刻み。	—	—
5	17	土師器 壺	口縁部片 (1.7) 底縁部片	—	口縁部片、 底縁部片。	白色粘土・黒石・石炭少量、赤色粘土少量、にがい黄褐色。	—
6	17	磁石	長24.5cm 幅10.5cm 厚2.4cm 重2142.2g	—	—	—	—

第15表 中郷遺跡(第1地点)遺物観察表

№	出土地	器種	遺存度	法量 (mm)	平面上の特徴	粘土・色調・構成	備考
1	19	土師器 埴	口縁部1/2 底縁部1/4 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6 底径6.6	口縁部内外・体部内面はびり。体部外周へラウズリ痕ナシ。	体部外周黄色。口縁部・体部内面黄褐色。横成は良好。	—
2	19	土師器 埴	口縁部1/4 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部外周へラウズリ痕ナシ。体部内面はびり痕ナシ。	白色粘土・黒石・石炭少量、褐色。横成は良好。	—
3	19	土師器 埴	口縁部1/4 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部内面へラウズリ痕はびり。体部外周へラウズリ痕ナシ。	白色粘土・黒石・石炭少量、褐色。横成は良好。	—
4	19	土師器 埴	口縁部1/2 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外・体部内面はびり。体部外周へラウズリ痕ナシ。	白色粘土・黒石・石炭少量、褐色。横成は良好。	—
5	19	土師器 埴	口縁部1/4 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部内面へラウズリ痕ナシ。体部外周へラウズリ痕ナシ。	白色粘土・黒石・石炭少量、褐色。横成は良好。	—
6	19	土師器 高杯	口縁部1/2 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	内外周へラウズリ。体部内面へラウズリ。体部外周へラウズリ痕ナシ。	黒色粘土少量。赤銅か。横成良好だが内面割傷多。	—
7	19	土師器 壺	口縁部1/2 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部外周へラウズリ痕ナシ。	白色粘土少量。黄褐色。横成は良好。	—
8	19	土師器 壺	口縁部1/2 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部外周へラウズリ痕ナシ。体部内面へラウズリ痕ナシ。	白色粘土少量。黒石・石炭少量、内・外・縁割傷。横成は良好。	—
9	19	土師器 壺	口縁部1/4 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部外周へラウズリ痕ナシ。	白色粘土少量。黄褐色。内面割傷多。	—
10	19	土師器 壺	口縁部1/2 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部内面へラウズリ痕ナシ。	白色粘土少量。黄褐色。	—
11	19	土師器 壺	口縁部1/2 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部外周へラウズリ痕ナシ。体部内面へラウズリ痕ナシ。	白色粘土少量。黄褐色。横成は良好。	—
12	19	土師器 壺	口縁部1/2 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部外周へラウズリ痕ナシ。体部内面へラウズリ痕ナシ。	白色粘土少量。黒石・石炭少量、褐色。内面割傷多。	—
13	19	土師器 壺	口縁部1/2 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部外周へラウズリ痕ナシ。体部内面へラウズリ痕ナシ。	白色粘土少量。黒石・石炭少量、褐色。内面割傷多。	—
14	19	土師器 壺	口縁部1/2 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部外周へラウズリ痕ナシ。体部内面へラウズリ痕ナシ。	白色粘土少量。黒石・石炭少量、褐色。内面割傷多。	—
15	19	土師器 壺	口縁部1/2 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部外周へラウズリ痕ナシ。体部内面へラウズリ痕ナシ。	白色粘土少量。黒石・石炭少量、褐色。内面割傷多。	—
16	19	土師器 壺	口縁部1/2 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部外周へラウズリ痕ナシ。体部内面へラウズリ痕ナシ。	白色粘土少量。黒石・石炭少量、褐色。内面割傷多。	—
17	19	土師器 壺	口縁部1/2 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部外周へラウズリ痕ナシ。体部内面へラウズリ痕ナシ。	白色粘土少量。黒石・石炭少量、褐色。内面割傷多。	—
18	19	土師器 壺	口縁部1/2 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部外周へラウズリ痕ナシ。体部内面へラウズリ痕ナシ。	白色粘土少量。黒石・石炭少量、褐色。内面割傷多。	—
19	19	土師器 壺	口縁部1/2 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部外周へラウズリ痕ナシ。体部内面へラウズリ痕ナシ。	白色粘土少量。黒石・石炭少量、褐色。内面割傷多。	—
20	19	土師器 壺	口縁部1/2 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部外周へラウズリ痕ナシ。体部内面へラウズリ痕ナシ。	白色粘土少量。黒石・石炭少量、褐色。内面割傷多。	—
21	19	土師器 壺	口縁部1/2 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部外周へラウズリ痕ナシ。体部内面へラウズリ痕ナシ。	白色粘土少量。黒石・石炭少量、褐色。内面割傷多。	—
22	19	土師器 壺	口縁部1/2 底縁部1/4 底縁部1/4	口径14.3 底径6.6 底径6.6	口縁部内外はコップ。体部外周へラウズリ痕ナシ。体部内面へラウズリ痕ナシ。	白色粘土少量。黒石・石炭少量、褐色。内面割傷多。	—
23	19	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口縁部片。浅縁。横文種子状浅縁。	—	—
24	19	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口縁部片。浅縁。横文種子状浅縁。	—	—
25	19	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口縁部片。浅縁。横文種子状浅縁。	—	—
26	19	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口縁部片。浅縁。横文種子状浅縁。	—	—
27	19	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口縁部片。浅縁。横文種子状浅縁。	—	—
28	19	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口縁部片。浅縁。横文種子状浅縁。	—	—
29	19	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口縁部片。浅縁。横文種子状浅縁。	—	—
30	19	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口縁部片。浅縁。横文種子状浅縁。	—	—
31	19	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口縁部片。浅縁。横文種子状浅縁。	—	—
32	19	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口縁部片。浅縁。横文種子状浅縁。	—	—
33	19	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口縁部片。浅縁。横文種子状浅縁。	—	—
34	19	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口縁部片。浅縁。横文種子状浅縁。	—	—
35	19	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口縁部片。浅縁。横文種子状浅縁。	—	—
36	19	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口縁部片。浅縁。横文種子状浅縁。	—	—
37	19	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口縁部片。浅縁。横文種子状浅縁。	—	—
38	19	縄文土器 灰鉢	口縁部片	—	口縁部片。浅縁。横文種子状浅縁。	—	—



№	出土地	器種	透作度	法量 (cm)	平地上的特徴	胎土・色調・構成	備考
39	1位	縄文土器 灰鉢	無部	—	厚底式、波状負文。		
40	1位	縄文土器 灰鉢	無部	—	波状口縁、鼻縁部波状穿孔。		
41	1位	石製	長24.6cm 幅13.6cm 厚さ3.5cm 重量31.3g	ナメツ製。			
42	1位	石製	長23.5cm 幅13.6cm 厚さ3.5cm 重量31.4g	ナメツ製、夾炭品か。			
43	1位	磨石	長23.6cm 幅10.7cm 厚さ3.3cm 重量102.4g	石製既製。			

№	出土地	器種	透作度	法量 (cm)	平地上的特徴	胎土・色調・構成	備考
1	2位	弥生土器 甕	無部～胴部	—	胴部～胴上平部にかけて、単腹1/4の縄文による斜線文(横折線3段)及び粒状文を施す。胎土下部部を立線区画する。		
2	2位	弥生土器 甕	無部	—	胴部に立線区画による斜線文(横腹1/4)を施す。		
3	2位	弥生土器 甕	底部1/2	口徑11.5cm 底径7.4cm	横文、胴部外周へラウズリ、底部へラウズリ、内周刻溝多。		

№	出土地	器種	透作度	法量 (cm)	平地上的特徴	胎土・色調・構成	備考
1	3位	土師器 外	口縁部1/2、 底部完全	口徑17.4cm 底径10.5cm	口縁部内外ヨコナリ、胴部外周へラウズリ痕ナリ。胴部内周、内周外周上部赤線、内周刻溝多。	白色粘土・赤色粘土・長石・石質少量、黄褐色、内周外周上部赤線、内周刻溝多。	
2	3位	土師器 甕	口縁部1/4	口徑12.0cm 底径7.2cm	口縁部内外ヨコナリ。	白色粘土少量、内周外周上部赤線。	
3	3位	土師器 甕	口縁部1/2	口徑16.2cm 底径10.8cm	口縁部内外ヨコナリ、胴部外周細へラウズリ、胴部へラウズリ、胴部内外ヨコナリ。	白色粘土・長石・石質少量、赤色粘土少量、褐色。	
4	3位	縄文土器 灰鉢	無部	—	胴部、斜付条状文、斜線等後視鏡コンシ文。		
5	3位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	胴部、口唇部斜め、竹管文。		
6	3位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	胴部、口唇部斜め、条部		

№	出土地	器種	透作度	法量 (cm)	平地上的特徴	胎土・色調・構成	備考
1	4位	縄文土器 灰鉢	底部完全	底径4.8	丸縄文。		
2	4位	縄文土器 灰鉢	無部	—	丸縄文。		
3	4位	縄文土器 灰鉢	口縁部1/2	—	内周条状文。		
4	4位	縄文土器 灰鉢	無部	—	内周条状文。		
5	4位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	内周条状文。		
6	4位	縄文土器 灰鉢	無部	—	内周条状文。		
7	4位	縄文土器 灰鉢	無部	—	横帯文に斜め、内周条状文。		
8	4位	縄文土器 灰鉢	無部	—	条状文。		
9	4位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	丸縄文。		
10	4位	縄文土器 灰鉢	無部	—	丸縄文。		
11	4位	鉄滓	—	長24.95cm 幅14.6cm 厚さ2.6cm 重量80g			
12	4位	鉄滓	—	長23.3cm 幅12.5cm 厚さ1.3cm 重量15.1g			

№	出土地	器種	透作度	法量 (cm)	平地上的特徴	胎土・色調・構成	備考
1	一帯	縄文土器 灰鉢	無部	—	胴部、波状負文。		
2	一帯	縄文土器 灰鉢	無部	—	胴部、波状負文、立線。		
3	一帯	縄文土器 灰鉢	無部	—	波部、横文、竹管文。		
4	1T	土師器 灰鉢	胴部1/2	口徑11.5cm 底径7.4cm	内周ハヤジ、内周ナナリ。	白色粘土・長石・石質少量、赤色粘土少量、褐色。	
5	一帯	土師器 灰鉢	無部	—	内周ハヤジ	白色粘土少量、赤色、	

第16表 透作1号墳遺物観察表

№	出土地	器種	透作度	法量 (cm)	平地上的特徴	胎土・色調・構成	備考
1	3T	縄文土器 灰鉢	口縁部?	—	波部、横文、竹管文上方向溝。		
2	3T	遺棄部 厚少	胴部片	—	口口部	灰色、瓦輪、構成良好。	
3	3T	石製 ナメツ製	高線部欠損	長25.6cm 幅14.55cm 厚さ3.55cm 重量84g	ナメツ製。		

第17表 八夜台遺跡(第2地点)遺物観察表

№	出土地	器種	透作度	法量 (cm)	平地上的特徴	胎土・色調・構成	備考
1	1位	土師器 外	口縁部1/3、 底部完全	口徑13.3cm 底径7.3cm	口口部、胴部内外ヨコナリナリ、胴部下部細へラウズリ、胴部外周刻溝切痕、高線部へラウズリ。	白色粘土・赤色粘土少量、褐色、構成は良好。	
2	1位(2F)	土師器 外	口縁部1/3、 底部完全	口徑12.9cm 底径7.3cm	口口部、胴部内外ヨコナリナリ、胴部下部平部へラウズリ、胴部外周刻溝切痕、高線部細へラウズリ。	白色粘土少量・長石・石質少量、褐色、構成は良好。	

№	出土地	産種	産作度	法量 (mm)	平土上の特徴	粘土・色調・構成	備考
3	1位	土師器 埴	産野ほぼ完 形	口径一 部高(13) 底径(14)	平土上の特徴	粘土・色調・構成	
4	1位	土師器 外	口縁部1/5 底野完形	口径(11) 底径(11)	口径0.5部、埴部内面凹凸がキ、埴部外周コシナリ。	白色粘土・黄砂少量、黄褐色、構成は良好。	
5	1位	土師器 埴	口縁部一 部	口径(11) 底径(11)	口径0.5部、埴部内面凹凸がキ、埴部外周コシナリ。	白色粘土・黄砂少量、黄褐色、構成は良好。	
6	1位	土師器 埴	産野1/2	口径(15) 底径(15)	埴部外周凹凸部前後縁部へラウズリ、埴部内面凹凸がキ。	白色粘土・少量、黄褐色、内面黄褐色化部、構成は良好。	
7	1位	土師器 埴	口縁部1/4	口径(15) 底径(15)	口径0.5部、口縁部内面凹凸がキ、埴部外周凹凸がキ。	白色粘土・少量、黄褐色、構成は良好。	
8	1位	土師器 埴	口縁部1/4	口径(15) 底径(15)	口径0.5部、埴部内面凹凸がキ。	白色粘土・少量、褐色、内面黄褐色化部。	
9	1位	土師器 高台付埴	口縁部2/3 底野完形	口径(13) 底径(13)	口径0.5部、埴部内面凹凸コシナリ、埴部外周凹凸部凹凸がキ。	白色・赤色粘土・少量、褐色、構成は良好。	
10	1位	土師器 高台付埴	底野完形	口径(12) 底径(12)	内面凹凸がキ、内面・高台部凹凸コシナリ、埴部外周凹凸部凹凸がキ。	白色粘土・黄砂少量、褐色、構成は良好。	
11	1位	講義器 埴	つまみ部 完形	口径一 部高(18) 底径(18)	口径0.5部、つまみ部凹凸がキ。	石灰・赤石多量、灰色、構成は良好。	
12	1位	土師器 埴	産野1/2	口径(12) 底径(12)	埴部内面へラウズリ、埴部外周手持ちへラウズリ、埴部外周へラウズリがキ。	白色粘土・少量、黄褐色、構成は良好。	
13	1位	土師器 埴	口縁部一 部	口径(11) 底径(11)	口縁一帯部上平野内面凹凸がキ、埴部下へラウズリ縁部凹凸がキ、埴部へラウズリがキ。	白色粘土多量、赤色粘土・黄砂・石灰少量、黄褐色、構成は良好。	
14	1位	土師器 埴	産野ほぼ完 形	口径(21.5) 底径(21.5)	口縁部内面凹凸コシナリ、埴部内面へラウズリ、埴部外周凹凸がキ、上凸がキ。	石灰・赤石・黄砂多量、褐色、構成は良好。	
15	1位	土師器 埴	口縁部1/2 産野	口径(18) 底径(18)	口縁部内面凹凸コシナリ、埴部内面へラウズリ、埴部外周凹凸がキ、上凸がキ。	黄砂多量、褐色、構成は良好。	
16	1位	土師器 埴	2/5	口径(18) 底径(18)	口縁部内面凹凸コシナリ、埴部内面へラウズリ。	赤色・白色粘土・石灰・赤石少量、褐色、構成は良好。	
17	1位	講義器 埴	口縁部1/4 産野	口径(18) 底径(18)	口径0.5部、外周凹凸がキ。	黄砂多量、石灰・赤石少量、灰褐色、構成は良好。	
18	1位	講義器 埴	口縁部1/2	口径(14) 底径(14)	口径0.5部、内内面凹凸コシナリ。	褐色粘土赤仁、灰色、構成は良好。	
19	1位	平瓦	欠損	長さ17.8cm 幅13.6cm 厚さ3.3cm 重量79g	凸面平行平凸		
20	1位	平瓦	欠損	長さ20.8cm 幅13.7cm 厚さ3.0cm 重量123.4g	凸面正方形平凸		
21	1位	縄文土器 陶片	口縁部片	—	加賀型片状、口縁部折片。特殊土器製し、内面粘土貼付		
22	1位	縄文土器 埴片	口縁部片	—	埴部、加賀型片状、口縁部折片。特殊土器製。		
23	1位	縄文土器 陶片	埴部片	—	埴部、五稜状口縁。		
24	1位	縄文土器 陶片	口縁部片	—	埴部、口縁部竹管文。		
25	1位	磁石	欠損	長さ25.0cm 幅13.1cm 厚さ21.7cm 重量37.2g	流紋岩製。		
26	1位	磁石	欠損	長さ8.6cm 幅3.9cm 厚さ1.0cm 重量25.4g	丸面5.0cm 流紋岩製。		

№	出土地	産種	産作度	法量 (mm)	平土上の特徴	粘土・色調・構成	備考
1	17	縄文土器 埴片	口縁部片	—	埴部、口縁部折片(面)にて縄文土器片を接合修理。		
2	1位	土師器 埴	底野完形	口径一 部高(12) 底径(12)	埴部外周下縁手持ちへラウズリ、埴部外周凹凸部凹凸がキ。	白色粘土・石灰・赤石少量、黄褐色、内面赤赤、構成は良好。	
3	27	土師器 埴	口縁部片	口径(18) 底径(18)	口縁部内面凹凸コシナリ、埴部内面へラウズリ。	白色粘土・少量、内・外褐色、構成は良好。	

第18表 向新田遺跡(第3地点)遺物観察表

№	出土地	産種	産作度	法量 (mm)	平土上の特徴	粘土・色調・構成	備考
1	27	土師器 埴片	口縁部2/3	口径(18) 底径(18)	内面縁部へラウズリ、外周縁部凹凸コシナリ。	砂粘土・白色粘物少量、黄褐色、構成は良好。	
2	27	土師器 埴	口縁部1/4	口径(18) 底径(18)	口縁部内面縁部凹凸コシナリ、口縁部外周縁部凹凸がキ、埴部内面へラウズリ。	砂粘土・赤色粘土少量、黄褐色、構成は良好。	
3	27	土師器 埴	口縁部片	口径(18) 底径(18)	口縁部折片折し、口縁部内面縁部凹凸コシナリ、埴部外周縁部凹凸がキ。	砂粘土・赤色粘土少量、褐色、構成は良好。	
4	27	土師器 灰土器	一部欠損	長さ22.0cm 幅12.8cm 厚さ21.0cm 重量26g			
5	17	灰土器 灰土器	一部欠損	長さ24.0cm 幅10.5cm 厚さ20.4cm 重量24g			
6	17	灰土器 灰土器	一部欠損	長さ13.0cm 幅5.5cm 厚さ30.5cm 重量22g			

第19表 中野遺跡(第2地点)遺物観察表

№	出土地	産種	産作度	法量 (mm)	平土上の特徴	粘土・色調・構成	備考
1	27	土師器 埴	口縁部1/4	口径(21.4) 底径(21.4)	口縁部内面凹凸コシナリ、埴部内面へラウズリ。	白色粘土・黄砂・石灰・黄砂多量、褐色、構成は良好。	

第20表 馬場造形(第7地点)造物観察表

№	出土地	器種	透孔径	法量(mm)	平面上の特徴	胎土・色調・構成	備考
1	1区	土師器 埴	口縁1/3 底面突起	口径13 高さ4.8 底径1.7	埴部内面へラウズリ後ナズ。輪帯隆起。	白色粘土多量。石灰・長石・霽母少量。にがい黄褐色。構成は良好。	
2	1区	土師器 埴	口縁1/2 底面突起	口径12.9 高さ4.7 底径1.6	口縁部内面直コナナズ。埴部内面直ナズ。埴部内面へラウズリ後、ナズ。	白色粘土・石灰・長石少量。褐色。構成は良好。	
3	1区	土師器 埴	底面突起	口径14.8 高さ4.8 底径1.8	口縁部内面直コナナズ。埴部内面直ナズ。埴部外直へラウズリ後、ナズ。	赤色・白色粘土・石灰・長石・霽母少量。にがい黄褐色。構成は良好。	
4	1区	土師器 埴	口縁1/2 隆起底面突起	口径12.0 高さ4.6 底径1.6	口縁部内面直ナズ。埴部内面直ナズ。埴部外直へラウズリ後、ナズ。	白色粘土・石灰・長石少量。にがい黄褐色。構成は良好。	
5	1区	土師器 埴	口縁1/2 隆起底面突起	口径14.1 高さ4.7 底径1.7	口縁部内面直ナズ。埴部内面直ナズ。埴部外直へラウズリ後ナズ。輪帯隆起。	白色粘土少量。にがい褐色。構成は良好。	
6	1区	土師器 埴	口縁部1/2隆起	口径11.1 高さ5.5 底径1.5	口縁部内面直コナナズ。埴部外直へラウズリ後、ナズ。	白色粘土多量。石灰・長石・霽母少量。褐色。	
7	1区	土師器 埴	口縁部1/6隆起	口径16.1 高さ4.5 底径1.5	口縁部内面直コナナズ。埴部外直ナズ。	白色粘土・石灰・長石多量。赤色粘土少量。にがい赤褐色。	
8	1区	土師器 埴	口縁部1/6隆起	口径17.6 高さ4.3 底径1.3	埴部内面直輪帯隆起。埴部外直へラウズリ後、ナズ。	白色粘土・褐色粘土少量。にがい褐色。	
9	1区	土師器 埴	口縁部1/4隆起	口径13.4 高さ4.5 底径1.5	口縁部下直へラウズリ。	白色粘土多量。石灰・長石少量。黄褐色。構成は良好。	
10	1区	土師器 埴	口縁部1/3隆起	口径13.3 高さ4.6 底径1.6	埴部内面直輪帯隆起。口縁部～埴部外直へラウズリ後、ナズ。埴部内面直ナズ。	霽母多量。白色粘土・石灰・長石少量。にがい黄褐色。構成は良好。	
11	1区	平埴化土器 埴	1/3隆起	口径11 高さ4.6	内面直輪帯隆起。外直へラウズリ後、輪帯隆起。	白色粘土多量。石灰・長石・霽母少量。褐色。	
12	1区	縄文土師器 埴	底面突起	—	埴部、縄文施文。注線状突起、溝溝。	—	
13	1区	縄文土師器 埴	底面突起	—	埴部、縄文施文。注線状突起、溝溝。	—	

№	出土地	器種	透孔径	法量(mm)	平面上の特徴	胎土・色調・構成	備考
1	2区	土師器 埴	口縁1/2 隆起底面突起	口径12.0 高さ4.7 底径1.7	埴部内面直ナズ。埴部外直へラウズリ後、ナズ。	白色粘土・石灰・長石・霽母少量。にがい黄褐色。構成は良好。	
2	2区	土師器 埴	1/3隆起	口径13.3 高さ4.3 底径1.3	口縁部内面直コナナズ。埴部内面直ナズ。埴部外直へラウズリ後、ナズ。	白色粘土少量。にがい黄褐色。構成は良好。	
3	2区	土師器 埴	底面突起	口径12.7 高さ4.3 底径1.3	口縁部内面直ナズ。	赤色粘土少量。内ににがい黄褐色。外ににがい褐色。構成は良好。	埴部外直直口
4	2区	土師器 埴	口縁部1/3隆起	口径12.7 高さ4.3 底径1.3	口縁部隆起。埴部下直輪帯隆起。埴部外直へラウズリ。	赤色・白色粘土少量。黄褐色。構成は良好。	
5	2区	土師器 埴	口縁部1/2隆起	口径13.7 高さ4.3 底径1.3	口縁部隆起。埴部下直輪帯隆起。埴部外直へラウズリ。	白色粘土・霽母多量。石灰・長石少量。オリーブ灰色。構成は良好。	
6	2区	土師器 埴	口縁部1/2隆起	口径14.1 高さ4.1 底径1.1	口縁部隆起。埴部下直輪帯隆起。埴部外直へラウズリ。	白色粘土・霽母多量。石灰・長石少量。オリーブ灰色。構成は良好。	
7	2区	土師器 埴	口縁部1/2隆起	口径13.4 高さ4.1 底径1.1	口縁部隆起。埴部下直輪帯隆起。埴部内面直へラウズリ。	白色粘土・霽母多量。石灰・長石少量。オリーブ灰色。構成は良好。	
8	2区	土師器 埴	口縁部1/3隆起	口径14.0 高さ4.1 底径1.1	口縁部隆起。埴部下直輪帯隆起。	霽母多量。白色粘土・石灰・長石少量。灰オリーブ色。構成は良好。	
9	2区	土師器 埴	口縁部1/3隆起	口径12.4 高さ4.2 底径1.2	口縁部隆起。埴部下直輪帯隆起。埴部外直へラウズリ。	白色粘土多量。石灰・長石・霽母少量。灰オリーブ色。構成は良好。	
10	2区	土師器 埴	口縁部1/2隆起	口径13.1 高さ4.1 底径1.1	口縁部隆起。埴部下直輪帯隆起。埴部外直へラウズリ。	霽母多量。白色粘土・赤色粘土・石灰・長石少量。にがい黄褐色。	
11	2区	土師器 埴	底面突起	口径11 高さ4.2 底径1.2	口縁部隆起。埴部外直コナナズ。埴部下直～底面突起隆起へラウズリ。	赤色粘土少量。にがい褐色。構成は良好。	
12	2区	土師器 埴	底面突起	口径11 高さ4.2 底径1.2	底面突起静止水垢。	赤色粘土少量。黄褐色。構成は良好。	
13	2区	土師器 埴	底面突起	口径11 高さ4.2 底径1.2	底面突起直ナズ。	赤色・白色粘土少量。褐色。構成は良好。	
14	2区	土師器 埴	口縁部1/2隆起	口径13.5 高さ4.3 底径1.3	口縁部内面直コナナズ。埴部内面直へラウズリ。埴部外直直ナズ。	石灰・長石少量。霽母少量。黄褐色。構成は良好。	
15	2区	土師器 埴	口縁部1/2隆起	口径13.6 高さ4.3 底径1.3	口縁部内面直コナナズ。埴部内面直直ナズ。埴部外直へラウズリ。	石灰・長石少量。霽母少量。黄褐色。にがい黄褐色。構成は良好。	
17	2区	土師器 埴	底面突起	高さ13.6cm 幅4.5cm 厚2.5cm 重量186g	—	—	
18	2区	埴成粘土塊	長さ23.5cm 幅3.14cm 厚2.15cm 重量142g	—	—		
19	2区	埴成粘土塊	長さ23.5cm 幅3.14cm 厚2.4cm 重量118g	—	—		
20	2区	埴成粘土塊	長さ23.5cm 幅3.22cm 厚2.5cm 重量154g	—	—		

№	出土地	器種	透孔径	法量(mm)	平面上の特徴	胎土・色調・構成	備考
1	3区	土師器 埴	口縁部1/2隆起	口径11.6 高さ4.1 底径1.1	口縁部内面直コナナズ。埴部内面直へラウズリ後、外直へラウズリ後ナズ。	白色粘土多量。褐色粘土少量。にがい黄褐色。構成は良好。	
2	3区	土師器 埴	口縁部1/2隆起	口径12.7 高さ4.1 底径1.1	口縁部外直直ナズ。口縁下直ナズ。埴部内面直放射状ナズ。埴部外直へラウズリ。	石灰・長石・霽母少量。赤褐色。内面赤色色染。構成は良好。	
3	3区	土師器 埴	口縁部1/2隆起	口径12.6 高さ4.1 底径1.1	口縁部内面直直ナズ。埴部内面直放射状ナズ。埴部外直へラウズリ。	白色粘土少量。にがい褐色。内面赤色色染。構成は良好。	
4	3区	土師器 埴	口縁部1/2隆起	口径11.8 高さ4.1 底径1.1	口縁部外直直ナズ。埴部内面直放射状ナズ。埴部外直へラウズリ。	石灰・長石・霽母少量。黄褐色。にがい黄褐色。構成は良好。	
5	3区	土師器 埴	口縁部1/6隆起	口径14.0 高さ4.1 底径1.1	内面へラウズリ。霽母ナズ。外直、外直直ナズ。	白色粘土・褐色粘土・石灰・長石少量赤色粘土少量。にがい褐色。構成は良好。	
6	3区	土師器 埴	底面突起	口径13.8 高さ4.1 底径1.1	口縁部外直直ナズ。埴部内面直へラウズリ。霽母ナズ。埴部内面直へラウズリ。	白色粘土多量。にがい褐色。内面赤色色染。構成は良好。	
7	3区	土師器 埴	底面突起	口径13.4 高さ13.7 底径1.7	口縁部内面直直ナズ。埴部内面直へラウズリ。埴部外直へラウズリ。	白色粘土少量。にがい褐色。内面赤色色染。構成は良好。	

№	出土地	器種	透作度	法量 (mm)	平土上の特徴	胎土・色戻・構成	備考
9	3位	土師器 埴	口縁1/3 口縁上1/3 底縁(1.3)	口径(12.4) 高さ(4.3)	口縁部内外歪コナナ。底部内歪ヘラウズり歪ナキ。口縁部内歪コナナ。底部内歪ヘラウズり歪ナキ。	白色粘土多量。にぶい褐色。内歪赤色如層。構成は良好。	
9	3位	土師器 埴	口縁部1/4弱 底縁(1.4)	口径(14.4) 高さ(4.3)	口縁部内外歪コナナ。底部内歪ヘラウズリ。	白色粘土少量。褐色色。内歪赤色如層。構成は良好。	
10	2位	土師器 小豆埴	口縁部1/4弱 底縁(1.4)	口径(10.8) 高さ(4.3)	口縁部内外歪コナナ。底部内歪ヘラウズリ。	白色粘土少量。褐色色。構成は良好。	
11	3位	土師器 埴	口縁部1/4弱 底縁(1.4)	口径(12.4) 高さ(4.3)	口縁部内外歪コナナ。底部内歪上起ヘラウズリ。底部内歪赤味工による凸ナキ。底部外歪ヘラウズリ。	白色粘土・赤色粘土・石灰・長石多量。にぶい黄褐色。構成は良好。	
12	3位	土玉	長さ115mm 幅215mm	厚さ20mm 重量84g			
13	3位	土玉	長さ195mm 幅235mm	厚さ1.6cm 重量12g			
14	3位	石	長さ23mm 幅255mm 高さ155mm	重量112g	メノウ。		

№	出土地	器種	透作度	法量 (mm)	平土上の特徴	胎土・色戻・構成	備考
1	4位	須恵器 埴	定形	口径13.0 高さ3.5 底縁0.8	口ワ口蓋物。底部内外歪コナナ。底部平持ちヘラウズリ。	白色粘土・石灰・長石少量。褐色粘土多量。黄褐色。構成は良好。	
2	4位	土師器 埴	口縁部1/3弱 底縁(1.3)	口径(12.4) 高さ(4.3)	口縁部内外歪コナナ。底部内歪ヘラウズリ。底部外歪ヘラウズリ。底部内歪一色への凸ナキ。	白色粘土少量。石灰・長石・黄粉多量。にぶい褐色。構成は良好。	
3	4位	土師器 埴	口縁部1/3弱 底縁(1.3)	口径(12.4) 高さ(4.3)	口縁部内外歪コナナ。底部内歪ヘラウズリ。底部外歪上起ヘラウズリ。底部外歪下部赤味工による凸ナキ。	白色粘土少量。石灰・長石・黄粉多量。にぶい褐色。構成は良好。	
4	4位	縄文土器 埴	断面片	—	—	—	断面。L4編文。

№	出土地	器種	透作度	法量 (mm)	平土上の特徴	胎土・色戻・構成	備考
1	5位	土師器 埴	底縁ほぼ定形	口径(13.3) 高さ(4.3)	底部内歪ヘラウズリ。底部外歪ヘラウズリ。	白色粘土・石灰・長石多量。にぶい赤褐色。構成は良好。	
2	5位	縄文土器 埴	断面片	—	L4編文。	—	
3	5位	縄文土器 定形	断面片	—	縄文土文。表面磨滅。	—	

№	出土地	器種	透作度	法量 (mm)	平土上の特徴	胎土・色戻・構成	備考
1	一般	縄文土器 定形	底縁片	口径(12.4) 高さ(4.3)	断面土文。	—	
2	4T	須恵器 高心付 埴	底縁片	口径(7.4) 高さ(3.7)	底部内歪コナナ。高心部コナナ。	白色粘土少量。黄褐色。構成は良好。	
3	4T	須恵器 埴	口縁部片	口径(4.2) 高さ(—)	内外歪コナナ。外歪定形あり。外歪下部凹コナナ。	白色粘土多量。石灰・長石少量。灰色。構成は良好。	
4	1T	瓦	長さ205mm 幅135mm	厚さ23mm 重量347g			
5	一般	土玉	長さ205mm 幅135mm	厚さ20mm 重量61g			
6	一般	土玉	長さ185mm 幅195mm	厚さ135mm 重量52g			
7	一般	鉄鏝	長さ85mm 幅21mm	厚さ11mm 重量14g			

第21表 木戸塚遺跡(第3地点)遺物観覧表

№	出土地	器種	透作度	法量 (mm)	平土上の特徴	胎土・色戻・構成	備考
1	1位	土師器 埴	底縁1/8 底縁(1.8)	口径(—) 高さ(—)	底部外歪下起ヘラウズリ。	白色粘土・黄粉少量。にぶい黄褐色。構成は良好。	

第22表 花作遺跡遺物観覧表

№	出土地	器種	透作度	法量 (mm)	平土上の特徴	胎土・色戻・構成	備考
1	4T	土師器 埴	1/4 口径(13.0) 高さ4.4	口径(13.0) 高さ4.4	口縁部内外歪コナナ。底部外歪ヘラウズリ歪ナキ。底部内歪ヘラウズリ。	白色粘土・長石・石灰多量。褐色色。構成は良好。	
2	4T	土師器 埴	1/2 口径(15.3) 高さ(—)	口径(15.3) 高さ(—)	口縁部内外歪コナナ。底部外歪ヘラウズリ。底部内歪ヘラウズリ。	白色粘土少量。黄石・石灰少量。褐色。構成は良好。	
3	4T	土師器 高心付 埴	底縁1/2弱 底縁(1.7)	口径(—) 高さ(—)	底部外歪ナキ後凸ナキ。底部内歪凹コナナ。	白色粘土多量。褐色。外歪赤色如層。構成は良好。	
4	4T	土師器 埴	底縁定形	口径(—) 高さ(—)	底部外歪凹コナナ。	白色粘土少量。にぶい黄褐色。構成は良好。	
5	1T	土師器 埴	底縁ほぼ定形	口径(10.7) 高さ(4.3)	底部外歪凹コナナ。底部内歪凸ナキ。底部外歪平持ちヘラウズリ。	白色粘土多量。赤粘土少量。黄褐色。内歪赤色如層。構成は良好。	
6	一般	須恵器 埴	底縁1/8 底縁(1.8)	口径(—) 高さ(—)	口ワ口蓋物。底部外歪凹コナナ。	赤色粘土多量。にぶい褐色。構成は良好。	
7	5T	土師器 埴	口縁部一部 ～底縁1/2 底縁(7.6)	口径(12.4) 高さ(4.3)	口縁部内外歪コナナ。底部外歪ヘラウズリ歪ナキ。底部内歪ヘラウズリ。	白色粘土・長石・石灰多量。褐色。内歪一部割割。	
8	3位	土玉	定形	長さ81mm 幅185mm 高さ175mm	重量84g		

第22表 川崎遺跡(第1地点)遺物観察表

№	出土地	群像	遺存度	法量 (mm)	平面上の特徴	胎土・色調・構成	備考
1	3T	土師器 埴	口縁部1/4 破断(2/3) 底面一	口径(14) 底径(12) 高(1)	口縁部外縁はコナデ、埴部外縁へウズリ痕ナシ。埴部内縁直下。	白色粘土少量、橙褐色色。内外面赤彩。構成は良好。	
2	2T	土師器 埴	埴部片	口径一 底径(4) 高(1)	埴部外縁へウズリ痕ナシ。埴部内縁直下。	白色粘土少量、褐色。内外面赤彩。構成は良好。	
3	2T	土師器 埴	口縁部片	口径一 底径(2)	埴部外縁へウズリ痕ナシ。埴部内縁直下。	白色粘土少量、褐色。内外面赤彩。構成は良好。	
4	2T	土師器 埴	口縁部1/5 破断(1/2) 底面一	口径(14) 底径(12) 高(1)	口縁部外縁はコナデ、埴部外縁へウズリ痕ナシ。埴部内縁直上。	白色粘土少量、赤褐色。内外面赤彩。構成は良好。	
5	3T	滑石器 器	口縁部片	口径一 底径(13)	埴部外縁直下縁部	白色粘土・黒石・石英少量、灰黒色。構成は良好。	
6	3T	滑石器 器	口縁部一節 →破断1/2 底面一	口径(11) 底径(11)	埴部直下縁部直下縁部、底面内縁直下直下。	白色粘土少量、黒石・石英少量、灰黒色。構成は良好。	
7	3T	埴成粘土塊	長24.4cm 幅4.1cm 厚さ1.85cm	重213.0g			
8	3T	埴成粘土塊	長35.5cm 幅6.6cm 厚さ1.25cm	重2188.8g			
9	1位	磁石	長24.0cm 幅3.3cm 厚さ4.0cm	重21.5g、一部欠損、表面磨製。			

第24表 大橋台遺跡(第2地点)遺物観察表

№	出土地	群像	遺存度	法量 (mm)	平面上の特徴	胎土・色調・構成	備考
1	1位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	埴之内式、底状口縁、口縁部斜交文、矢羽状沈線。		
2	1位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	埴之内式、底状口縁、口縁部斜交文後縁位沈線、縄文灰文後縁位斜行沈線。		
3	1位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	埴之内式、口縁部斜交1条、口縁部縁位沈線後縁部文。		
4	1位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	埴之内式、地文縄文灰文、縁位斜行沈線、2条一組の沈線による地文。		
5	1位	縄文土器 灰鉢	胴部	—	埴之内式、地文縄文灰文、縁位斜行沈線、斜位沈線による地文。		
6	1位	縄文土器 灰鉢	胴部	—	埴之内式、地文縄文灰文、斜位沈線による地文。		
7	1位	縄文土器 灰鉢	胴部	—	埴之内式、地文縄文灰文後縁位2条沈線。		
8	1位	縄文土器 灰鉢	胴部	—	埴之内式、H4縄文灰文後縁位に斜交文あり、3条沈線。		
9	1位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	埴之内式、H4縄文灰文。		
10	1位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	埴之内式、地文縄文灰文。		
11	1位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	加掣割印式、地文縄文灰文後縁位内側溝。		
12	1位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	加掣割印式、口縁部底縁1条、斜行沈線。		
13	1位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	加掣割印式、口縁部底縁1条、口縁部縁文に内縁斜行。		
14	1位	縄文土器 灰鉢	底部	—	加掣割印式、斜行動物痕。		
15	1位	石製品 磨製石斧	欠損	長27.3cm 幅3.5cm 厚2.55cm	重204.6g		
16	1位	石製品 磨製石斧	欠損	長28.6cm 幅4.7cm 厚2.7cm	重213.6g、地盤石に再加工の可能性。		

№	出土地	群像	遺存度	法量 (mm)	平面上の特徴	胎土・色調・構成	備考
1	2位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	埴之内式、口唇部沈線、底状口縁位沈線、縄文灰文後、縁位2条沈線。		
2	2位	縄文土器 灰鉢	胴部	—	埴之内式、縄文灰文後縁位2条沈線。		
3	2位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	加掣割印式、口唇部斜行、口縁部縁位沈線に平行する縁文に斜行。		
4	2位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	加掣割印式、H4縄文灰文後縁位沈線・溝縁位沈線後縁部。		
5	2位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	磨製土師、H4縄文灰文。		
6	2位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	磨製土師、縁位ナシ。		
7	2位	縄文土器 灰鉢	底部	—	溝縁、斜行動物痕。		
8	2位	縄文土器 灰鉢	長23.7cm 幅4.2cm 厚2.85cm	重272.6g、表面磨製。			
9	2位	石	長24.6cm 幅3.8cm 厚さ1.3cm	重224.1g、ナツ。			

№	出土地	群像	遺存度	法量 (mm)	平面上の特徴	胎土・色調・構成	備考
1	3位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	埴之内式、口縁部H4縄文灰文後、縁位2条沈線を帯び、突出溝文に連なる。		
2	3位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	埴之内式、口縁部小突起に斜交、縄文灰文後縁位沈線、斜行沈線。		
3	3位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	埴之内式、口縁部縁文、H4縄文灰文後縁位2条沈線。		
4	3位	縄文土器 灰鉢	胴部	—	埴之内式、H4縄文灰文後縁位沈線後縁部一節沈線。		
5	3位	縄文土器 灰鉢	胴部	—	埴之内式、磨製土師よりH4による縁位沈線。		
6	3位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	加掣割印式、口縁部縁文に斜行、口唇部H4縄文灰文後、縁位沈線、溝縁。		
7	3位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	加掣割印式、口唇部斜行、口縁部3条沈線、H4縄文灰文後縁位沈線、溝縁。		
8	3位	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	加掣割印式、赤彩、口唇部斜行、口縁部2条沈線、H4縄文灰文後縁位沈線。		

編	出土地	器種	透孔径	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色戻・構成	備考
9	3位	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加賀利印式。口縁部斜文後縁位注線。溝底内内口縁文文様。		
10	3位	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加賀利印式。口縁部地文・L形縄文。椀内伏文縁部後縁部注線。		
11	3位	縄文土器 深鉢	底面	—	加賀利印式。地文縄文後縁部注線縁部注線。		
12	3位	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加賀利印式。横位注線後L形縄文。		
13	3位	縄文土器 深鉢	口縁部	—	繩紐土器。口縁部多次輪1条。口唇部結線文に刺文。		
14	3位	縄文土器 深鉢	口縁部	—	繩紐土器。地文縄文。口縁部斜文。		
15	3位	縄文土器 深鉢	口縁部	—	繩紐土器。口縁部面に注線1条。口唇部結線文に指線伴行。頸部結文後縁位注線。		
16	3位	縄文土器 深鉢	口縁部	—	繩紐土器。口縁部面に注線1条。口唇部結線文に指線伴行。頸部結文後縁位注線。		
17	3位	縄文土器 深鉢	口縁部	—	繩紐土器。口縁部面に注線1条。口唇部結線文に指線伴行。頸部結文後縁位注線。		
18	3位	縄文土器 深鉢	口縁部	—	繩紐土器。口縁部面に注線1条。口唇部結線文に指線伴行。頸部結文後縁位注線。		
19	3位	縄文土器 深鉢	口縁部	—	繩紐土器。地文縄文後縁位注線。横位結線文に刺文伴行に刺文後縁部注線。		
20	3位	縄文土器 深鉢	口縁部	—	繩紐土器。構成良好。		
21	3位	縄文土器 深鉢	胴部	—	繩紐土器。横一刺文に面心条線。構成良好。		
22	3位	縄文土器 注口土器	注口	—	構成良好。丸弁子。		
23	3位	石鏡			一部文鏡。長さ910cm 幅7130cm 厚さ520cm 重244kg。安山岩。		
24	3位	磨石			一部文鏡。長さ5100cm 幅3500cm 厚さ230cm 重212kg。石炭層産。磨石。		

編	出土地	器種	透孔径	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色戻・構成	備考
1	4位	縄文土器 深鉢	口縁部	—	椀之内式。地文縄文。口縁部縁位伴行注文。内面赤彩?		
2	4位	縄文土器 深鉢	胴部	—	椀之内式。縄文後縁位赤彩・赤位赤彩。		
3	4位	縄文土器 深鉢	胴部	—	加賀利印式。口唇部刺目。口縁部結線文縁部内縁文文様。		
4	4位	縄文土器 深鉢	胴部	—	加賀利印式。頸部注線後伴行注文。胴部刺目・横位赤彩。		
5	4位	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加賀利印式。波状口縁。口縁部1線赤彩刺目。		
6	4位	縄文土器 深鉢	胴部	—	繩紐土器。地文縄文後縁位赤彩。		

編	出土地	器種	透孔径	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色戻・構成	備考
1	5位	土師器 壺	口縁部外縁部 口縁部内縁部 口縁部外縁部 口縁部内縁部	口縁部外縁部 長さ150 口径40 口縁部内縁部 長さ110 口径40 口縁部外縁部 長さ130 口径40	口縁部内外縁部コナテ。準部外縁部ハツ目。準部内縁部ナテ	白色粘土・赤色粘土少量。ニイノ黄褐色。構成良好。	
2	5位	土師器 壺	口縁部外縁部 口縁部内縁部	口縁部外縁部 長さ130 口径40	口縁部内外縁部コナテ。口縁部内縁部準部外縁部ハツ目。準部内縁部ナテ	白色粘土・赤色粘土少量。ニイノ黄褐色。構成良好。	
3	5位	縄文土器 深鉢	口縁部	—	縁位2条赤彩。7次加工?		

編	出土地	器種	透孔径	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色戻・構成	備考
1	1.土	縄文土器 深鉢	口縁部	—	椀之内式。口縁部縁位赤彩等後縁部注線。		
2	1.土	縄文土器 深鉢	口縁部	—	椀之内式。注線不詳。		
3	1.土	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加賀利印式。地文縄文。口縁部面に2条注線。		
4	1.土	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加賀利印式。口縁部結線文に刺文。		
5	1.土	縄文土器 深鉢	底面	—	加賀利印式。構成良好。		

編	出土地	器種	透孔径	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色戻・構成	備考
1	157	縄文土器 深鉢	口縁部外縁部	—	加賀利印式。波状口縁。地文縄文。横位注線・入組文後縁部注線。		
2	157	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加賀利印式。L形縄文。横位注線後縁部注線。		
3	157	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加賀利印式。口唇部L型注線後縁部注線。口縁部地文縄文後縁部注線後縁部注線。		
4	157	縄文土器 深鉢	口縁部	—	加賀利印式。口唇部刺目。口縁部地文縄文後縁位注線後縁部注線。頸部縁位注線。横位刺文。		
5	157	縄文土器 深鉢	注口注線部	—	繩紐土器。加賀利印式。口唇部結線文に刺文。地文縄文後縁位赤彩位注線位赤彩。		
6	157	縄文土器 深鉢	口縁部	—	繩紐土器。地文縄文。口唇部結線文刺目。		
7	157	縄文土器 深鉢	口縁部	—	繩紐土器。地文縄文。口唇部結線文に指線伴行。		
8	157	縄文土器 深鉢	口縁部	—	繩紐土器。横平赤彩。		

編	出土地	器種	透孔径	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色戻・構成	備考
1	一宮	縄文土器 深鉢	口縁部	—	椀之内式。口縁部に横位注線・輪部等。		
2	一宮	縄文土器 深鉢	胴部	—	椀之内式。地文縄文。縁位2条1線文輪一帯状注線。		
3	一宮	縄文土器 深鉢	口縁部	—	椀之内式。L形縄文。		

№	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・構成	備考
4	一級	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	底之内式、口唇部二次法線部に刺突文、口縁部横位法線。		
5	一級	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	加掣利印式、口唇部斜付文に刺突文、L形縦文条二次法線部を施し、磨光。		
6	一級	縄文土器 灰鉢	腹部	—	加掣利印式、口縁部法線部間にL形縦文条・横文条。		
7	一級	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	加掣利印式、口唇部斜付文に刺突文、口縁部L形縦文条横位法線。		
8	一級	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	加掣利印式、口唇部斜付文に刺突文、口縁部L形縦文条横位法線。		
9	一級	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	加掣利印式、口縁部L形縦文条L・L形法線部に刺突文。		
10	一級	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	加掣利印式、口縁部横位二次法線、横文・縦文条。		
11	一級	縄文土器 灰鉢	腹部	—	加掣利印式、腹部二次法線部に刺突文、腹部位収縮文条。		
12	一級	縄文土器 灰鉢	腹部	—	加掣利印式、腹部二次法線部に刺突文、腹部位収縮文条斜位法線。		
13	一級	縄文土器 灰鉢	—	—	加掣利印式、斜付法線内縦文。		
14	一級	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	安行式、波状口縁、腹初突部に斜位、唇高斜付付文、口縁部横位法線・刺突文。		
15	一級	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	安行式、波状口縁、横位収縮文条・横文条、穿孔後磨光部を施す付付文。		
16	一級	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	縦線土器、口唇部横線文L・L形付文、口縁部・腹部外周縁文条法線位法線、口縁部内面法線。		
17	一級	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	縦線土器、口唇部横線文L・L形付文、口縁部外周縁文条法線位法線、口縁部内面法線。		
18	一級	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	縦線土器、口唇部横線文L・L形付文、口縁部縦文条法線位法線。		
19	一級	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	縦線土器、口唇部横線文L・L形付文、口縁部縦文条法線位法線、口縁部内面法線、外周縁線。		
20	一級	縄文土器 灰鉢	腹部	—	縦線土器、腹部横線文L・L形付文、横位収縮文条法線位法線。		
21	一級	縄文土器 灰鉢	口縁部	—	縦線土器、外周縁位法線、内面法線。		
22	一級	縄文土器 灰鉢	腹部	—	縦線土器、横位法線。		
23	一級	土塊	胴部一断面	長さ18.3cm 幅18.8cm 厚さ3.3cm 重量111.3g	中央部磨光に斜位、横位二次法線部内L形縦文条付文に横位法線。		
24	一級	土胎片	底胎	長さ43.5cm 幅3.3cm 厚さ1.1cm 重量21.3g	法線。		
25	一級	石部	欠縁	長さ21.75cm 幅19.4cm 厚さ4.8cm 重量255.0g	雲山磨製。		

第25表 向崎遺跡(第2地点)遺物観察表

№	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・構成	備考
1	13T	土師器 甕	口縁部(1/2) 腹部(1/2) 底胎(1/2)	口縁(12.8) 腹部(7.7) 底胎(—)	口縁部内外周縁付文、腹部内面ハツ目縁付文、腹部外周縁付文(横付文)。	白色胎子、赤色、構成は良好。	
2	13T	縄文土器 灰鉢	腹部	—	新製、丸を結び合わせた形状縦文。		

第26表 池免遺跡(第4地点)遺物観察表

№	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・構成	備考
1	1Ⅰ	縄文土器 灰鉢	腹部片	—	加掣利印式、L形縦線縦文を横位部に施す。		
2	1Ⅰ	縄文土器 灰鉢	腹部片	—	中線、磨光文を施す。		
3	1Ⅰ	縄文土器 灰鉢	腹部片	—	加掣利印式、2条の法線の下部に、L形縦線縦文を横位部に施す。		
4	1Ⅰ	陶器 瓶小	口縁部 腹部(4/5) 底胎(1/5)	—	瀬戸黄瀬系、口O型製、内外面口Oノナリ、片周縁製。	赤地(薄黄色、釉)にL形黄色。	
5	1Ⅰ	磁石	一部欠縁、長さ21.2cm 幅4.4cm 厚さ2.6cm 重量75.1g	—	湖沢製。		

№	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・構成	備考
6	2Ⅰ	瓦葺土器 鉢	口縁部(1/2) 腹部(1/2) 底胎(1/2)	口縁(16.4) 腹部(12.2) 底胎(10.8)	内外面口Oノナリ、外周はなでらぬ、口O部は深い、体部は下縁部(ヘラケツ)。	白色胎子少量、石灰・長石・磨光多量、構成は良好、黄褐色、構成は良好。	
7	2Ⅰ	瓦葺土器 鉢	2/3	口縁(17) 腹部(12) 底胎(10)	内外面口Oノナリ、底胎ナリ。	砂胎子・白色封物を含む、黄褐色一黄白色、構成は良好。	
8	2Ⅰ	瓦葺土器 鉢	口縁部(1/2) 腹部(1/2) 底胎(1/2)	口縁(16.8) 腹部(12.2) 底胎(10.8)	内外面口Oノナリ、外周はなでらぬ、口O部は浅く長い、底胎はヘラケツ、底胎は中心からずれている。	白色胎子・石灰・長石少量、黄褐色、構成は良好。	
9	2Ⅰ	土師瓦土器 鉢	底胎(4/5) 口縁部(1/5)	口縁(17) 底胎(11.7)	内外面口Oノナリ、底胎部縁糸切(糸)、黄褐色ノナリナリ。	黒色胎子・石灰・長石少量、褐色、構成は良好。	
10	2Ⅰ	土師瓦土器 鉢	口縁部(1/2) 腹部(1/2)	口縁(17) 腹部(11.7)	内外面口Oノナリ。	黒色胎子少量、褐色、構成は良好。	

№	出土地	器種	遺存度	法量 (cm)	手法上の特徴	胎土・色調・構成	備考
11	5T	瓦葺土器 鉢	口縁部一部、 腹部(4/5) 底胎(1/5)	口縁(16.1) 腹部(11.7) 底胎(10.8)	口O型製、内外面口Oノナリ、外周はなでらぬ、口O部は浅く長い、底胎は中心からずれている。	白色胎子少量、石灰・長石少量、白色封物多量、黄褐色、構成は良好。	
12	4T	磁石	一部欠縁、長さ26.5cm 幅4.3cm 厚さ2.6cm 重量77.9g	—	湖沢製。		

# 写 真 图 版





大畑遺跡（第2地点）作業風景



1号住居跡完掘



1号土坑・2号土坑完掘



木戸場遺跡（第1地点）調査前風景



重機稼働状況



1号住居跡完掘



2号住居跡完掘



1号掘立柱建物跡完掘

2・3号掘立柱建物跡完掘  
1号・2号土坑完掘

掘立柱建物群



1号土坑完掘



2号土坑セクション



調査区風景



前戸遺跡（第2地点）調査前風景



1 T造構検出状況



2 T遺構検出状況



木戸場遺跡 (第2地点)  
1号住居跡遺物出土状況



1号住居跡カマド部遺物出土状況



1号住居跡土層断面図



2号住居跡土層断面図



3号住居跡セクション



1号横列



竜崖遺跡調査前風景



トレンチ配置



トレンチ遺構検出状況



馬場遺跡 (第6地点) トレンチ配置



3号トレンチ遺構検出状況



6号トレンチ遺構検出状況



八夜台遺跡 (第1地点) 1号溝完掘



1号溝土層断面



埋め戻し



天神前遺跡（第2地点）トレンチ配置状況



遺構検出状況



天神台遺跡（第14地点）調査前風景



4 T 遺構検出状況



11 T 遺構検出状況



松崎V遺跡（第2地点）調査前風景



1号住居跡完掘



1号住居跡カマド完掘



吉高一本松遺跡作業風景



トレンチ遺構検出状況

中郷遺跡（第1地点）  
1号住居跡完掘（東から）

1号住居跡カマド（東から）



2号住居跡完掘（東から）



3号住居跡完掘（南から）



4号住居跡完掘



4号住居跡炉跡完掘



天神前遺跡(第15地点)遺構検出状況



道作古墳群(1号墳)2T遺構検出状況



3T遺構検出状況



4T遺構検出状況



八夜台遺跡(第2地点)  
1号住居跡完掘(南から)



1号住居跡遺物出土(北から)



1号住居跡A-A'セクション



1号住居跡カマド(西から)



1号土坑完掘セクション



調査区全景



新田遺跡(第3地点)1T遺構検出状況



3T遺構検出状況(北から)



8T遺構検出状況(南から)



1 T 遺構検出状況



2 T 遺構検出状況



重機稼働状況



中郷遺跡(第2地点) 1 T 遺構検出状況



2 T 遺構検出状況 (南から)



埋め戻し



馬場遺跡(第7地点) 遺構検出状況(西から)



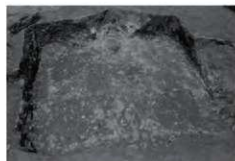
1号住居跡完掘(南から)



1号住居跡遺物出土状況(東から)



1号住居跡カマド(南から)

1号住居跡  
セクションA(西から)→B(北から)

2号住居跡完掘(東から)



2号住居跡遺物出土状況(南から)



2号住居跡Bセクション(東から)



3号住居跡完掘(南から)



3号住居跡遺物出土状況（南から）



3号住居跡Aセクション（北から）



4号・5号住居跡完掘（東から）



4号竪住居跡遺物出土状況（南から）



4号住居跡遺物出土状況（南から）



4号住居跡セクション（西から）



5号住居跡Bセクション（北から）



1号土坑完掘（南から）



2号土坑完掘（南から）



全景（南から）



木戸場遺跡（第3地点）作業風景



1号住居跡検出状況



1T遺構検出状況（北から）



瓜堀込第2遺跡作業風景



1T遺構検出状況（南から）



2 T遺構検出状況 (南から)



花作遺跡 1 T遺構検出状況 (南から)



4 T遺構検出状況 (南から)



5 T遺構検出状況 (南から)



6 T遺構検出状況 (南から)



9 T遺構検出状況 (北から)



埋め戻し



川崎遺跡 (第1地点)  
1 T遺構検出状況 (北から)



3 T遺構検出状況 (南から)



5 T遺構検出状況 (北から)



全景



埋め戻し



大越台遺跡 (第2地点) 調査前風景



2 T遺構検出状況



15 T遺物出土状況



15Tセクション (北東から)



15Tセクション (北東から)



15Tセクション (東から)



15Tセクション (東から)



川崎遺跡 (第2地点) 調査前風景



3 T遺構検出状況 (南から)



6 T遺構検出状況 (南から)



7 T遺構検出状況 (南から)



12T遺構検出状況 (東から)



18T遺構検出状況 (北から)



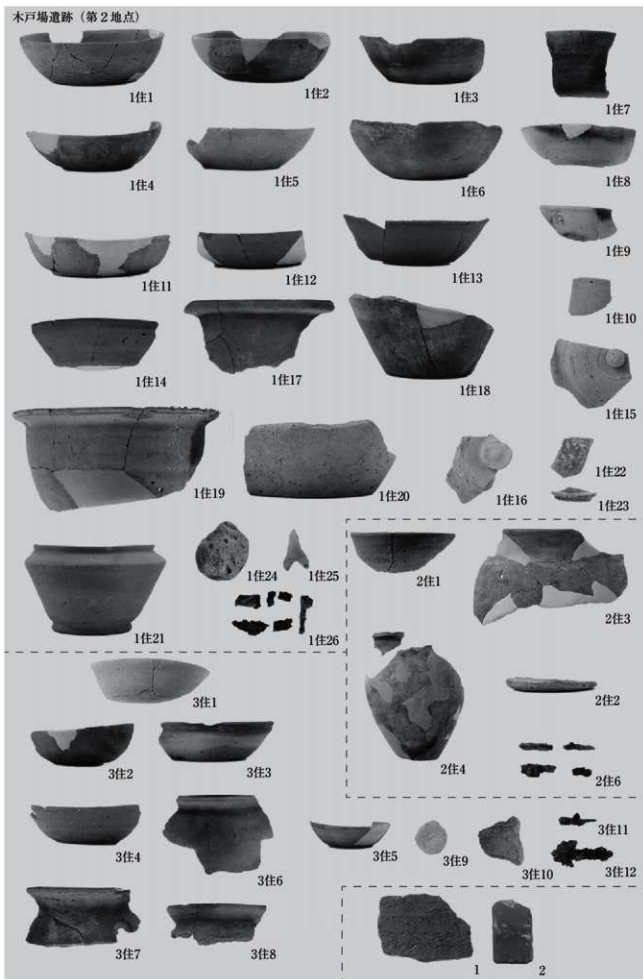
油免遺跡 (第4地点)  
4 T遺構検出状況 (北から)



遺構検出状況 (南東から)



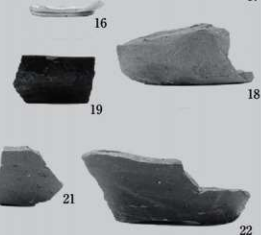




## 電屋遺跡



## 馬場遺跡 (第6地点)



## 天神前遺跡



## 八夜台遺跡 (第1地点)



## 天神台遺跡 (第14地点)



## 松崎V遺跡 (第2地点)



1住6



1住1



1住2



1住3



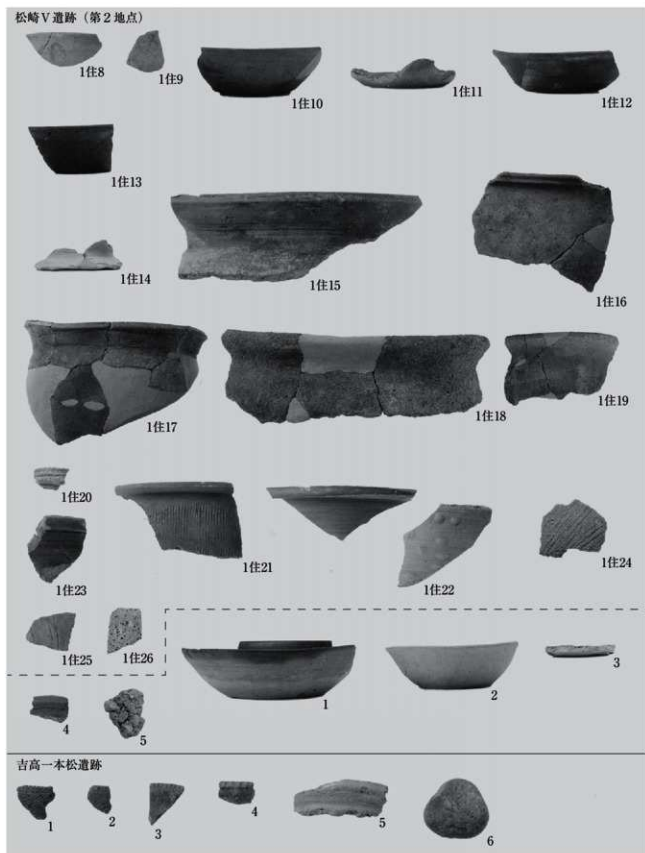
1住4



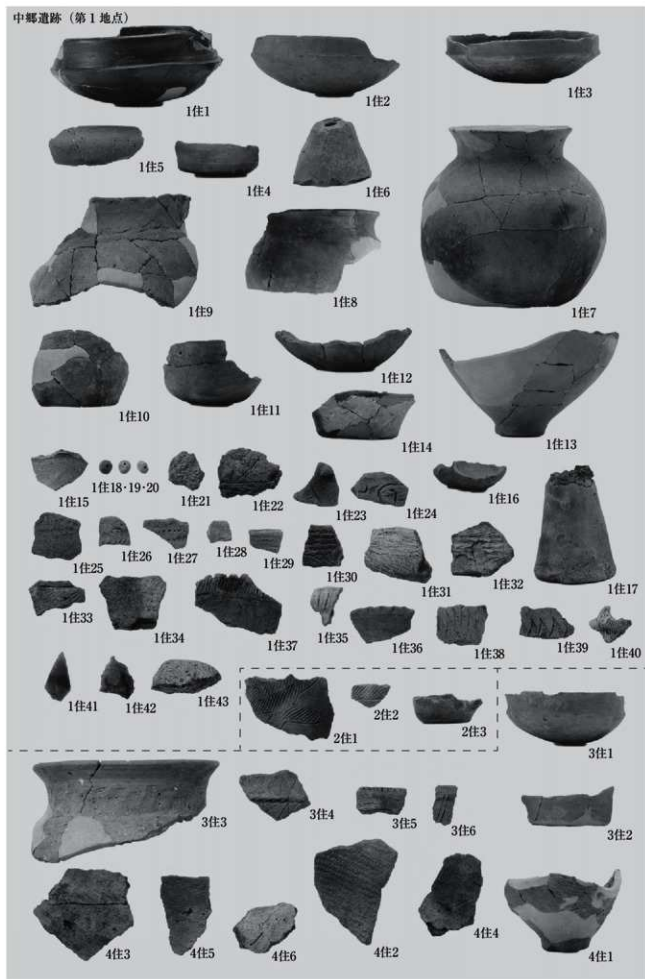
1住5



1住7



中郷遺跡 (第1地点)

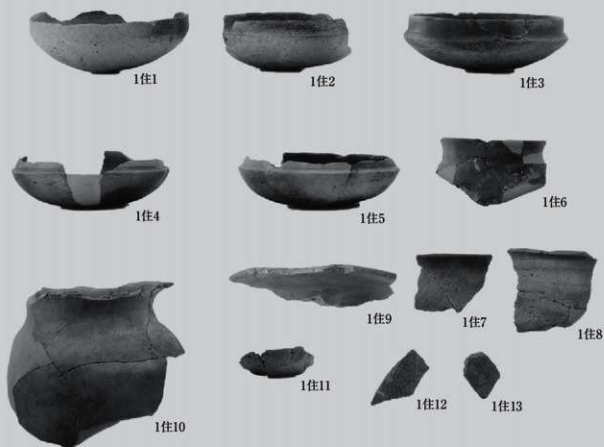




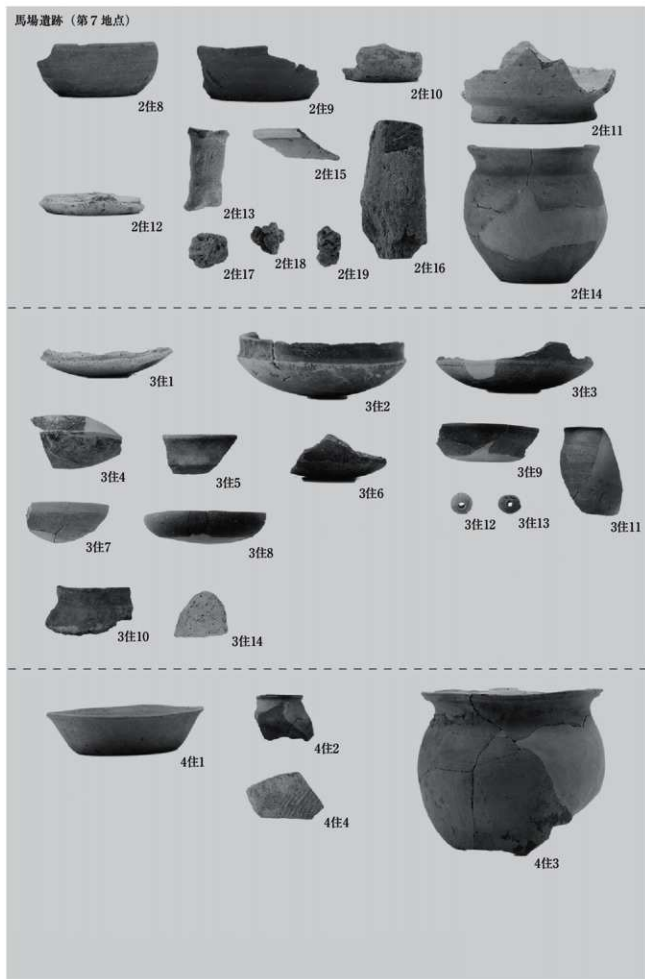
## 向新田遺跡 (第3地点)



## 馬場遺跡 (第7地点)



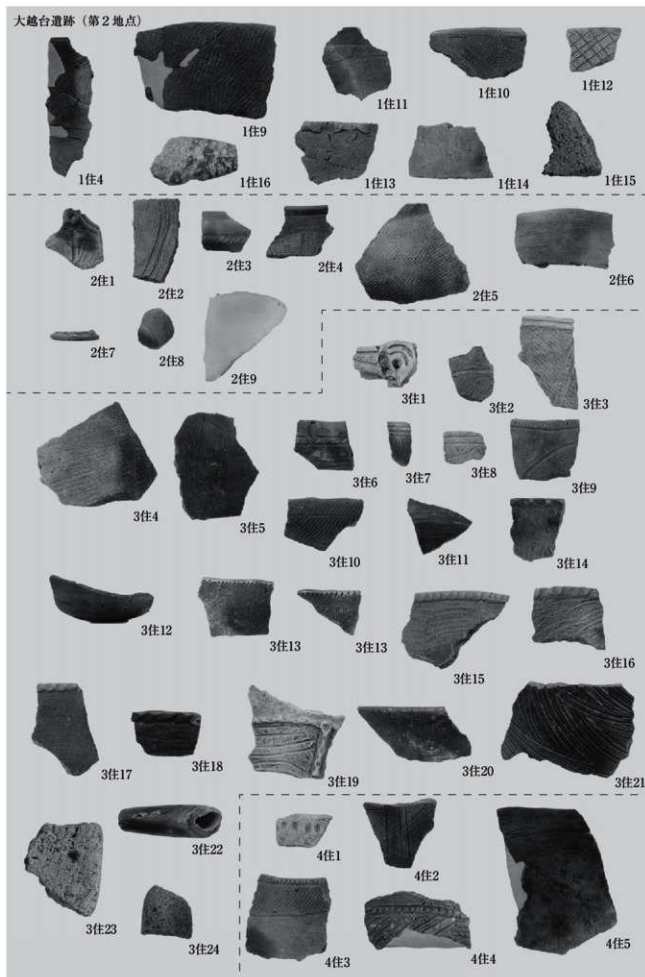
## 馬場遺跡 (第7地点)

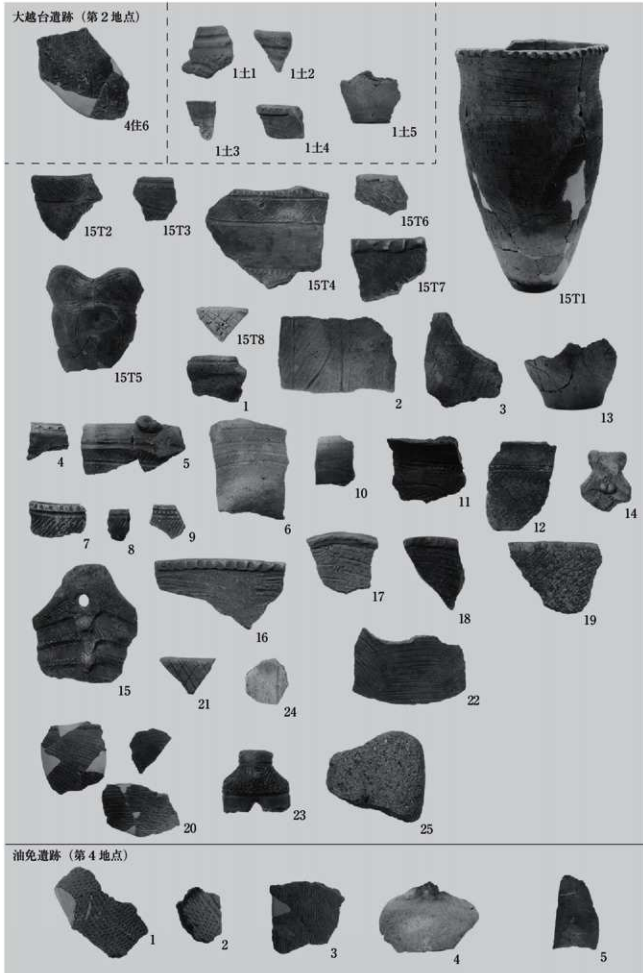




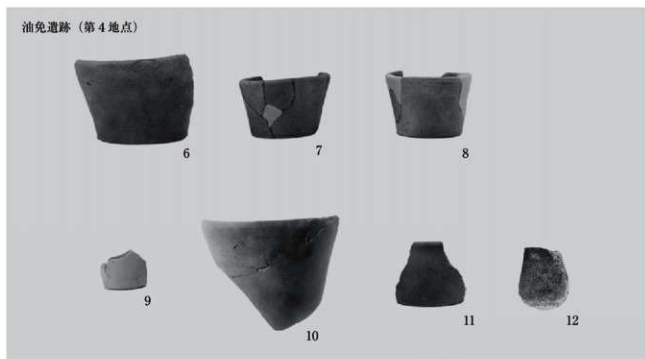


大越台遺跡 (第2地点)





油免遺跡 (第4地点)



# 報 告 書 抄 録

ふりがな		へいせい17-20年度 伊西内産科医療報告書							
書名		平成17-20年度 伊西内産科医療報告書							
編者名									
巻次		単巻							
シリーズ名									
シリーズ番号									
編集者名		日報会報							
編集機関		公益財団法人 伊西産科医療センター							
編集機関所在地		〒205-0925 千葉県君津市赤松1-1-4 TEL:083-843-8126							
発行年月日		2019年 月 日							
ふりがな	巻点名	コード		北緯	東経	調査期間	調査開始	調査終了	
		全頁数	冊数						
ほひのりき 耳鼻科	第4巻点 第1次	12231	09-005	「ほひのりき」こほひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°40'43"	140°13'23"	2018年7月11日	12冊 / 2,000冊	アンケート形式による
ほひのりき 耳鼻科	第4巻点 第2次	12231	09-006	「ほひのりき」こほひのりき、2018年7 千葉県伊西内産科医療センター	33°42'15"	140°13'47"	2018年7月16日	22冊 / 87,666冊	アンケート形式による
きほひのりき 耳鼻科	第1巻点	12231	09-004	「ほひのりき」ふひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°41'38"	140°14'07"	2018年7月18日	160冊 / 665,860冊	個人宅電話による
おほひのりき 耳鼻科	第2巻点	12231	09-003	「ほひのりき」おほひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°43'30"	140°13'23"	2018年7月18日 2018年7月17日	77冊 / 221,484冊	個人宅電話による
きほひのりき 耳鼻科	第2巻点	12231	09-009	「ほひのりき」おほひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°43'47"	140°13'09"	2018年7月18日 2018年7月18日	64冊 / 230,390冊 715冊	個人宅電話による
まほひのりき 耳鼻科	第2巻点	12231	09-008	「ほひのりき」まほひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°43'50"	140°12'17"	2018年7月21日 2018年7月21日	154冊 / 1,299冊	資料持ち帰り形式による
わかひのりき 耳鼻科	第2巻点	12231	09-007	「ほひのりき」わかひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°43'02"	140°14'11"	2018年7月17日	215冊 / 963,377冊	個人宅電話による
わかひのりき 耳鼻科	第6巻点	12231	09-006	「ほひのりき」わかひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°40'50"	140°14'45"	2018年7月18日	264冊 / 1110冊	調査対象施設電話による
ほひのりき 耳鼻科	第1巻点	12231	09-001	「ほひのりき」ほひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°43'11"	140°13'53"	2018年7月20日	180冊 / 1,849冊	資料持ち帰り形式による
ほひのりき 耳鼻科	第6巻点	12231	09-002	「ほひのりき」ほひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°41'09"	140°13'50"	2018年7月20日	107冊 / 345,361冊	調査対象施設電話による
てんたんのりき 耳鼻科	第1巻点	12231	09-004	「ほひのりき」てんたんのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°43'12"	140°14'24"	2018年7月18日 2018年7月18日	215冊 / 2,100冊	郵送形式による
てんたんのりき 耳鼻科	第15巻点	12231	09-003	「ほひのりき」てんたんのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°43'44"	140°13'09"	2018年7月17日 2018年7月17日	96冊 / 777冊	直接回収による
まつぎのりき 耳鼻科	第2巻点	12231	09-005	「ほひのりき」まつぎのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°40'43"	140°08'45"	2018年7月20日 2018年7月20日	44冊 / 230冊	個人宅電話による
よしたかのりき 耳鼻科	第1巻点	12231	09-006	「ほひのりき」よしたかのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°41'00"	140°14'25"	2018年7月13日 2018年7月13日	160冊 / 1,556冊	個人宅電話による
てんたんのりき 耳鼻科	第15巻点	12231	09-008	「ほひのりき」てんたんのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°41'42"	140°13'33"	2018年7月20日	62冊 / 67,127冊	郵送形式による
わかひのりき 耳鼻科	第3巻点	12231	09-071	「ほひのりき」わかひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°43'32"	140°11'29"	2018年7月18日 2018年7月18日	69冊 / 4,978冊	個人宅電話による
どうきこんのりき 耳鼻科	第1巻点	12231	09-009	「ほひのりき」どうきこんのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°41'54"	140°14'33"	2018年7月20日 2018年7月20日	114冊 / 1,181冊	調査対象施設電話による
わかひのりき 耳鼻科	第1巻点	12231	09-007	「ほひのりき」わかひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°43'11"	140°08'27"	2018年7月17日 2018年7月17日	32冊 / 320冊	個人宅電話による
ほひのりき 耳鼻科	第2巻点	12231	09-070	「ほひのりき」ほひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°43'02"	140°14'10"	2018年7月20日 2018年7月20日	33冊 / 326,877冊	個人宅電話による
わかひのりき 耳鼻科	第2巻点	12231	09-071	「ほひのりき」わかひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°40'50"	140°14'33"	2018年7月20日 2018年7月20日	32冊 / 362,666冊	個人宅電話による
わかひのりき 耳鼻科	第3巻点	12231	09-075	「ほひのりき」わかひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°41'02"	140°13'12"	2018年7月17日	133冊 / 714冊	郵送形式による
わかひのりき 耳鼻科	第2巻点	12231	09-072	「ほひのりき」わかひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°43'54"	140°12'10"	2018年7月20日	36冊 / 366冊	個人宅電話による
わかひのりき 耳鼻科	第2巻点	12231	09-077	「ほひのりき」わかひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°41'00"	140°13'33"	2018年7月18日 2018年7月18日	113冊 / 986冊	資料持ち帰り形式による
きほひのりき 耳鼻科	第2巻点	12231	09-076	「ほひのりき」きほひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°41'00"	140°13'33"	2018年7月18日 2018年7月18日	62冊 / 1,611冊	資料持ち帰り形式による
おほひのりき 耳鼻科	第2巻点	12231	09-079	「ほひのりき」おほひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°41'00"	140°13'33"	2018年7月18日 2018年7月18日	62冊 / 1,072冊	直接回収、資料持ち帰り形式による
わかひのりき 耳鼻科	第1巻点	12231	09-078	「ほひのりき」わかひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°41'00"	140°13'33"	2018年7月18日 2018年7月18日	204冊 / 391冊	郵送形式による
わかひのりき 耳鼻科	第2巻点	12231	09-080	「ほひのりき」わかひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	33°41'00"	140°13'33"	2018年7月18日 2018年7月18日	504冊 / 4,796冊	郵送形式、アンケート形式による
まほひのりき 耳鼻科	第4巻点	12231	09-088	「ほひのりき」まほひのりき2018年1月 千葉県伊西内産科医療センター	34°7'30"	140°07'40"	2018年7月19日	77,366冊 / 319,764冊	個人宅電話による

所在地(町名)	地点名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
はびくいせき 瓦葺遺跡	第4地点 土坑	集落跡	縄文時代、近世	縄文時代型穴建物跡1軒、近世礎石基	縄文土器、古墳時代土師器・須恵器	
はびくいせき 北端遺跡	第1地点 墓2基	集落跡	縄文時代、中近世	縄文時代土坑1基、中近世溝状遺構2基	縄文土器、古墳時代土師器・須恵器、中近世陶磁器	
まじのいせき 水田遺跡	第1地点	集落跡	奈良・平安時代、近世	奈良・平安時代型穴建物跡2軒、板瓦片埋設跡1基、土坑2基、欄干土基	縄文土器、奈良・平安時代土師器、須恵器、中近世陶磁器	
おおひのいせき 大塚遺跡	第2地点	集落跡	奈良・平安時代	奈良・平安時代型穴建物跡1軒、土坑2基	縄文土器、奈良・平安時代土師器・須恵器	
あさひのいせき 水田遺跡	第2地点	集落跡	奈良・平安時代、近世	奈良・平安時代型穴建物跡4軒、近世土坑3基	縄文土器、平安時代土師器・須恵器	
まじのいせき 墓2基	第2地点	集落跡	奈良・平安時代	奈良・平安時代型穴建物跡3基、土坑1基、溝状遺構1基、土坑内遺構1基	縄文土器、平安時代土師器・須恵器、中近世陶磁器	
おののいせき 塚山遺跡		集落跡	古墳時代	古墳時代型穴建物跡1軒	古墳時代土師器	
やまのいせき 瓦葺遺跡	第5地点	集落跡	縄文時代、中近世	中近世溝状遺構1基	縄文土器、土師器・須恵器	
はびくいせき 瓦葺遺跡	第6地点	集落跡	縄文時代、古墳時代、中近世	縄文時代型穴建物跡3軒、土坑2基、中近世溝状遺構2基、土坑7基、溝状遺構1基	縄文土器、古墳時代土師器・須恵器、中近世陶磁器	
はちのたのいせき 大石遺跡	第1地点	集落跡	縄文時代、奈良・平安時代	中近世溝状遺構1基	縄文土器、奈良・平安時代土師器・須恵器、中近世陶磁器	
はちのたのいせき 天石遺跡	第1地点	集落跡	縄文時代、古墳時代	古墳時代型穴建物跡4軒、土坑2基、中近世溝状遺構1基	縄文土器、古墳時代土師器・須恵器	
てんじまのいせき 大塚遺跡	集落跡	集落跡	縄文時代、奈良・平安時代	奈良・平安時代型穴建物跡1軒、中近世溝状遺構1基	縄文土器、奈良・平安時代土師器・須恵器	
つうすき ついでせき 稲垣1遺跡	第2地点	集落跡	縄文時代、奈良・平安時代	奈良・平安時代型穴建物跡2軒	縄文土器、奈良・平安時代土師器	
ましたのいせき 本4遺跡	集落跡	集落跡	縄文時代	近世溝状遺構3基	縄文土器、土師器	
てんじまのいせき 天石遺跡	第5地点	集落跡	縄文時代、古墳時代	近世溝状遺構1基	近世陶磁器	
おののいせき 河原田遺跡	第3地点	集落跡	縄文時代、古墳時代、中近世	縄文時代型穴建物跡2軒、古墳時代型穴建物跡1基、中近世溝状遺構2基	古墳時代土師器・須恵器、中近世陶磁器	
おろきくこふん 古作遺跡	古墳	古墳跡	古墳時代	古墳墳頭1基、中近世溝状遺構2基	古墳時代土師器、縄文土器、古墳時代土師器・須恵器	
おろきくこふん 中塚遺跡	第1地点	集落跡	縄文時代、奈良・平安時代	縄文時代型穴建物跡1軒、奈良時代型穴建物跡1軒、古墳時代型穴建物跡2基	縄文土器、古墳時代土師器・須恵器	
はちのたのいせき 大石遺跡	第2地点	集落跡	奈良・平安時代	奈良・平安時代型穴建物跡1軒、土坑3基	縄文土器、奈良・平安時代土師器・須恵器、中近世陶磁器	
はびくいせき 瓦葺遺跡	第7地点	集落跡	古墳時代、古墳時代	古墳時代型穴建物跡3軒、奈良・平安時代型穴建物跡2基、土坑3基	古墳時代土師器・須恵器、奈良・平安時代土師器	
おののいせき 河原田遺跡		集落跡	新石器時代、縄文時代、奈良時代、古墳時代、奈良・平安時代、中近世	-	-	
まじのいせき 水田遺跡	第3地点	集落跡	奈良・平安時代	奈良・平安時代型穴建物跡1軒、近世土坑1基	奈良・平安時代土師器	
おろきくこふん 中塚遺跡	第2地点	集落跡	縄文時代、古墳時代	古墳時代型穴建物跡3軒、土坑1基	古墳時代土師器、須恵器	
はちのたのいせき 大石遺跡	集落跡	集落跡	古墳時代、奈良・平安時代	古墳時代型穴建物跡1軒、奈良・平安時代型穴建物跡3軒	古墳時代土師器・須恵器、奈良・平安時代土師器・須恵器	
うすじまのいせき 瓦葺遺跡	集落跡	集落跡	古墳時代	古墳時代型穴建物跡6軒、近世溝状遺構1基	古墳時代土師器・須恵器	
おののいせき 大石遺跡	第2地点	集落跡	縄文時代、古墳時代	縄文時代型穴建物跡4軒、竪穴式遺構1基、土坑2基、古墳時代型穴建物跡1軒	縄文土器、古墳時代土師器	
おろきくこふん 中塚遺跡	第1地点	集落跡	古墳時代	古墳時代型穴建物跡9軒、土坑3基	縄文土器、古墳時代土師器・須恵器	
おろきくこふん 中塚遺跡	第2地点	集落跡	古墳時代	古墳時代型穴建物跡12軒、土坑3基	縄文土器、古墳時代土師器・須恵器	
あさひのいせき 池田遺跡	第4地点	集落跡	縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代、中近世	近世溝状遺構7基、土坑1基、ベント6基	縄文土器、土師器、中近世陶磁器、土製品	

平成17年度～平成24年度  
印西市内遺跡発掘調査報告書

平成26年3月26日 印刷  
平成26年3月28日 発行

発行 印西市教育委員会  
千葉県印西市大森2364-2  
印刷 株式会社 エリート情報社 [印刷出版局]  
千葉県成田市東和田415-10